

働くシングル女性の悩み大解剖

～女性が子どもを持ちながらいきいきと働き続けるためのパートナー選び～

2023年9月 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部

■本レポートは主に「働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みに関する調査」「子どもがいる働く既婚女性の仕事と育児の両立に関する調査」を元に作成しています。

■転載・引用につきまして

レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として

- ・弊社名（株式会社マイナビ）※株式会社は省略可
- ・調査、レポート名称
- ・調査時期

を明記してご利用ください。

ex)
株式会社マイナビ「働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みに関する調査」によると・・・

【転載・引用に関する注意事項】

以下の行為は禁止いたします。

- ・レポートの一部または全部を改変すること
- ・本レポートの一部または全部を販売・出版すること
- ・出所を明記せずに転載・引用を行うこと
- ・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

※転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

■本資料に掲載のデータ、図版などの無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問などに関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部

E-mail : myrm@mynavi.jp

- 目的 働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みを明らかにするとともに、子どもがいる既婚女性のデータを元に、女性がキャリアを諦めることなく子どもを持ちながら働き続けるために必要なことについて探る
- 調査名 第1章・第2章「働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みに関する調査」
第3章「子どもがいる働く既婚女性の仕事と育児の両立に関する調査」
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネット調査
- 対象者 子どもがいない未婚女性（大卒・大学院卒で正社員として働く23-39歳の未婚かつ子どもがいない女性）
子どもがいる既婚女性（大卒・大学院卒で正社員として働き配偶者が正社員である25-49歳の既婚かつ子どもがいる女性）
- 回収数 1,324サンプル
子どもがいない未婚女性582サンプル、子どもがいる既婚女性サンプル742サンプル
- 実施期間 2023年9月8日（金）～9月12日（火）
- 調査主体 株式会社マイナビ（アンケートモニター提供元：外部調査会社）
※調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
※n=30未満は参考値としております。

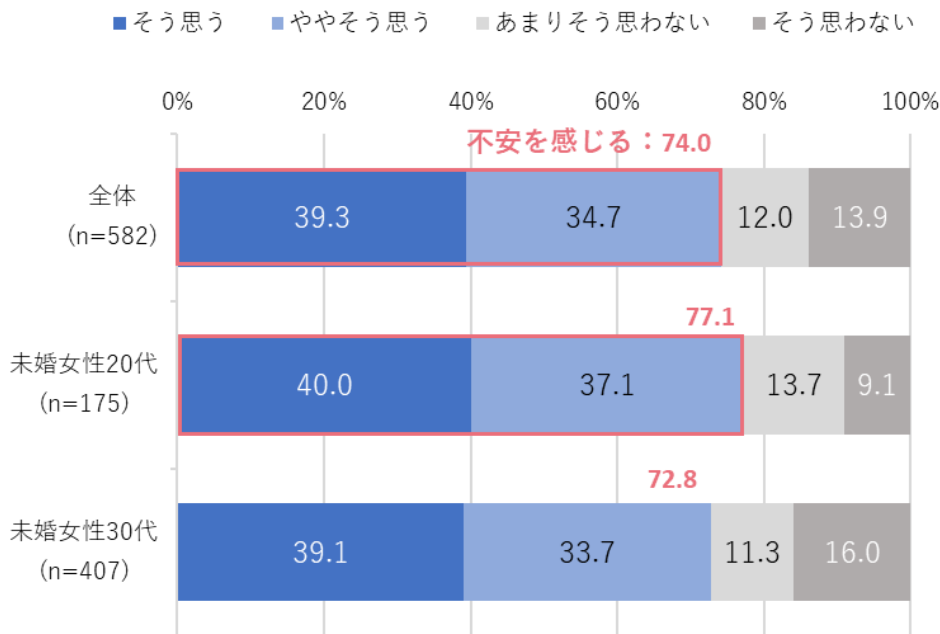
はじめに	4	第3章 先輩女性はどう乗り越えてきたのか ～仕事と育児の両立をするためには～	40
第1章 働く未婚女性の理想のライフキャリア	6	ライフキャリアなどに関する満足度	42
結婚を希望するか	8	仕事と育児の両立のために家庭で行ったこと	43
結婚後の仕事に対する考え	9	仕事と育児の両立を行うためのアイデア	44
子どもを希望するか	10	結婚前・出産前のキャリアプランやライフプランの有無	46
出産後に希望する働き方	11	理想のキャリアプランを実現するための仕事での取り組み	47
結婚相手の育休取得に対する考え	12	結婚相手に求めた条件	49
出産後に希望する家事・育児の分担	13	キャリアプランやライフプランを考慮したパートナーや仕事選び	50
現在年収・希望年収・結婚相手に求める年収	14	パートナーと結婚を決めた理由	51
結婚相手に求める条件	15	パートナーとして選ばれるためにしていたこと	53
管理職になりたいか	16	出産前に結婚相手と共有・話し合ったこと	54
人生100年時代に向けた今後の働き方	18	定期的に結婚相手と話し合っていること	55
第2章 働く未婚女性の抱える悩み	20	キャリアプランやライフプランについて結婚相手との共有の程度	56
現在の悩み全般	21	出産後の家事・育児の分担	58
キャリア・仕事の悩み	23	出産後の家事・育児の実施割合	59
恋愛・結婚の悩み	27	仕事と子育て両立のための制度・環境	60
現時点で想像する結婚生活の悩み	31	女性が管理職として活躍するために必要だと思うこと	62
現時点で想像する出産や育児の悩み	34	管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア	63
悩みを相談したいと思ったことがあるか	37	これから育児を迎える人に贈りたい言葉やアドバイス	64
悩みの相談相手がいるか	38	女性が子どもを持ちながら仕事も充実させるポイント	66
		おわりに	67

はじめに

はじめに

本レポートの趣旨について

【図1】 将来的に子どもを持ちながら、仕事を続けていけるか不安を感じるか



※回答ベース：正社員として働く23-39歳の未婚かつ子どもがいない女性
 ※出典：「働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みに関する調査」

1997年以降専業主婦世帯よりも共働き世帯数の方が多く、これ以降その差は年々開いている。少子高齢化により労働人口の減少が進んだことで女性の社会進出が進み、女性の生き方は多様化していることから、女性のライフキャリアに関する悩みも多様化しつつある。2015年には、仕事で活躍したいと希望するすべての女性が個性や能力を発揮できる社会の実現を目指す女性活躍推進法が制定され、これを機に男性育休の推進や女性管理職登用などの取り組みが進められている。しかし、本調査で働く23歳-39歳で未婚かつ子どもがいない女性に対して「将来的に子どもを持ちながら仕事を続けていけるか不安を感じるか」を聞いたところ7割が不安を感じており、若年層ほど不安感は強いことがわかった。【図1】

そこで、本レポートは働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みを明らかにするとともに、実際に子どもを持ちながら働く既婚女性で仕事の満足度が高い人の特徴をもとに、子どもを持ちながら働きたい未婚女性の悩みを解決するためのヒントを探り、今後の参考となるような情報を提供することを目指す。また、この情報が企業において女性が働きやすい環境を整備するためのヒントとなれば幸いである。

第1章

働く未婚女性の 理想のライフキャリア

この章では、働く未婚の23-39歳女性を対象にした「働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みに関する調査」の結果を元に、理想のライフキャリアを明らかにする。

※回答対象：未婚女性（大卒・大学院卒で正社員として働く23-39歳の未婚かつ子どもがいない女性）

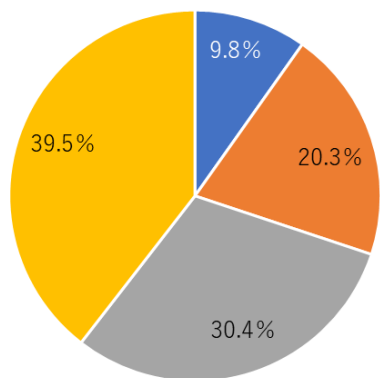
【この章で取り上げること】

- ・結婚を希望するか
- ・結婚後の仕事に対する考え
- ・子どもを希望するか
- ・出産後に希望する雇用形態
- ・結婚相手の育休取得に対する考え
- ・出産後に希望する家事・育児の分担
- ・現在年収・希望年収・結婚相手に求める年収
- ・結婚相手に求める条件
- ・管理職になりたいか
- ・人生100年時代に向けた今後の働き方

未婚女性回答者属性 (回答数：582)

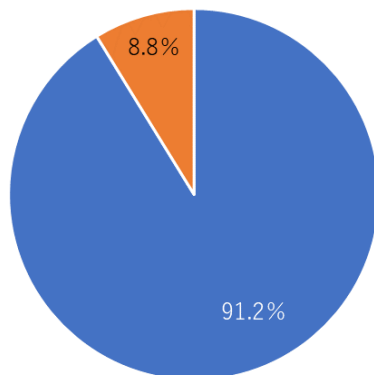
年齢

- 23歳～25歳
- 26歳～29歳
- 30歳～34歳
- 35歳～39歳



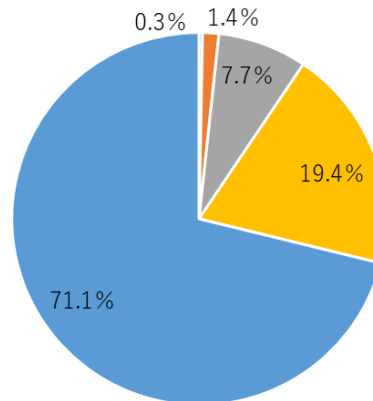
学歴

- 大学
- 大学院



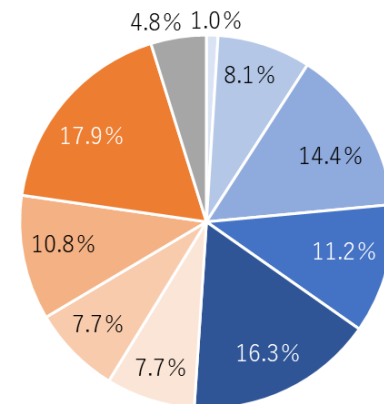
役職

- 役員クラス
- 部長クラス
- 課長クラス
- 係長・主任・職長クラス
- 役職には就いていない



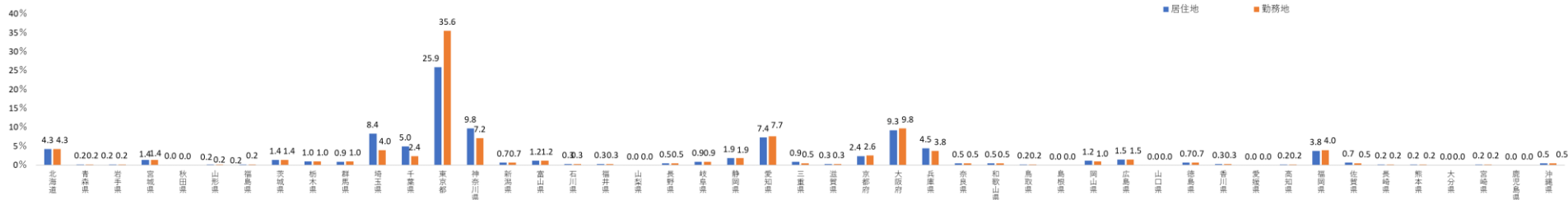
従業員規模

- 2名以下
- 11～50名
- 101～300名
- 501～1,000名
- 5,001名以上
- 3～10名
- 51～100名
- 301～500名
- 1,001～5,000名
- わからない・答えたくない



※「役職には就いていない」は非管理職、「それ以外」は管理職とする

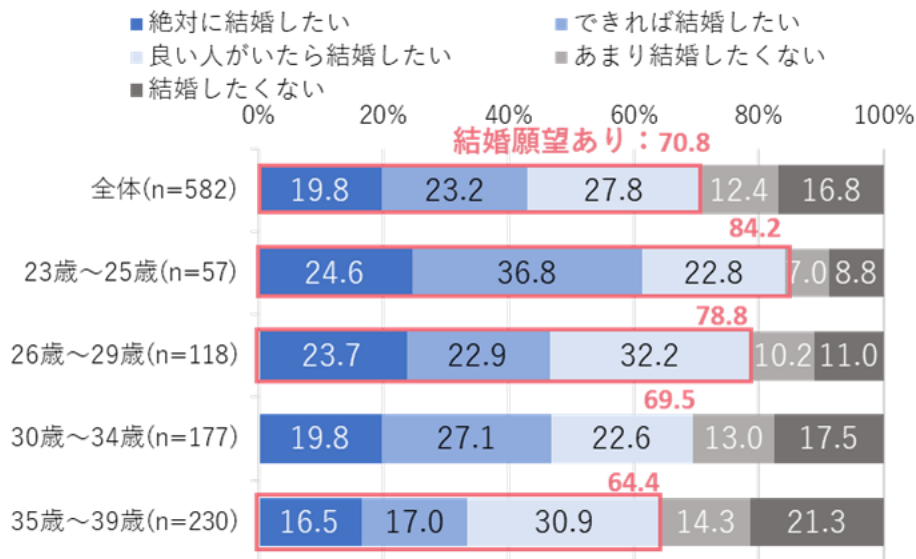
居住地・勤務地



未婚女性の7割が結婚願望あり

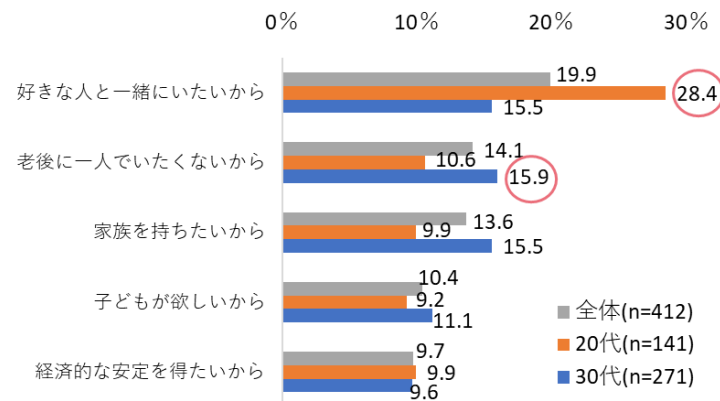
未婚女性の7割が結婚願望があり、若年層ほど高くなった。結婚したい理由は、20代では「好きな人と一緒にいたいから」が、30代では「老後に一人でいたくないから」がもっとも多くなった。一方で結婚したくない理由は、20代・30代ともに「必要性を感じないから」がもっとも多くなり、全体と比較すると20代の「お金（自分の稼ぎ）を自由に使えるから」が11.7pt高くなった。結婚したい理由は年代によって異なるが、結婚したくない理由は全年代ともに「必要性を感じないから」で共通していることがわかった。

将来的に結婚したいか（単一回答）



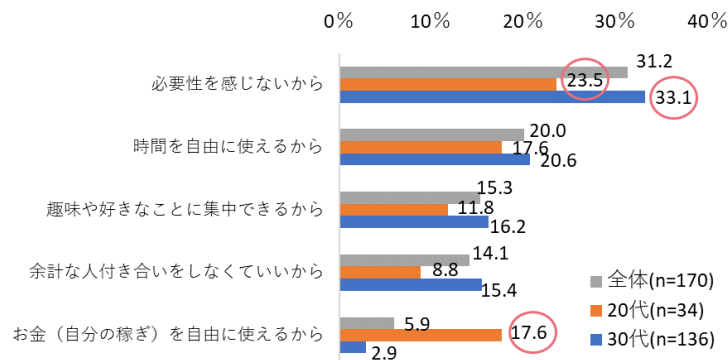
結婚したい理由（単一回答）※上位5項目

※回答ベース：「絶対に結婚したい」「できれば結婚したい」「良い人がいたら結婚したい」と回答した人



結婚したくない理由（単一回答）※上位5項目

※回答ベース：「あまり結婚したくない」「結婚したくない」と回答した人



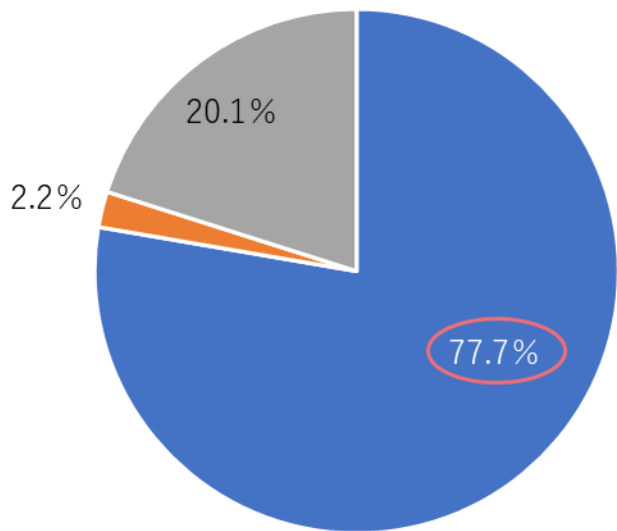
■結婚後の仕事は、共働き希望が7割以上

結婚後の仕事は「夫婦共働きが望ましい」が77.7%ともっとも高く、その理由は20代で「将来に備えて貯金がしたいから」が、30代で「一方の収入に頼るのはリスクがあるから」が多くなった。主に相手の収入のみで生活するのが望ましい理由は、「できるものならなるべく働きたくないから」がもっとも多く、次いで「家事や子育てに専念したいから」となった。経済的な不安から共働きを希望する人が多い様子がうかがえる一方で、家事や子育てに専念することを理由に、働かずに相手の収入のみで生活することを希望する人も一定数いる。

結婚後の仕事に対する考え（単一回答）

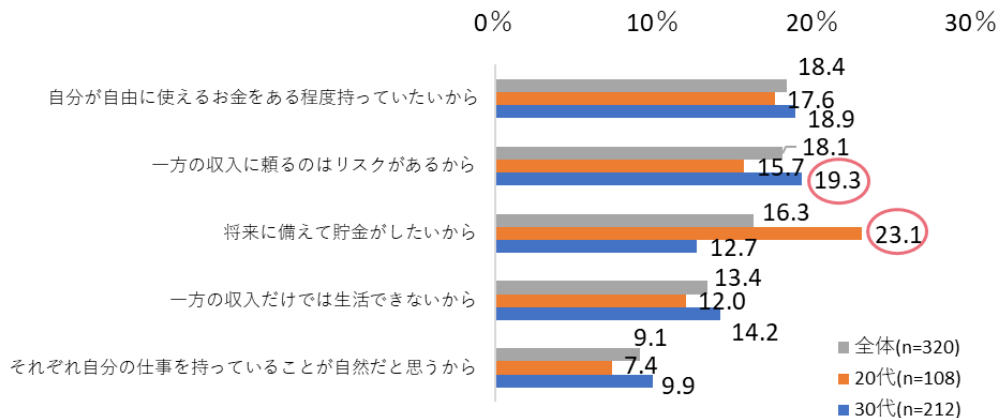
※回答ベース：「絶対に結婚したい」「できれば結婚したい」「良い人がいたら結婚したい」と回答した人、※回答数：412

- 夫婦共働きが望ましい
- 主に自分の収入のみで生活するのが望ましい
- 主に相手の収入のみで生活するのが望ましい



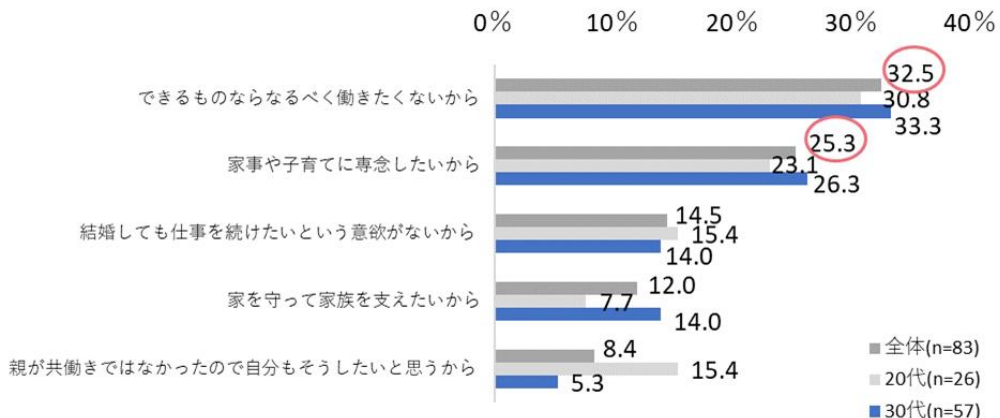
共働きを希望する理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース：「夫婦共働きが望ましい」と回答した人



主に相手の収入のみでの生活を希望する理由（単一回答）

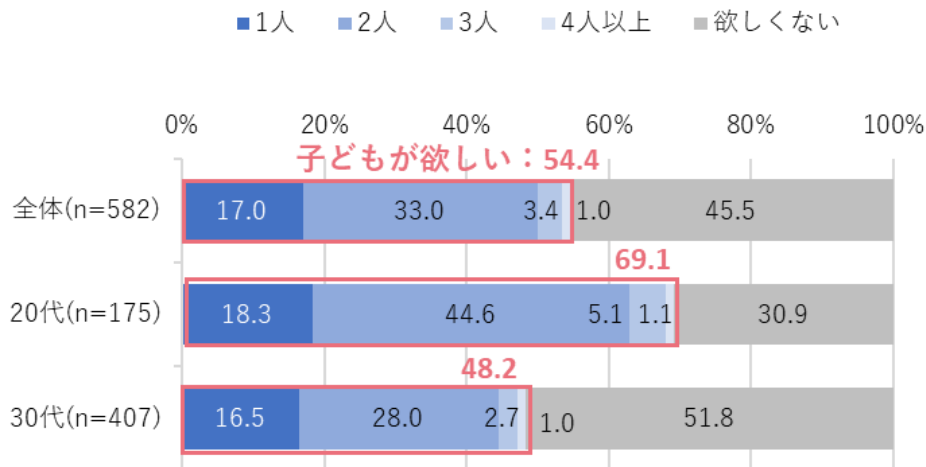
※上位5項目、※回答ベース：「主に相手の収入のみで生活するのが望ましい」と回答した人、※n=30未満は参考値とする



子どもを希望する未婚女性は若年層ほど多い

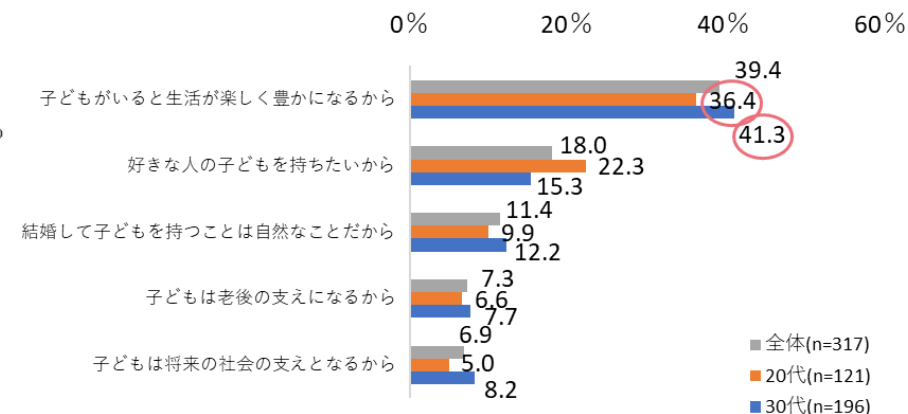
未婚女性の5割が子どもを希望しており、若年層ほど高く、20代で69.1%、30代で48.2%となった。子どもが欲しい理由は20代・30代ともに「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」がもっとも多くなった。一方で、子どもが欲しくない理由は「子どもが好きではないから」「育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」が上位となり、全体と比較すると20代で「しつけや子育てに自信がないから」が25.9%と12.3pt高くなった。育児に対する自信のなさや、精神的・体力的な不安から子どもを望まない選択をしている女性もいると考えられる。

将来的に子どもが欲しいか（単一回答）



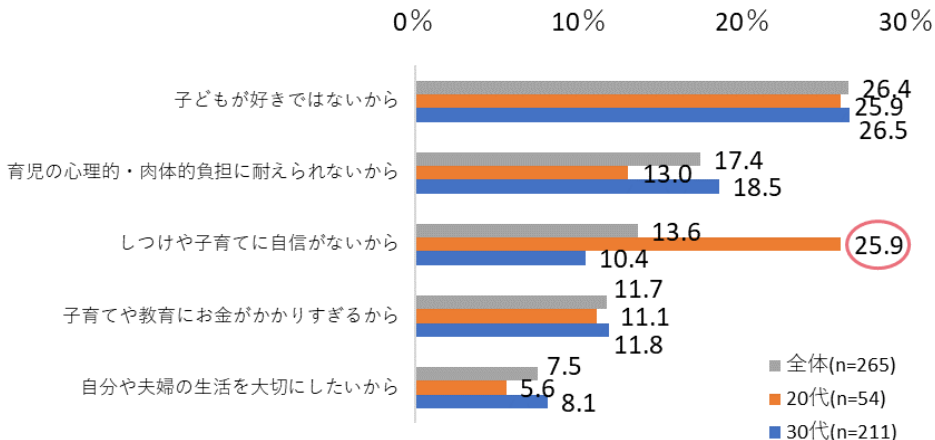
子どもが欲しいと思う理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース：「子どもが欲しい」と回答した人



子どもが欲しくないと思う理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース：「子どもが欲しくない」と回答した人

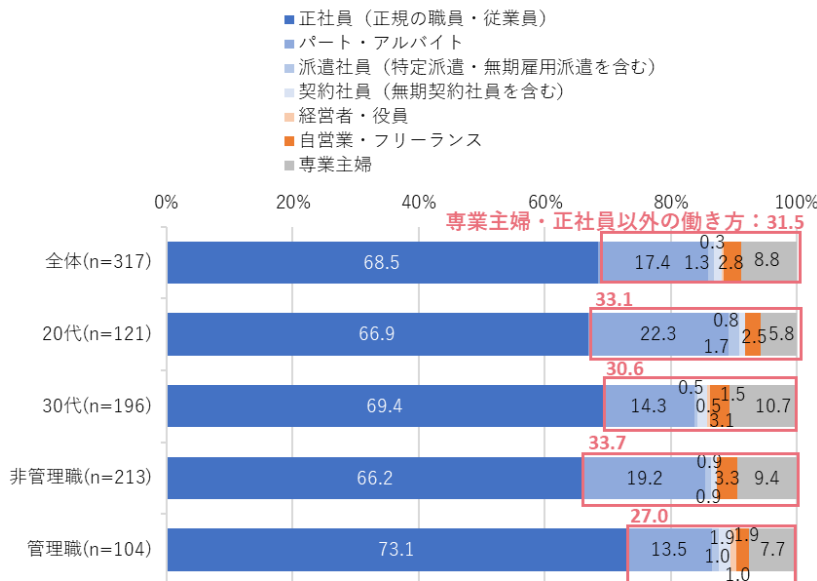


■ 出産後に希望する働き方は正社員希望が約7割で多い

出産後に希望する働き方は正社員が7割で、管理職では非管理職より6.9pt高かった。福利厚生充実や雇用の安定性という点から出産後も正社員を希望する人が多い一方で、専業主婦や正社員以外の働き方を希望する人は3割程度おり、家事・育児との両立のしやすさから正社員以外の働き方を希望する人が多かった。しかし、正社員以外の働き方を希望する人に仕事と子育ての両立ができる場合、出産後も正社員として働き続けたいかを聞くと、そう思う割合は約6割となった。出産後も正社員として働き続けるためには、仕事と子育ての両立が行える環境づくりが求められる。

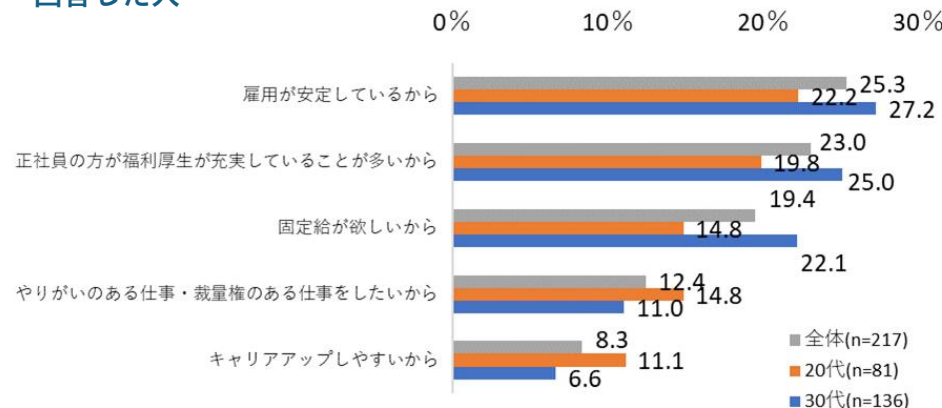
出産後に希望する働き方（単一回答）

※回答ベース：「子どもが欲しい」と回答した人



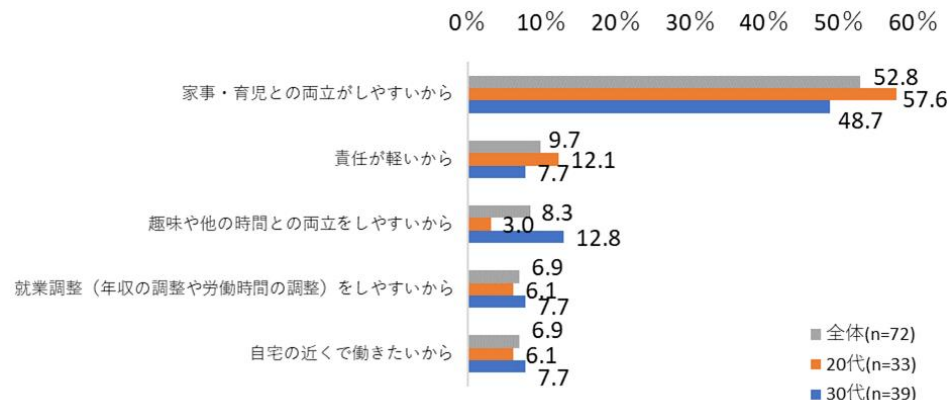
出産後に正社員を希望する理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース：「出産後の希望雇用形態を「正社員」と回答した人



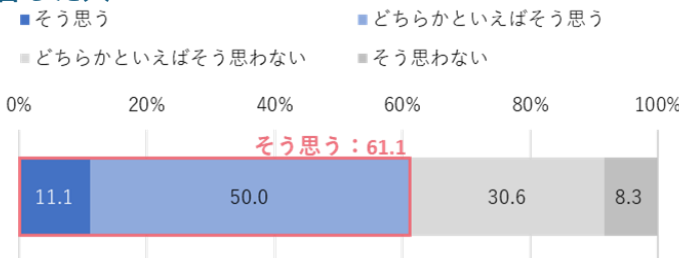
出産後に正社員以外の働き方を希望する理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース：出産後の希望雇用形態を「正社員・専業主婦以外」と回答した人



仕事と子育ての両立ができる場合、出産後も正社員として働き続けたいか（単一回答）

※回答数：72
※回答ベース：出産後の希望雇用形態を「正社員・専業主婦以外」と回答した人



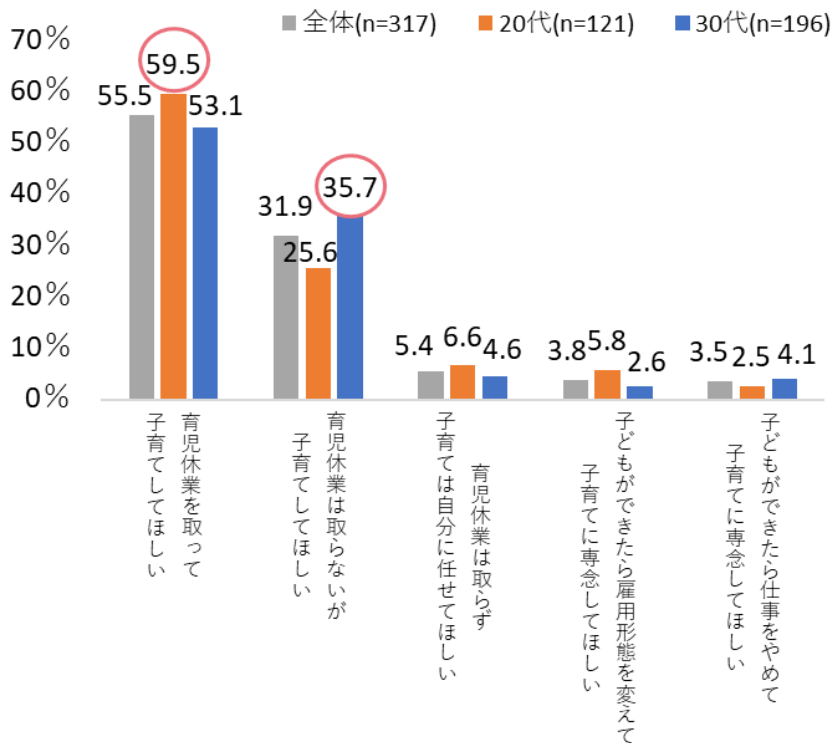
■結婚相手に育休取得を望む女性は5割、育休は取得せずに子育て参加を望む人は3割



結婚相手に育休取得を望む割合は5割で年代別では20代が多い一方で、育休は取得せずに子育て参加を望む人は3割で年代別では30代が多いことがわかった。結婚相手の育休取得を望む理由は「一方だけに子育てをまかせるのはよくないと思うから」がもっとも多く、全体と比較すると20代で「育児期間中は育児に専念してほしいから」が+5.1pt高かった。一方で、結婚相手の育休取得を望まない理由は「収入が下がることを避けたいから」がもっとも多く、全体と比較すると20代で「結婚相手のキャリアを優先して欲しいと思うから」「育児休業後の職場への復帰に不安があるから」「育児休業の取得が出世に影響するのではないかと思うから」が、30代で「収入が下がることを避けたいから」が全体より5pt以上高くなった。結婚相手のキャリアのためや収入面での不安から結婚相手が育休を取らない形を望む人がいることから、政府が男性の育休取得を推進していく中で、今後女性だけでなく男性もキャリアが中断されないような職場環境の整備や経済面でのサポートが必要となると考えられる。

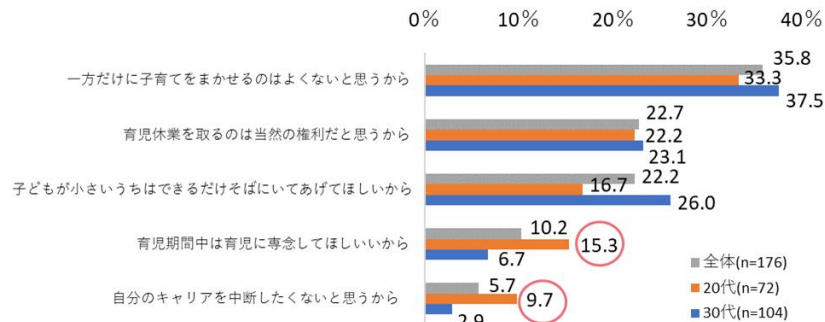
結婚相手の育休取得に対する考え（単一回答）

※回答ベース：「子どもが欲しい」と回答した人



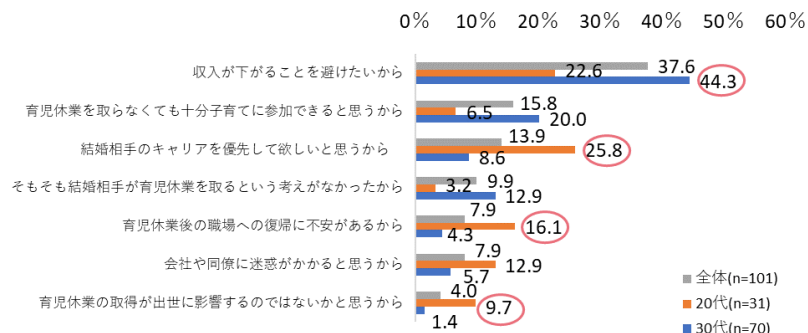
結婚相手に育休取得して欲しい理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース「育児休業を取って子育てしてほしい」と回答した人



結婚相手に育休取得してほしくない理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース「育児休業は取らないが子育てしてほしい」と回答した人



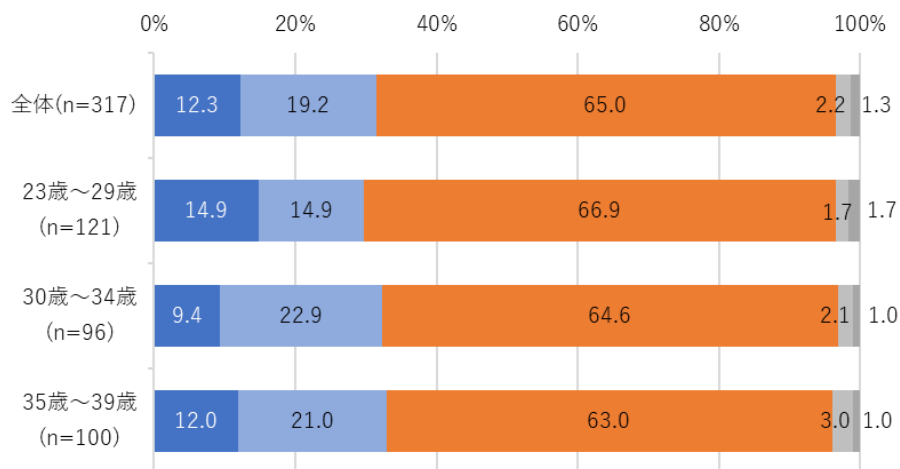
■ 出産後に希望する家事・育児の分担は「結婚相手と二人でシェア」が多い

出産後に希望する家事の分担は「結婚相手と二人でシェア」が65.0%ともっとも高く、年代別では20代で66.9%、30代前半で64.6%、30代後半で63.0%となった。出産後に希望する育児の分担は、「結婚相手と二人でシェア」が64.4%ともっとも高く、年代別では、20代で67.8%、30代前半で62.5%、30代後半で62.0%となった。出産後の家事・育児の分担ともに若年層ほど結婚相手と二人で協力して行いたい人が多い様子がみられた。

出産後に希望する家事の分担（単一回答）

※回答ベース：「子どもが欲しい」と回答した人

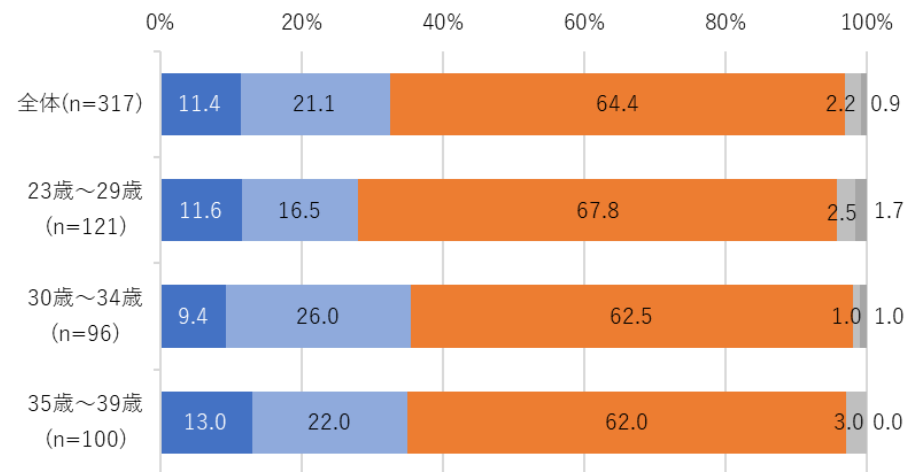
- 自分が行う
- どちらかという自分が行う
- 結婚相手と二人でシェア
- どちらかという結婚相手に任せたい
- 結婚相手に任せたい



出産後に希望する育児の分担（単一回答）

※回答ベース：「子どもが欲しい」と回答した人

- 自分が行う
- どちらかという自分が行う
- 結婚相手と二人でシェア
- どちらかという結婚相手に任せたい
- 結婚相手に任せたい



■ 現在年収は希望年収より124.8万円低く、若年層ほどギャップが大きい

現在年収の平均値は「409.8万円」、希望年収の平均値は「534.7万円」となり、実態と希望には「124.8万円」のギャップがある。実態と希望の差を年代別でみると、若年層ほど現在の収入と希望収入の差が大きく、20代で「143.2万円」のギャップがあることから、希望する賃金を大きく下回って働いている人が多いことがわかった。希望ライフコース別で現在年収をみると、「結婚願望も子どもの希望もない」で「390.2万円」ともっとも低く、希望年収とのギャップも「134.0万円」ともっとも大きいことから、経済的不安を理由に子どもを持たない選択をしている女性もいることが考えられる。また、結婚相手に求める年収の平均値は「603.9万円」となり、現在の収入が高い人ほど結婚相手に求める年収も高く、パートナー選びのハードルが高い様子がみられた。

現在年収/希望年収/結婚相手に求める年収（数値回答）※回答ベース：「答えたくない」除く

	【現在年収別】					
	n=	平均値	299万円以下	300～499万円	500万～699万円	700万円以上
現在年収	349	409.8	222.0	364.3	540.0	822.2
希望年収	362	534.7	339.0	487.7	675.0	913.9
結婚相手に求める年収	243	603.9	428.1	579.4	679.8	873.1
(万円)						
現在年収-希望年収		-124.8	-117.0	-123.5	-135.0	-91.7

	【年代別】				
	n=	平均値	23歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳
現在年収	349	409.8	359.9	387.1	469.5
希望年収	362	534.7	503.1	494.5	592.1
結婚相手に求める年収	243	603.9	586.2	574.6	643.2
(万円)					
現在年収-希望年収		-124.8	-143.2	-107.4	-122.6

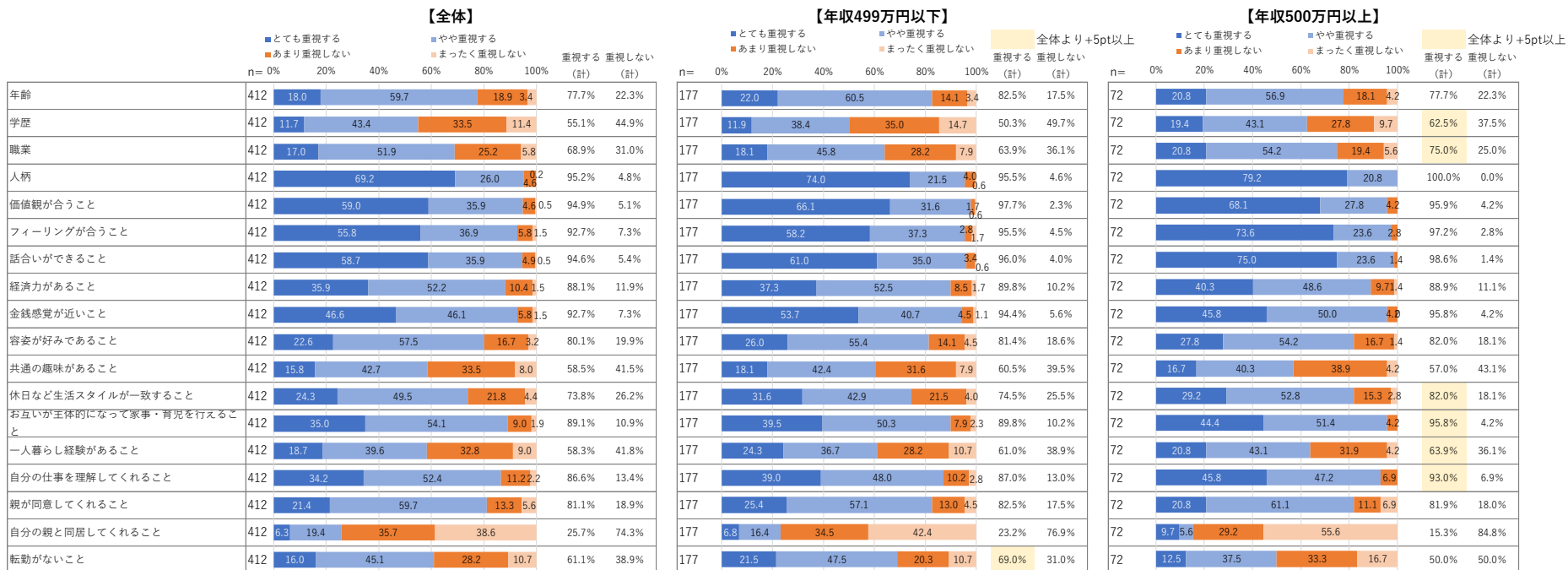
	【希望ライフコース別】					
	n=	平均値	結婚して 子供も持ちたい	結婚するが 子供を持たない	結婚せずに 子供だけでもちたい	結婚願望も 子供の希望もない
現在年収	349	409.8	408.2	440.8	443.6	390.2
希望年収	362	534.7	531.2	562.5	533.3	524.2
結婚相手に求める年収	243	603.9	597.3	625.4	-	-
(万円)						
現在年収-希望年収		-124.8	-123.1	-121.7	-89.7	-134.0

■結婚相手に求める条件は年収が高い人ほど多い

結婚相手に求める条件は「人柄」がもっとも多く、次いで「価値観が合うこと」、「話しができること」となった。全体と比較すると、年収500万円以上では「休日など生活スタイルが一致すること」が+8.2pt、「学歴」が+7.4pt、「お互いが主体的になって家事・育児を行えること」が+6.7pt、「自分の仕事を理解してくれること」が+6.4pt、「職業」が+6.1pt、「一人暮らし経験があること」が+5.6pt高くなり、学歴や職業に加えて、仕事への理解や生活を重視する様子がみられた。年収が高い人ほど、結婚相手に求める条件が多く、パートナー選びのハードルが高いと考えられる。

結婚相手に求める条件（単一回答）

※「とても重視する」+「やや重視する」の合計で比較

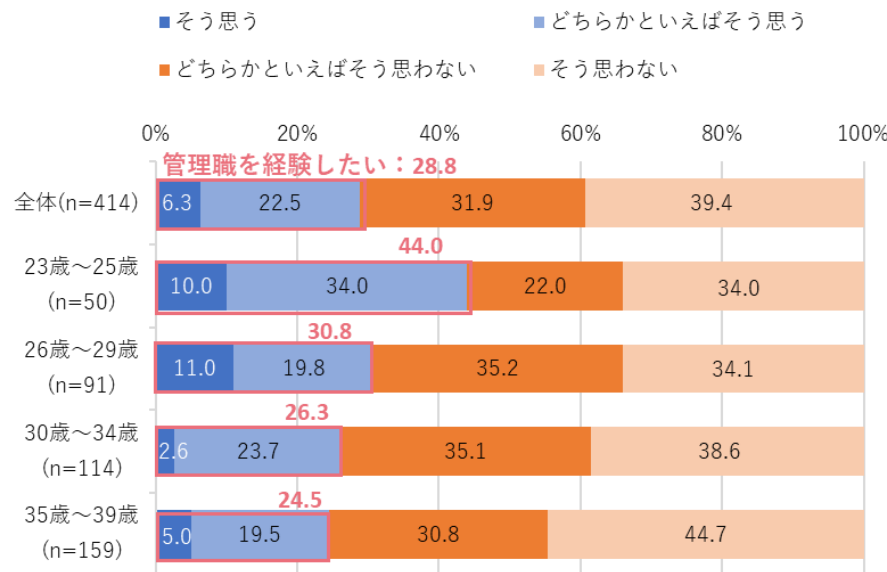


■管理職希望は若年層ほど高く、20代前半で44.0%

現在役職には就いておらず将来的に管理職になりたい割合は、若年層ほど高く20代前半で44.0%ともっとも高くなった。管理職を経験したい理由は、「収入を増やしたいため」が約5割ともっとも高くなった。全体と比較すると、20代の「女性管理職としてロールモデルになりたいため」が+5.8pt、30代の「収入を増やしたいため」が+6.8pt高かった。一方で管理職を経験したくない理由は、「自分には向いていないと思うため」が25.1%ともっとも高くなった。収入アップを目的として管理職を希望する人が多い中で、20代では30代と比べると影響力の大きさや今後女性管理職としてロールモデルになりたい人が多かった。一方で、4人に1人が管理職は自分に向いていないと考えていることを理由に管理職を経験したくないと回答しており、特に30代でその傾向が強いことがわかった。

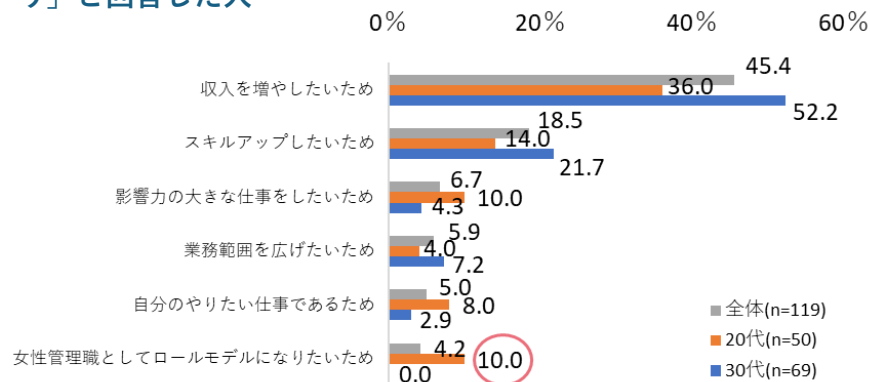
管理職を経験したいか（単一回答）

※回答ベース：「役職には就いていない」人



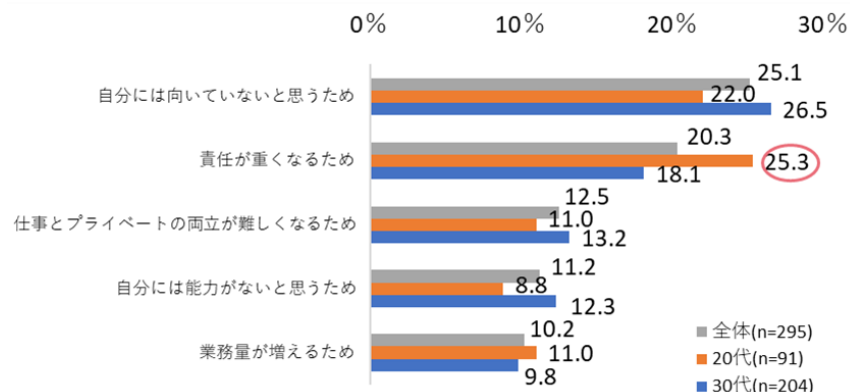
管理職を経験したいと思う理由（単一回答）

※上位5項目、※回答ベース：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人



管理職を経験したくないと思う理由（単一回答）

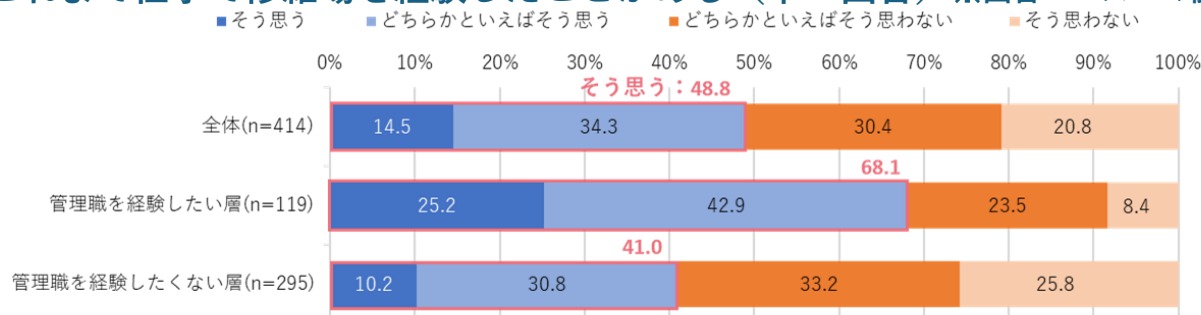
※上位5項目、※回答ベース：「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した人



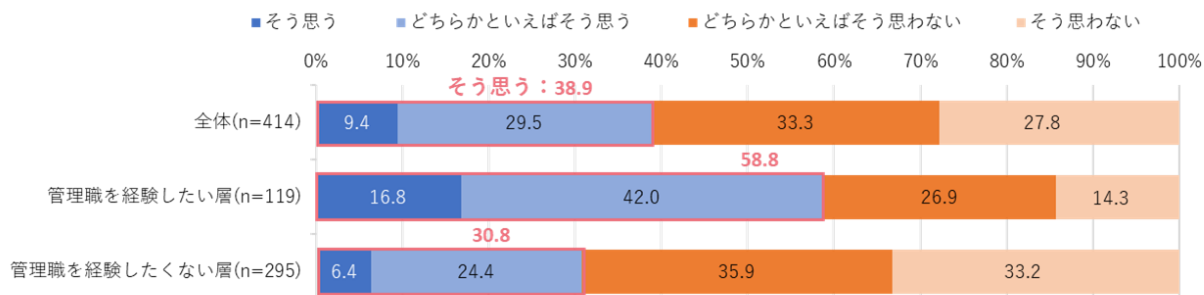
■管理職希望者の7割は仕事で修羅場を経験したことがある

非管理職女性を将来的に管理職を「経験したい」層と「経験したくない」層にわけて、周囲の人との関わりや仕事環境の状況としてあてはまる項目を比較した。管理職を経験したい層は経験したくない層よりこれまで仕事で修羅場を経験したことがある割合が68.1%で+27.1pt、ロールモデルとなる人がある割合が58.8%で+28.0pt、尊敬できる上司がいる割合が48.7%で+30.3pt高くなった。管理職経験意向は、仕事における修羅場の経験や尊敬できる上司やロールモデルの存在が影響しているようだ。本調査の結果だけでは明確に関係性を示すことはできないが、仕事で修羅場を経験した際に上司などにフォローしてもらった経験なども影響していると考えられる。

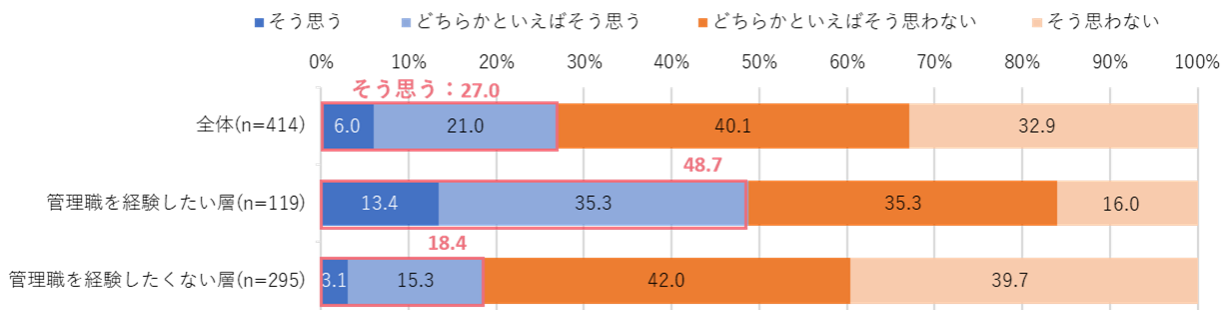
これまで仕事で修羅場を経験したことがある（単一回答）※回答ベース：「役職には就いていない」人



尊敬できる上司がいる（単一回答）※回答ベース：「役職には就いていない」人



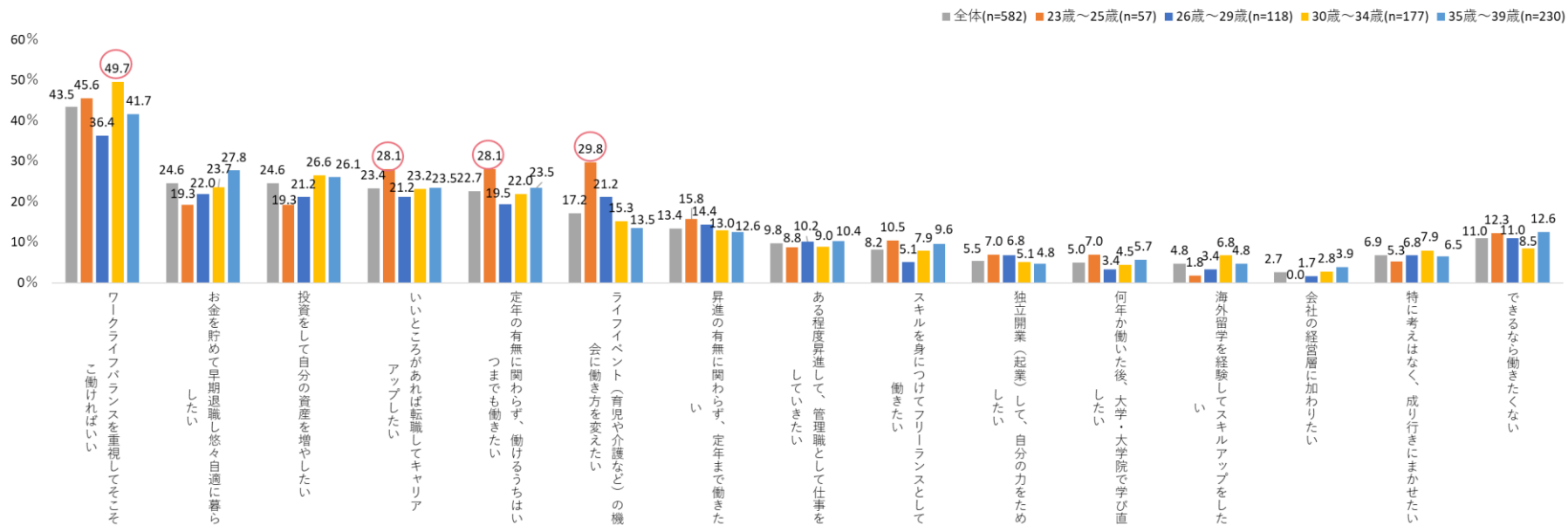
ロールモデルがいる（単一回答）※回答ベース：「役職には就いていない」人



■人生100年時代に向けた今後の働き方

「人生100年時代」に向けた今後の働き方としては、「ワークライフバランスを重視してそこそこ働ければいい」が43.5%と最も高く、次いで「お金を貯めて早期退職し悠々自適に暮らしたい」「投資をして自分の資産を増やしたい」が24.6%となった。全体と比較すると、23～25歳では「ライフイベント（育児や介護など）の機会に働き方を変えたい」が+12.6pt、「定年の有無に関わらず、働けるうちはいつまでも働きたい」が+5.4pt、「いいところがあれば転職してキャリアアップしたい」が+4.7pt、30～34歳で「ワークライフバランスを重視してそこそこ働ければいい」が+6.2pt高くなった。20代前半はZ世代にあたり、柔軟に働き続けたいという考えやキャリアアップのための転職意向が強くみられたことから、今後同じ会社で長く働く働き方が変化していくことが予測される。

「人生100年時代」に向けた今後の働き方（複数回答）



【結婚についての理想】

◎未婚女性の7割が結婚願望があり、若年層ほど高い。結婚したい理由は年代によって異なるが、結婚したくない理由は全年代「必要性を感じないから」で共通している

◎結婚相手に求める条件は、未婚女性の年収500万円以上では学歴や職業に加えて仕事への理解や生活力を重視しており、年収が高い人ほど結婚相手に求める条件が多い

【出産・子育てについての理想】

◎将来的に子どもを希望する女性は54.4%で、希望しない女性は45.5%と子どもを希望する人が多い

◎子どもを希望しない理由は「子どもが好きではないから」「育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」が上位

◎結婚相手との出産後に希望する家事・育児の分担は「結婚相手と二人でシェア」が若年層ほど多い

◎結婚相手に育休取得を望む女性は5割、育休は取得せずに子育て参加を望む人は3割

◎結婚相手の育休取得を望む理由は、「一方だけに子育てをまかせるのはよくないと思うから」が多い

◎結婚相手の育休取得を望まない理由は20代で「結婚相手のキャリアを優先して欲しいと思うから」「育児休業後の職場への復帰に不安があるから」「育児休業の取得が出世に影響するのではないかと思うから」が、30代で「収入が下がることを避けたいから」が全体より高い

【仕事・キャリアについての理想】

◎結婚後の仕事は、共働き希望が7割以上

◎出産後に希望する働き方は正社員が7割、一方で専業主婦や正社員以外の働き方を希望する人は3割程度で、正社員以外の働き方を希望する理由は「家事・育児との両立のしやすさ」が最多

◎出産後に正社員以外の働き方を希望する人のうち、仕事と子育ての両立ができる場合に出産後も正社員として働き続けたい割合は約6割

◎現在年収は希望年収より124.8万円低く、若年層ほどギャップが大きい

◎将来的に管理職になりたい割合は28.8%で若年層ほど高く、20代前半で44.0%

【人生100年時代に向けた今後の働き方】

◎20代前半では「ライフイベント（育児や介護など）の機会に働き方を変えたい」「定年の有無に関わらず、働けるうちはいつまでも働きたい」「いいところがあれば転職してキャリアアップしたい」が全体より高い

将来的に結婚を希望する割合は7割で子どもを希望する割合は5割強と、結婚・出産を希望している女性が多く、7割は出産後も正社員を希望していることから、出産後も仕事を続けたいと考えている人が多いことがわかった。一方で、専業主婦や正社員以外の働き方を希望する人は3割程度おり、家事・育児との両立のしやすさから正社員以外の働き方を希望する人が多い様子がみられた。しかし、仕事と子育ての両立ができる場合、出産後も正社員として働き続けたい割合は約6割となったことから、仕事と子育ての両立への不安から自分の仕事やキャリアを諦める選択をする女性もいると考えられる。

第2章

働く未婚女性の 抱える悩み

この章では、働く未婚の23-39歳女性を対象にした「働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みに関する調査」の結果を元に、ライフキャリアに関する悩みを明らかにする。

※回答対象：未婚女性（大卒・大学院卒で正社員として働く23-39歳の未婚かつ子どもがいない女性）

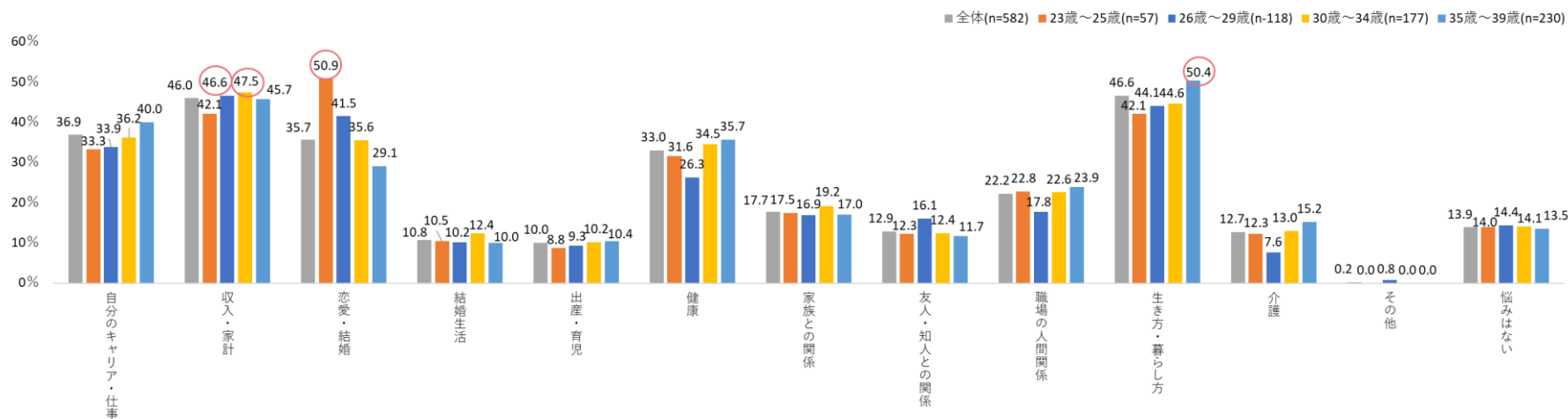
【この章で取り上げること】

- ・現在の悩み全般
- ・キャリアや仕事の悩み
- ・恋愛や結婚の悩み
- ・現時点で想像する結婚生活の悩み
- ・現時点で想像する出産や育児の悩み
- ・悩みを相談したいと思ったことがあるか
- ・悩みの相談相手がいるか

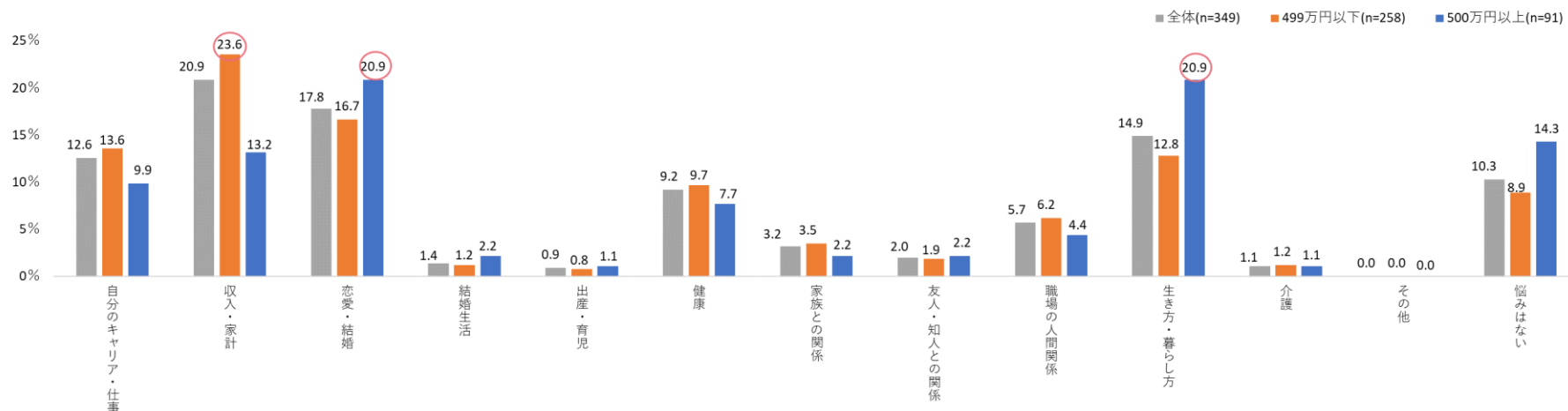
【年代別・現在年収別】現在の悩み

年代別では、20代前半で「恋愛・結婚」、20代後半・30代前半で「収入・家計」、30代後半で「生き方・暮らし方」がもっとも多くなった。また年齢が高いほど「自分のキャリア・仕事」「出産・育児」「生き方・暮らし方」に関する悩みが多くなっており、年齢が低いほど「恋愛・結婚」に関する悩みが多い。年収別では、全体と比較すると499万円以下では「収入・家計」、500万円以上では「生き方・暮らし方」「恋愛・結婚」が多くなった。

【年代別】現在の悩み（複数回答）



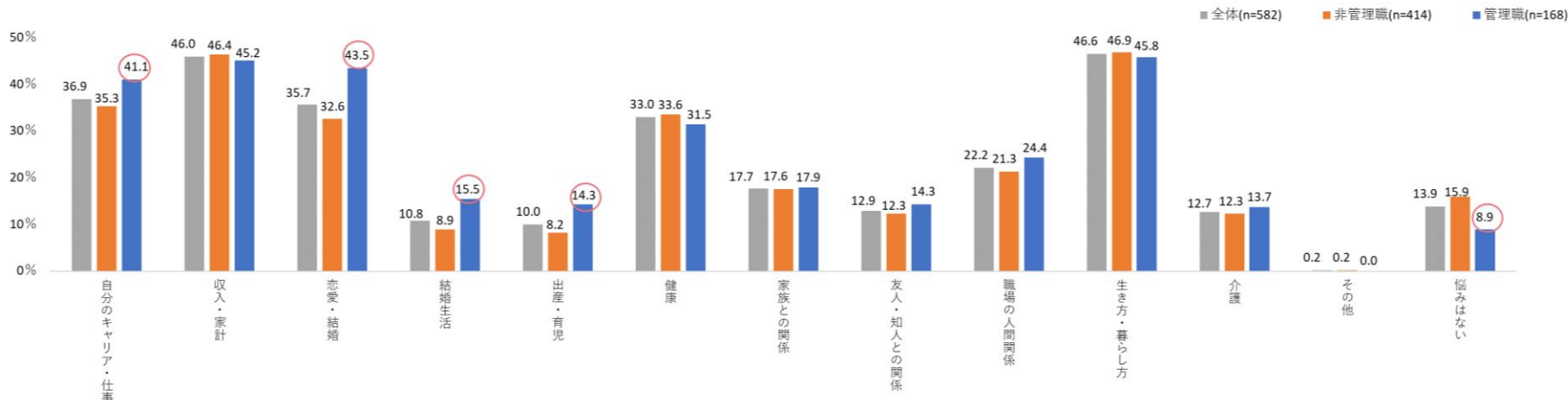
【現在年収別】現在の悩み（複数回答） ※回答ベース：現在年収「答えたくない」を除く



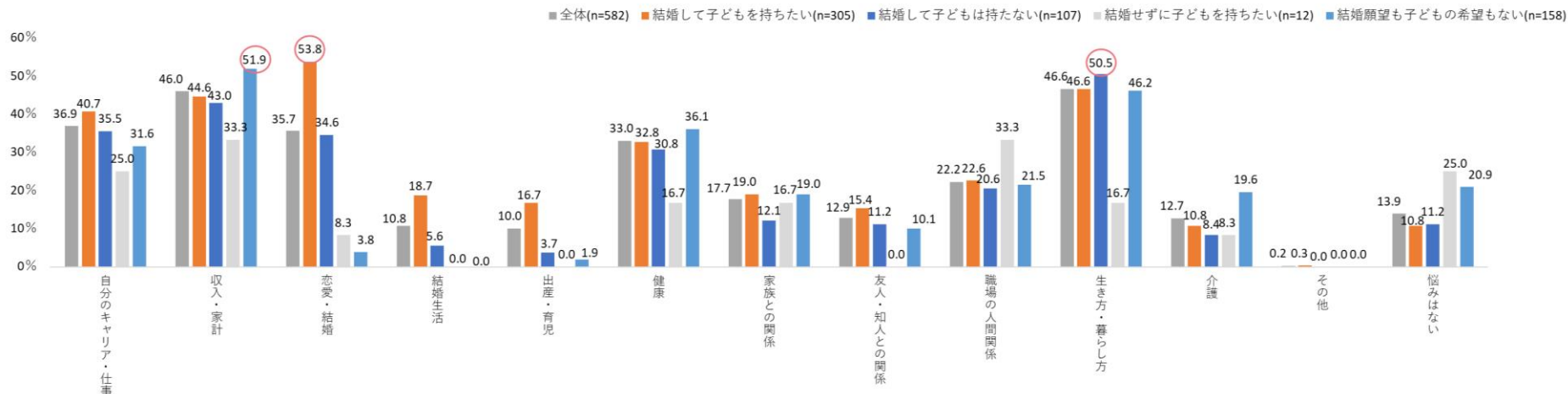
【役職別・希望ライフコース別】現在の悩み

役職別では、管理職で悩みが多く、全体と比較すると「恋愛・結婚」「結婚生活」「出産・育児」「自分のキャリア・仕事」が5pt以上高く、悩みが多岐にわたる様子がみられた。希望ライフコース別では、結婚して子どもを持ちたい人では「恋愛・結婚」、結婚して子どもは持たない人では「生き方・暮らし方」、結婚願望も子どもの希望もない人では「収入・家計」がもっとも多くなった。「悩みがない割合」は結婚したい人で低く、結婚したいと思っている人の9割が何かしらの悩みを抱えていることがわかった。

【役職別】現在の悩み（複数回答）



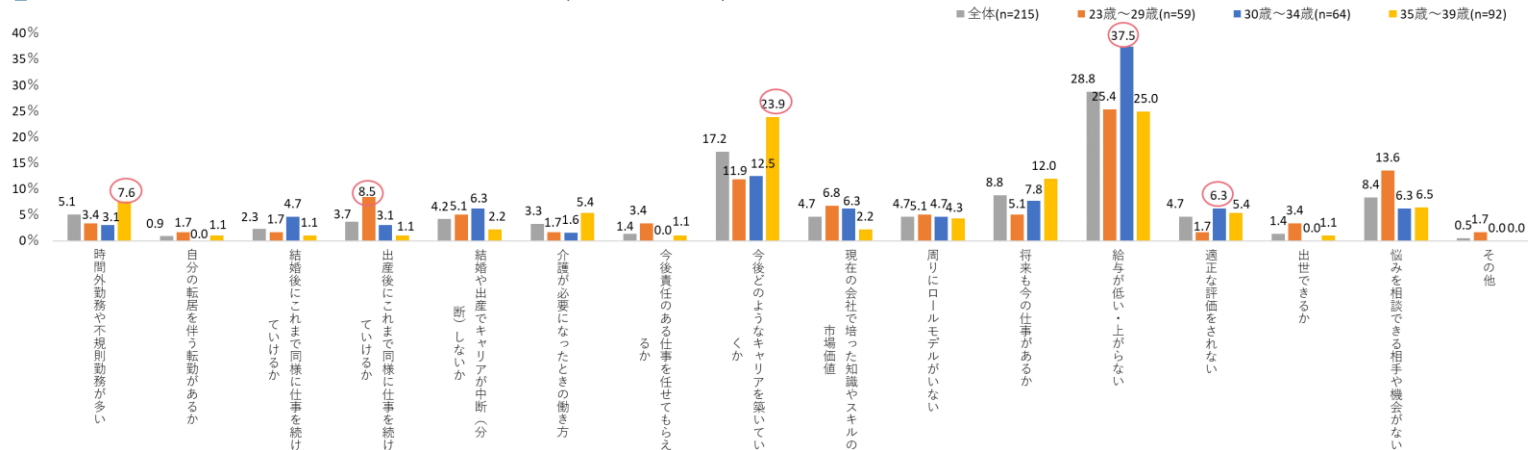
【希望ライフコース別】現在の悩み（複数回答） ※n=30未満は参考値とする



【年代別・現在年収別】現在のキャリア・仕事の悩み

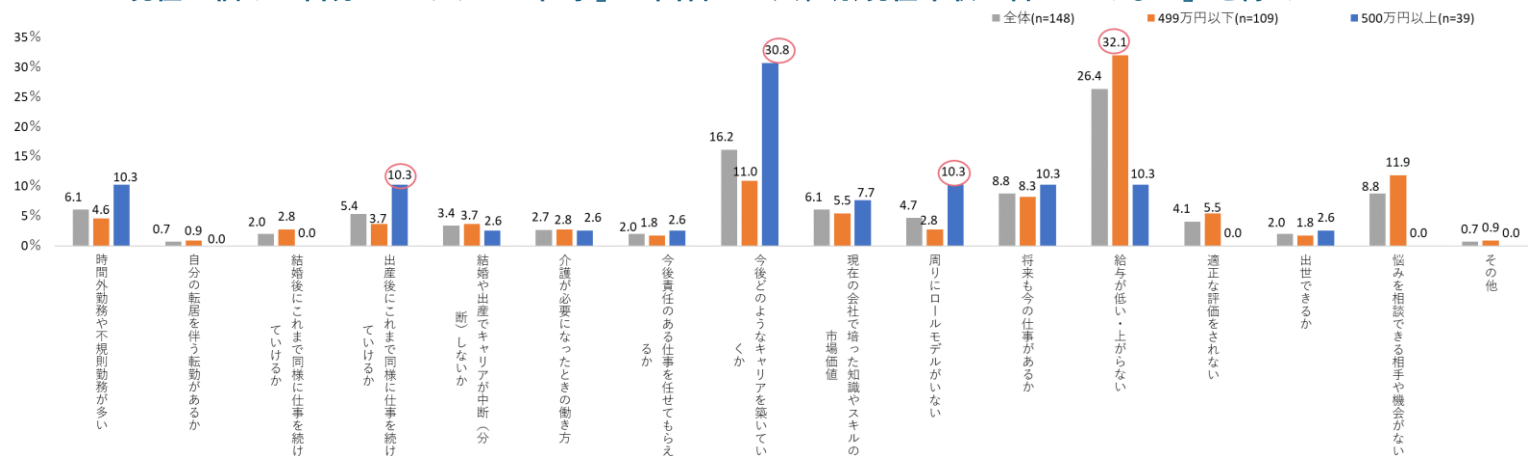
年代別では20代・30代ともに「給与が低い・上がらない」がもっとも多く、4人に1人以上が給与面での悩みを持っていることがわかった。また、全体と比較すると20代では「悩みを相談できる相手や機会がない」や「出産後にこれまで同様に仕事を続けていけるか」が、30代前半では「給与が低い・上がらない」が、30代後半では「今後どのようなキャリアを築いていくか」が多かった。年収別では、全体と比較すると年収499万円以下で「給与が低い・上がらない」が突出して高く、年収500万円以上では「今後どのようなキャリアを築いていくか」が+14.6pt、「周りにロールモデルがない」が+5.6pt、「出産後にこれまで同様に仕事を続けていけるか」が+4.9pt高くなり、高年収の人ほど悩みが多岐にわたる様子がみられた。

【年代別】現在のキャリア・仕事の悩み（単一回答） ※回答ベース：現在の悩み「自分のキャリア・仕事」と回答した人



【現在年収別】現在のキャリア・仕事の悩み（単一回答）

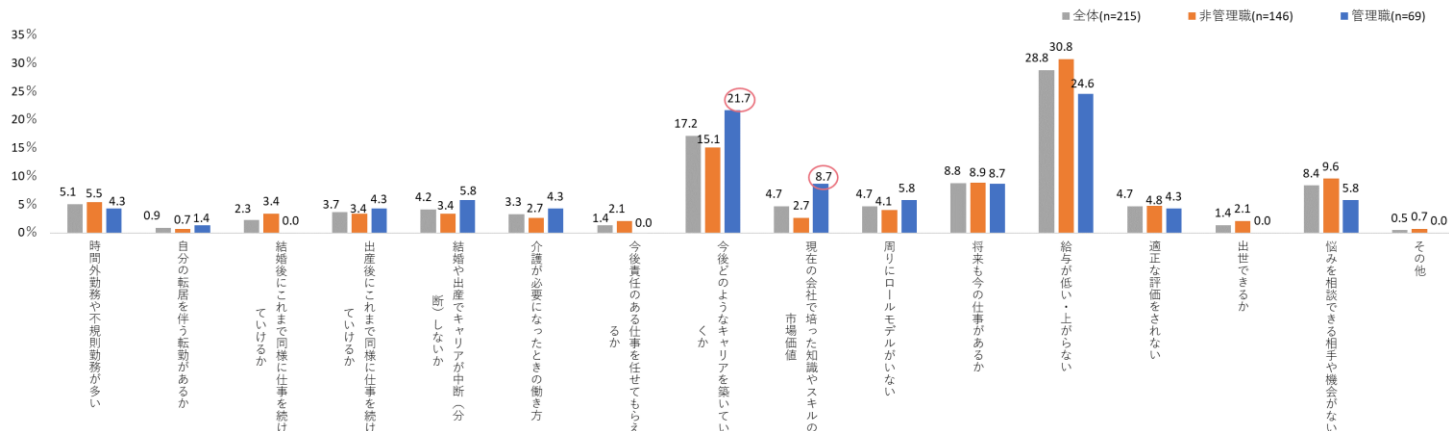
※回答ベース：現在の悩み「自分のキャリア・仕事」と回答した人、※現在年収「答えたくない」を除く



【役職別・希望ライフコース別】現在のキャリア・仕事の悩み

役職別では、非管理職・管理職ともに「給与が低い・上がらない」がもっとも多く、全体と比較すると、管理職では「今後どのようなキャリアを築いていくか」が+4.5pt、「現在の会社で培った知識やスキルの市場価値」が+4.0pt高くなり、今後のキャリア設計についての悩みが多い様子がみられた。希望ライフコース別では、全体と比較すると、結婚して子どもは持たない人では、「悩みを相談できる相手や機会がない」が+4.8pt、結婚願望も子どもの希望もない人では「給与が低い・上がらない」が+5.2pt、「今後どのようなキャリアを築いていくか」が+4.8pt、「介護が必要になったときの働き方」が+4.7pt高くなり、結婚願望も子どもの希望もない人では仕事の悩みが多岐にわたる様子がみられた。

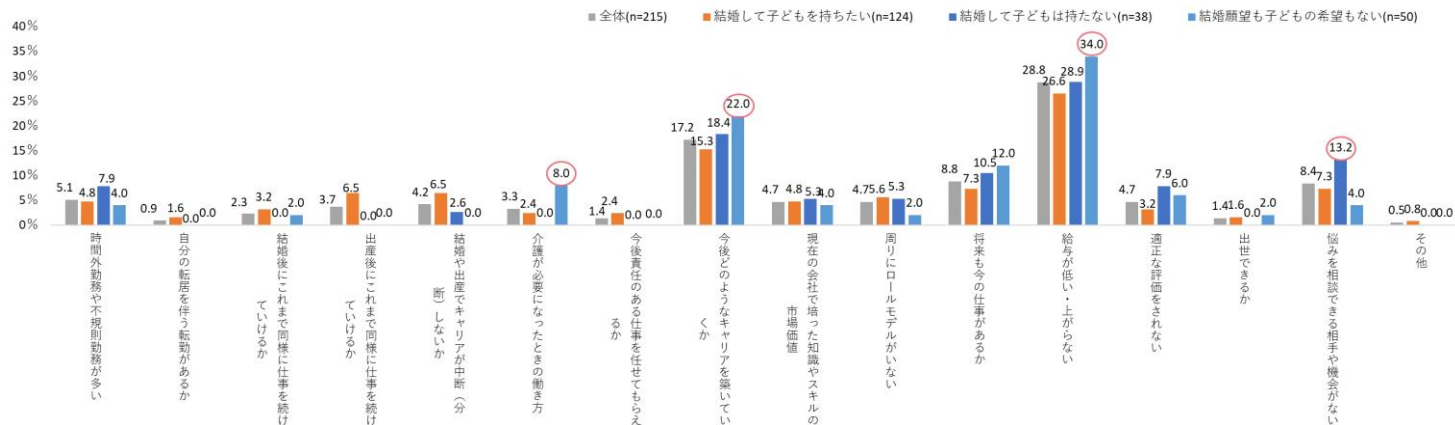
【役職別】現在のキャリア・仕事の悩み（単一回答） ※回答ベース：現在の悩み「自分のキャリア・仕事」と回答した人



【希望ライフコース別】現在のキャリア・仕事の悩み（単一回答）

※回答ベース：現在の悩み「自分のキャリア・仕事」と回答した人

※「結婚せずに子どもを持ちたい」は回答数30未満のため割愛



■現在のキャリア・仕事の悩み詳細①

現在のキャリア・仕事の悩みの詳細では、「将来的にライフステージが変わった際の仕事や働き方への不安」「年齢・役職など近い立場の人や信頼できる上司・ロールモデルの不在により相談相手がないことや将来像が想像できないこと」「能力や業務に見合った適正な評価や給与が得られないこと」「キャリアアップ・スキルアップできるかやそのための方法に悩んでいる」などのコメントがみられた。仕事やキャリアに関する悩みは多様であることがわかる。

現在のキャリア・仕事の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「自分のキャリア・仕事」と回答した人

時間外勤務や不規則勤務が多い

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
24歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	時間外勤務や休日出勤などは若くて独身の今は体力的にも対応することはできますが、今後ライフステージが変わったり年齢を重ねたりすることで対応できなくなる時がくるかもしれないという不安があります。
33歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	仕事が終わらず休日にすることが多くプライベートがなくなっている。また、休日に電話がかかってくる、早朝に電話がかかってくる、休日出勤など、負担と感ずることが多い。

自分の転居を伴う転動があるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
35歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	今年度から転動したが環境の変化にまだ慣れず、今後も頻繁にあると辛い

結婚後にこれまで同様に仕事を続けていけるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
30歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚したら県外に引っ越し可能性が高いが、転動という選択肢がなく、転職を考えなければいけないから。

出産後にこれまで同様に仕事を続けていけるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
27歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	時短などしていても問題なく働けるか
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	育児後に復職をしても自分の居場所があるのが心配。
29歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	現在は仕事を重視しているが、子どもが生まれた場合に自分の中で育児・家庭と仕事の重視度のバランスがどう変わるか予測できない。そのバランスが現在とは大きく異なることになった場合、新たな理想のバランスに合わせて会社が処遇を変更、柔軟に対応してくれるか分からない。
31歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	女性の課長以上の方は居るが、皆子育てがある程度落ち着いている世代で、子どもが小さい中での子育てしながらキャリアを積めるか

結婚や出産でキャリアが中断（分断）しないか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
31歳	管理職	結婚して子どもは持たない	結婚というライフイベントが仕事にどの程度影響を与えるかわからないから
29歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	まだまだキャリアを積みたい女性が差別される社会だから
33歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	周囲にも出産・育児のために産休・育休を取る方はいるが、管理職で産休・育休を取っている人が身近にいない

介護が必要になったときの働き方

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
35歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	両親が高齢で私は一人っ子で独身で介護が必要になったらどうすればいいか全く分からないし、介護で働けなくなったら本当に困るの
33歳	管理職	結婚願望も子どもの希望もない	上司が介護で仕事に制限がかかっていたため、自分は1人で両親の面倒を見れるか不安。職場は理解を示さないだろう
38歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	親の介護が迫られたとき、今と同じ働き方ができなければ、今のキャリアを降りるしかないから

今後責任のある仕事を任せてもらえるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
26歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	ライフステージの変化によって女性を下に見られないか

今後どのようなキャリアを築いていくか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
39歳	管理職	結婚して子どもは持たない	新卒から十数年同じ会社で働いてきましたが、この仕事に行き詰まりを感じており、今後転職すべきか悩んでいる。
30歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	とにかく給料をもっと増やして欲しいですが、でも自分が他人より優れたところが思いつかなく、かと言ってどこからどうやって努力していくのかもちょっとわかりません。
31歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	キャリアを積んで管理職にはなりたいたが、管理職になると残業が多くなるため、仕事中心の生活になるのではないかとこの悩みがある。
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	今年組織の大規模な変更がかかり昨年度とは全く異なる業務をしている。これまでのスキルを活かすことができず、やりがい欠けた日々を過ごしている
33歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	スキルを身に付けて開業したいが、出産育児でプランが空からキャリアプランを立てにくい
37歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	現在女性管理職であるが、上からは役員への昇進などキャリアアップを薦められるが、今後のキャリアが漠然としておりイメージがわからず、そこまでの責任を負いたくないためどうしたいかがわからない。

■現在のキャリア・仕事の悩み詳細②



現在のキャリア・仕事の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「自分のキャリア・仕事」と回答した人

現在の会社で培った知識やスキルの市場価値

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
29歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	このまま今の会社に残り続けてスキルアップできるかが不安。希望の部署に行けず、転職になったらどうしようかと気にしている。
28歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	今の会社がいづみであるかわからないので、世の中に自分が必要とされ続けるのか不安
34歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	転職してもどこにも通用しない気がする
38歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	今の部署から異動したり、転職したりする場合、自分のスキルを活かせるのかどうか考えている。

周りにロールモデルがない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
29歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	周りに目指したいと思えるロールモデルがおらず、将来像が見えないから
32歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分の上には役員しかおらず、不在にしていることも多い。尊敬できる上長がおらず、今後どのようにすべきか、悩むことが多い。

将来も今の仕事があるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
33歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	機械のオペレーション業務をしているが、将来的に完全自動化されてしまったら、今の仕事はなくなるのではないかと思っているから。
38歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	AIに仕事を取られそうだから

給与が低い・上がらない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
26歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	賞与もなく昇給昇進制度もないので今後の収入も不安。手取りが少なすぎるため貯金もまともにできないので老後や人生に不安しかない。
39歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	経験や業務量に見合った収入が得られていない
29歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	ボーナスも一定金額で基本給も上がらないのに物価がどんどん高くなっていてため
30歳	管理職	結婚願望も子どもの希望もない	歩合制のため月々の収入の差がある
31歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	昇給幅が小さく、同年代の知人に比べると給料が少ない（残業しなければ満足いく給料が得られない）
39歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	数年間横這い。給与を上げるための機会がない。
34歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	管理職でも仕事の量と責任だけが増え、給料は上がらないしボーナスも全然期待できない金額しかもらえない

適正な評価をされない/出世できるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
37歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	会社の評価方法が不透明で、年齢や所属組織によって評価が違うような気がするから。また、仕事で成果を上げることを日々の目標としている以上、キャリアアップをしていきたいが、今の会社の評価状況で実現できる環境にあるかが気がかりだから。
30歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	努力している人と楽している人の評価が同じだから
32歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	能力に見合った給与をもらえていない、自分より仕事のできない人間が自分より多くの給与をもらっている
38歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	昇格試験が厳しく昇進できない。男性ばかり昇進している。
35歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚し、産休育休を取得した女性は昇進していない一報、結婚した男性は結婚した瞬間に昇進しているから。

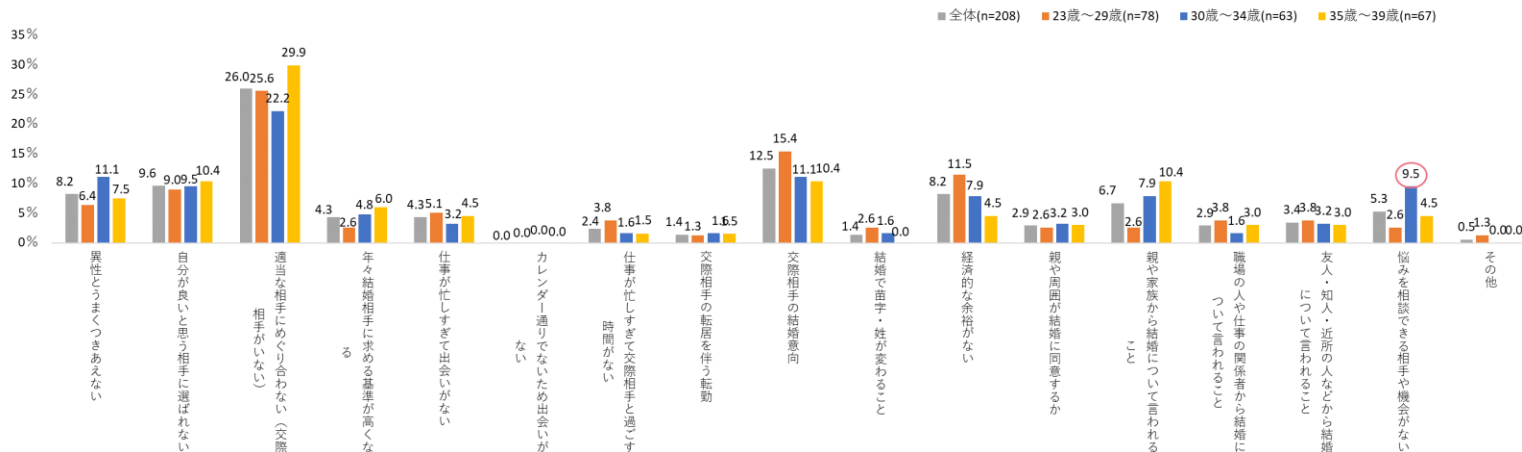
悩みを相談できる相手や機会がない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在のキャリア・仕事に関する悩み詳細
34歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	直属の先輩、上司と関係がうまくいっておらず、相談しようにも情報が漏れそうできない。
38歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	自分の気持ちを言葉で表現するのが苦手なため、悩みをうまく打ち明けられないから
37歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	上司がポジティブすぎて相談しても根本的解決に至らないことが多いので
24歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	友達と職場の愚痴を聞きあって慰め合うことはあるが、踏み込んだアドバイスしてくれる相手はなかなかいないし私も相手にするのは難しいと思う。
27歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	男職場で店舗に女性営業がおらず、バリバリやっている同期の女性もいなかったため、仕事に関する相談ができなかった。（客からのセクハラなど）

【年代別・現在年収別】現在の恋愛・結婚の悩み

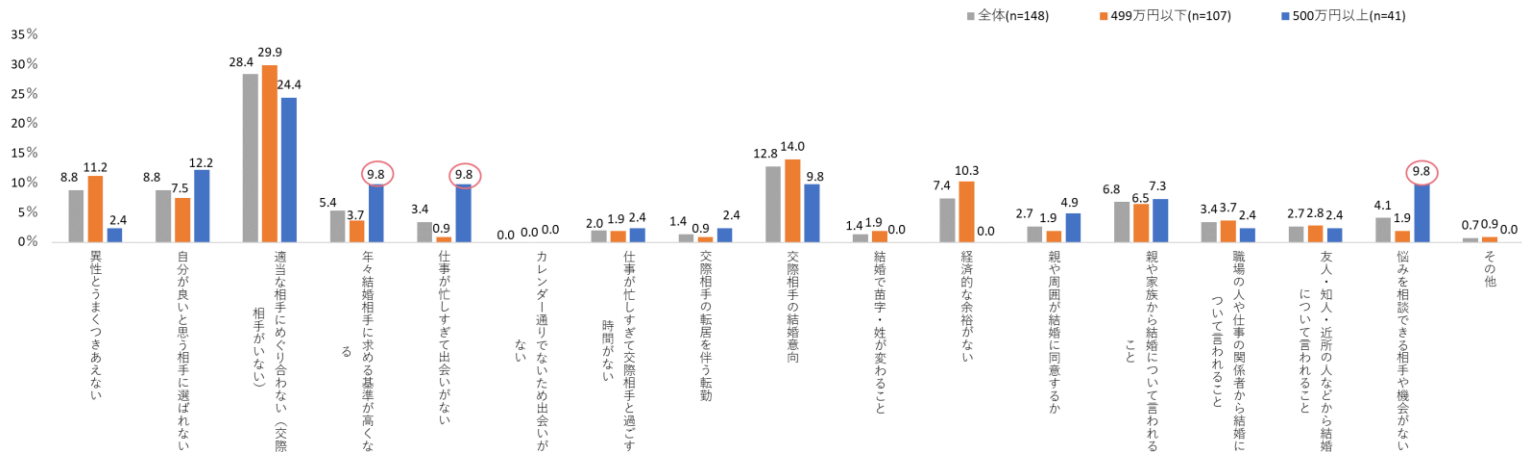
年代別では、全年代で「適当な相手にめぐり合わない（交際相手がない）」がもっとも多く、4人に1人以上がパートナー選びについて悩みを持っていることがわかった。また、全体と比較すると30代前半で「悩みを相談できる相手や機会がない」が+4.2pt高くなった。年収別では、全体と比較すると、500万円以上で「仕事が忙しすぎて出会いがない」が+6.4pt、「悩みを相談できる相手や機会がない」が+5.7pt、「年々結婚相手に求める基準が高くなる」が+4.4pt高くなり、高年収の人ほど悩みが多岐にわたる様子がみられた。

【年代別】現在の恋愛・結婚の悩み（単一回答） ※回答ベース：現在の悩み「恋愛・結婚」と回答した人



【現在年収別】現在の恋愛・結婚の悩み（単一回答）

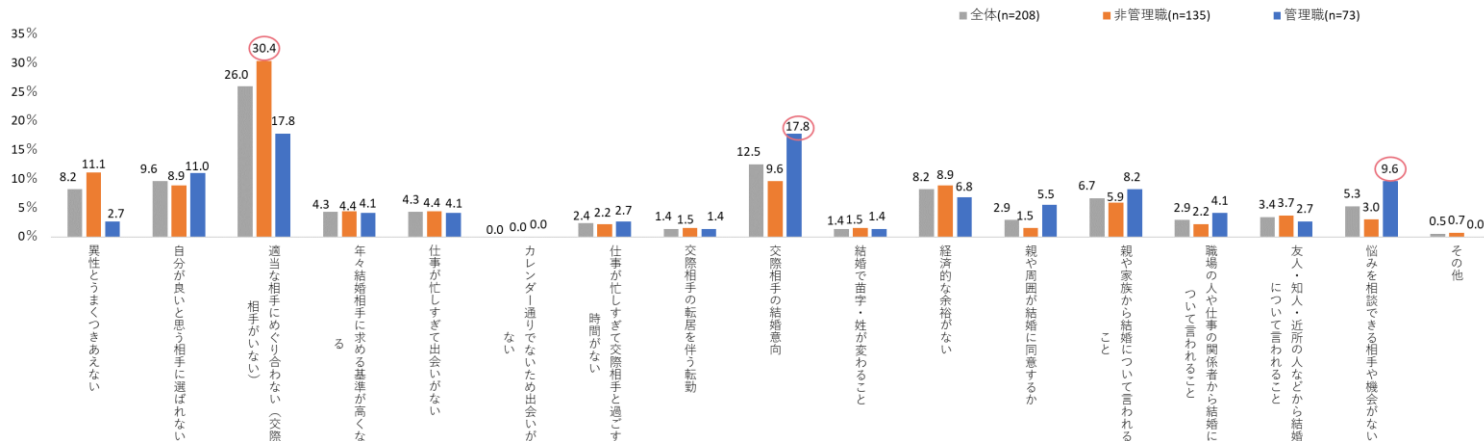
※回答ベース：現在の悩み「恋愛・結婚」と回答した人、※現在年収「答えたくない」を除く



【役職別・希望ライフコース別】現在の恋愛・結婚の悩み

役職別の対全体比較では、非管理職では「適当な相手にめぐり合わない（交際相手がない）」が+4.4pt、管理職では「交際相手の結婚意向」が+5.3pt、「悩みを相談できる相手や機会がない」が+4.3pt高くなった。希望ライフコース別では、結婚して子どもは持たない人で「適当な相手にめぐり合わない（交際相手がない）」が+9.1pt高くなり、同様のライフコースを希望する人をパートナーに選ぶ場合にはパートナー選びのハードルが高くなることなどが一つの要因と考えられる。

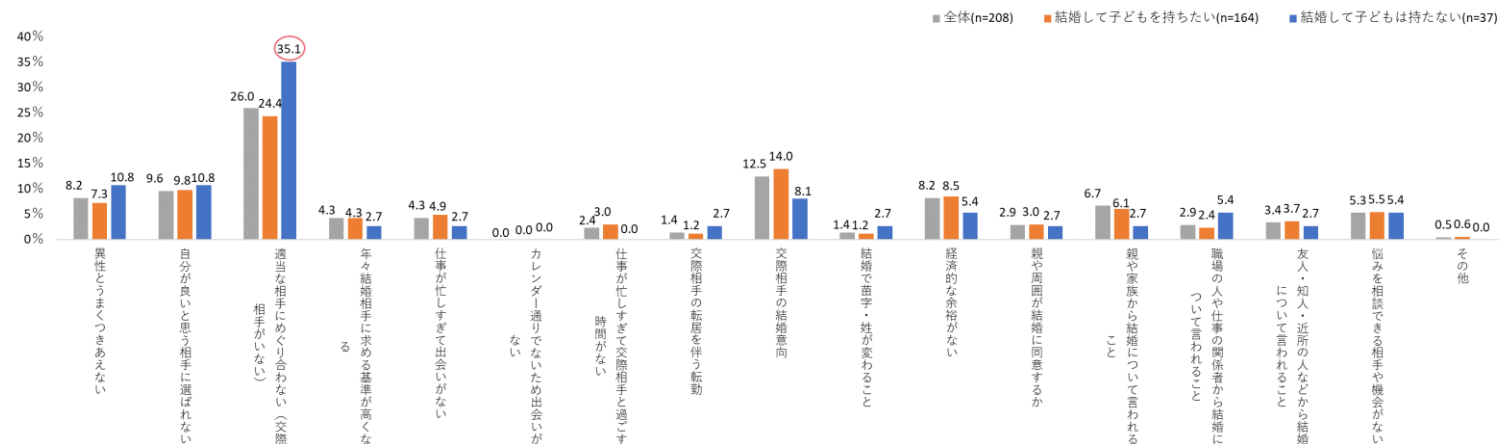
【役職別】現在の恋愛・結婚の悩み（単一回答） ※回答ベース：現在の悩み「恋愛・結婚」と回答した人



【希望ライフコース別】現在の恋愛・結婚の悩み（単一回答）

※回答ベース：現在の悩み「恋愛・結婚」と回答した人

※「結婚せずに子どもを持ちたい」「結婚願望も子どもの希望もない」は回答数30未満のため割愛



現在の恋愛・結婚の悩みの上位で挙がっていた【適当な相手にめぐり合わない（交際相手がない）】について詳細をみると、「テレワークや既婚者が多い部署で出会いが少ない」「交際しても長く続かない」「どういう相手が良いのか分からない」などのコメントがみられた。そもそもの出会いの機会がないことや自分にとっての適当なパートナー選びについての悩みを抱えていることがわかった。

現在の恋愛・結婚の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「恋愛・結婚」と回答した人

異性とうまくつきあえない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
29歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	人と話すのが得意ではなく特に異性は難しい
39歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	本当の自分をうまく出せない
34歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	自分に自信がないから交際まで発展しない
38歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	恋愛経験が乏しいため異性とどう接したらいいかわからない。

自分が良いと思う相手に選ばれない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
29歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	男性に好かれることはあるのだが、合わない人で、自分から好きになる人には相手にしてもらえない。
36歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分が理想とする人に中々出会えない、またはいたとしても納得できる条件を満たしていない、相手から選ばれないため、中々婚活が進まない

適当な相手にめぐり合わない（交際相手がない）

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	テレワークかつ、部署に既婚者が多いこともありあまり出会いがない。
30歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	最近付き合っていた人と別れたので、またイチからの出会いを求めて、いい人に会えるかわからないので不安。
32歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	会社と家の往復が多く、在宅勤務もあるため、出会いが少ない。アプリをやってみるものの、「良いな」と思える人に出会えていない。
35歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	同年代で未婚の相手となると、多趣味や友だちとの付き合いを優先的にしている人たちが多くのように感じて、デートするとしてもスケジュールが合わないことがある。
24歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	あまり人を好きになることがなく交際しても長く続かない
29歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分で自分がどういう相手が良い、適当と感じるのか分からない。
38歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	わざわざ見合いするまでの気力はないが、普段の生活では出会いがない

年々結婚相手に求める基準が高くなる

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
31歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	見た目や中身など、いろいろな条件を見てもうることが増えたから
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	好みのタイプよりも「嫌いなタイプ・絶対に結婚したくないタイプ」を考えてしまい、嫌なところが目につくようになってしまった。

仕事が忙しすぎて出会いがない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
38歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	夜も海外の同僚との会議が多いため、予定を入れるのが難しい。
32歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	とにかく忙しくていまでも出会う時間がとれないから
37歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	仕事を優先し過ぎているため、出会う時間がない。また、疲れて帰ってくる為、積極的に行動することもなく面倒と感じてしまう。

仕事が忙しすぎて交際相手と会う時間がない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
35歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	なかなか会えないと交際相手とコミュニケーション不足となり、ケンカが少し増えてしまうこと。
36歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	交際相手も自分もお互いに仕事が忙しいので、会う時間が限られる。

交際相手の転職を伴う転職

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	交際相手と遠距離であり、本当に結婚できるか心配
25歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	会える回数が減り話し合いができにくくなるため。
30歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	交際相手が転職できるならまだいいが、転職という選択肢がないため、結婚する場合は自分が転職を考えなければいけない。

現在の恋愛・結婚の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「恋愛・結婚」と回答した人

交際相手の結婚意向

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
23歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	交際相手の結婚願望の有無がよく見えず、自分との未来を考えてくれているか気になっているが聞けないこと
39歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	遠距離恋愛が長くなるにつれて相手の結婚意向がなくなっているように思えるから
34歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	結婚のタイミングがわからない

結婚で苗字・姓が変わること

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
28歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	画数が最悪になるので
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分が一人っ子であり、交際相手も長男のため、どちらの姓にするかスムーズに決められない
31歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	苗字が変わることで色々な手続があって大変なため

経済的な余裕がない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
29歳	非管理職	結婚願望も子どもの希望もない	恋愛を楽しむお金（デートにかかるお金）の余裕が全くない。
28歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	相手（男性）の方が収入が少なく、貯金もない。金銭面での焦りを持っているのか不明。金銭面に苦しく生きていきたいくない。
25歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	同棲、結婚するにも子育てするにもお金がかかる。お金問題があるとスムーズに進む話も進まない。
33歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	お互いの収入だけでやっていけるか不安だから

親や周囲が結婚に同意するか

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
36歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	交際相手と年齢差があるため、結婚を許してもらえないか不安
29歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	交際相手を親に紹介したら、相手の仕事に難色を示された。早く結婚したいのに承諾してもらえなさそうだから。

親や家族から結婚について言われること

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
33歳	管理職	結婚願望も子どもの希望もない	帰省するたびに相手がいなか親から聞かれることが不快
34歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	親戚や親から、無言の「早く結婚しないの」「何で結婚しないの」と言う圧力を感じる
35歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚することを強制されている感が強くストレスを感じる
38歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	親も歳なのと、わたしが一人っ子なので、孫の顔が見たいと良く言われます。凄く気持ちがわかるので胸が痛いです。

職場の人や仕事の関係者から結婚について言われること

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
28歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分でも気にしているのに言われてしまうせいで余計気にしてしまう
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚の予定ないのに、いつ結婚するの？と圧をかけてくるのが嫌で返答に困る

友人・知人・近所の人などから結婚について言われること

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
26歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	同性の友達や異性の同僚から結婚していないことについていじられたり、親からどうするの？と言われてストレスがたまる
35歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚は積極的でないのに、聞かれるため答えに困る
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚していないことで欠陥があるように認識されること。

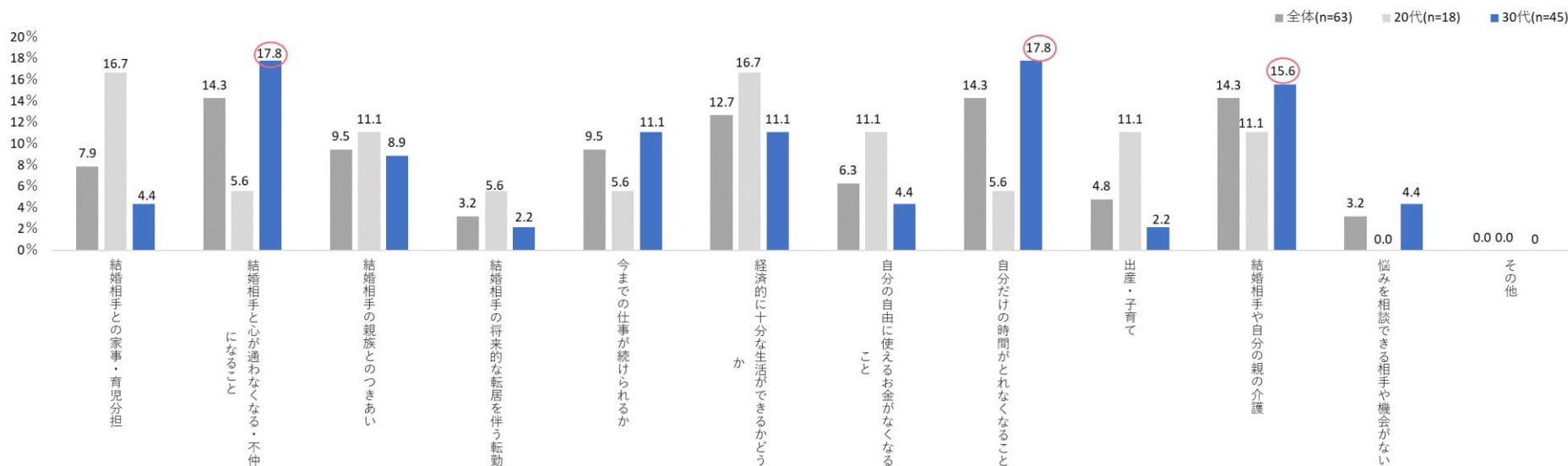
悩みを相談できる相手や機会がない

年齢	役職有無	希望ライフコース	現在の恋愛・結婚に関する悩み詳細
33歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	理解して本気で考えてくれる人はいないと感じる
32歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	実家から離れて家族も友人も近くにいないから

■未婚女性が現時点で想像する結婚生活の悩み

全体では、「結婚相手と心が通わなくなる・不仲になること」「自分だけの時間がとれなくなること」「結婚相手や自分の親の介護」がもっとも多く、次いで「経済的に十分な生活ができるかどうか」となり、結婚相手との関係性や時間に関して、介護など悩みは多岐にわたる様子がみられた。また、回答数が少ないため参考値とするが、年代別では、全体と比較すると20代で「結婚相手との家事・育児分担」「出産・子育て」が多くなり、若年層では生活面での不安が大きいようだ。

未婚女性が現時点で想像する結婚生活の悩み（単一回答） ※回答ベース：現在の悩み「結婚生活」と回答した人



■未婚女性が現時点で想像する結婚生活の悩み詳細①

現時点で想像する結婚生活の悩みの上位で挙がっていた項目についてそれぞれ詳細をみると、【結婚相手と心が通わなくなる・不仲になること】では「話し合いができてない関係性や結婚によるリスク」、【自分だけの時間がとれなくなる】では「共同生活や育児という生活の変化によって趣味や一人の時間がとれるか」、【結婚相手や自分の親の介護】では「親との距離が離れていることへの不安や介護を行う自信がない」といったコメントがみられた。

現時点で想像する結婚生活の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「結婚生活」と回答した人

異性とうまくつきあえない

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	相手が家事・育児をどれだけできるかわからないから
27歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	家事・育児をやると言っても本当にやるかどうかわからない

結婚相手と心が通わなくなる・不仲になること

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
24歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	同棲ですらあまりうまくいっていない、話し合いができてない
38歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	転居が伴う場合、仕事も辞めることになり、その上離婚となると失うものが大きいから

結婚相手の親族とのつきあい

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
27歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	片親で溺愛がすごいで
28歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	彼の家は行事を重んじる人たちばかりで、それを全部参加すると思うと頭が痛い
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	金銭感覚がダラシない身内がいて、嫌な思いをさせられそう
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分の親族に悩まされてきたため、相手の親族が良い人達という保証はないことが不安
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	人間関係を作るのが苦手だから

今までの仕事が続けられるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
28歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	仕事と家庭の両立ができるか不安だから
32歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	出産後に戻れたとしても、今と同じ仕事ができないのではないかと
32歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	ライフステージの変化によりいまのキャリアをすてないといけないから

経済的に十分な生活ができるかどうか

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
26歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分と相手の収入で充分な暮らしができるかどうか不安だから。
29歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	主に自分の収入で生活していくことになるので、賄えるのか不安

現時点で想像する結婚生活の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「結婚生活」と回答した人

自分の自由に使えるお金がなくなること

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	ただでさえ自分にお金をかけるために今の収入じゃ足りないのに人のためにお金を使えるのかが疑問に感じた。
37歳	管理職	結婚して子どもは持たない	今までは好きなように使えていたのが制限されるのはストレス

自分だけの時間がとれなくなること

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
36歳	非管理職	結婚して子どもは持たない	共同生活を送るので自分の時間がとりにくそうだから
36歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	趣味の時間が欲しい。
37歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	仕事と育児となると今までのように自由に使える時間がなく、ストレスや窮屈に感じてしまう。

出産・子育て

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
29歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	キャリアを中断したくないが、子どもを持つ場合に産休を取らないといけないことや子育てを分担したいが結婚相手に育休を取ってもらえるか
39歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	出産の場合、高齢出産になるから

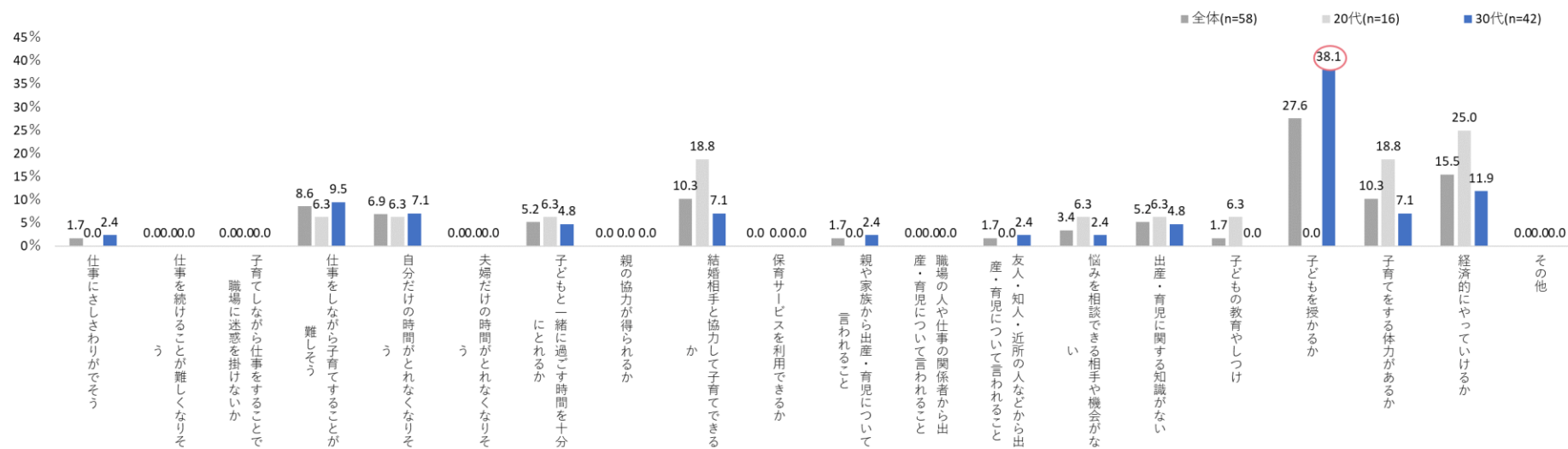
結婚相手や自分の親の介護

年齢	役職有無	希望ライフコース	結婚生活に関する悩み詳細
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	一人っ子なので、何かあったとき子どもの面倒だけでなく、親の面倒を一人で見るのか不安になる
31歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分の親が高齢のため、すぐ介護生活がくるのが不安
36歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	介護をできる自信がない
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚相手の親の面倒を見ないといけないのか不安
38歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分の実家が離れているので、介護等が必要になった時の事を考えてしまう。

■未婚女性が現時点で想像する出産・育児の悩み

全体では、「子どもを授かるか」が27.6%ともっとも高く、次いで「経済的にやっていけるか」が15.5%、「結婚相手と協力して子育てできるか」「子育てをする体力があるか」が10.3%となった。また、回答数が少ないため参考値とするが、年代別では、全体と比較すると20代で「経済的にやっていけるか」「結婚相手と協力して子育てできるか」「子育てをする体力があるか」が、30代で「子どもを授かるか」が多くなった。4人に1人以上は子どもを授かるかについて悩みがあり、加えて経済面や体力面での不安を抱えている様子がみてとれる。

未婚女性が現時点で想像する出産・育児の悩み（単一回答） ※回答ベース：現在の悩み「出産・育児」と回答した人



■未婚女性が現時点で想像する出産・育児の悩み詳細①

現時点で想像する出産・育児の悩みの上位で挙がっていた【子どもを授かるか】について詳細をみると「高齢出産や不妊問題、生まれてくる子どもの障害の有無」についての不安を抱えているコメントが30代で多出した。子どもを授かるかという悩みでも年齢的な悩み・身体的な悩み・生まれてくる子どもについてなど、悩みは多様であることがわかる。

現時点で想像する出産・育児の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「出産・育児」と回答した人

仕事をしながら子育てすることが難しそう

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
36歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	育児の時間をとったら睡眠時間はなくなりそう
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	子どもを持った場合、急な呼び出しに対応しにくい仕事なので

子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
27歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	共働きしていたら親が子どもと一緒に過ごす時間がなさそう

結婚相手と協力して子育てできるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
27歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	結婚前育児をはやると言っても、仕事を言い訳にされそう
29歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	女性が子育てするべき、という考え方の男性が多すぎるから、共働きでワンオペにならないかどうか心配
29歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	育児は分担して行いたいけど、結局のところ相手がどのように育児に関わるかはその時になってみないと分からないため不安
32歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	子育てと仕事の両立をしている人はいるけど、仕事でのキャリアアップまでできていないから。
33歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	仕事と子育ての両立するにはお互いの協力が不可欠だと思うけど、そこを協力しあえるか、不安だから。

親や家族から出産・育児について言われること

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
33歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	早く結婚・出産してほしいと言われる

出産・育児に関する知識がない

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
31歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	育児がどのくらい大変か理解できてない
32歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	出産や育児の経験がなく未知だから

現時点で想像する出産・育児の悩み詳細（自由回答） ※回答ベース：現在の悩み「出産・育児」と回答した人

子どもの教育やしつけ

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
29歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	子どもをいい子に育てられる自信がないから

子どもを授かるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
32歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	不妊問題を身近で感じているため
33歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	もっと仕事をしたいが、年齢を重ねれば重ねるほど、妊娠しづらくなると聞くため、不安になる
37歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	年齢的にも難しく、障がいを持って産まれないか不安
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	年齢的に授かる可能性が低くなってきているのが不安。
38歳	管理職	結婚して子どもを持ちたい	高齢で出産や子育てに自分が耐えられるかどうか心配。

子育てをする体力があるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
26歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	子どもができることで今までの暮らしが180度変わってしまうのではないかと思ったから。
26歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分が1人の命の責任を負えるのか心配
37歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	年齢的に疲労困憊…体を壊しそう

経済的にやっていけるか

年齢	役職有無	希望ライフコース	出産・育児に関する悩み詳細
24歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	自分の生活だけで精一杯
25歳	非管理職	結婚して子どもを持ちたい	まだ相手以外ない状態だが、経済力がある人と出会えるのか、子どもを私立に通わせたいという思いがあるのでそれに見合った方と出会え

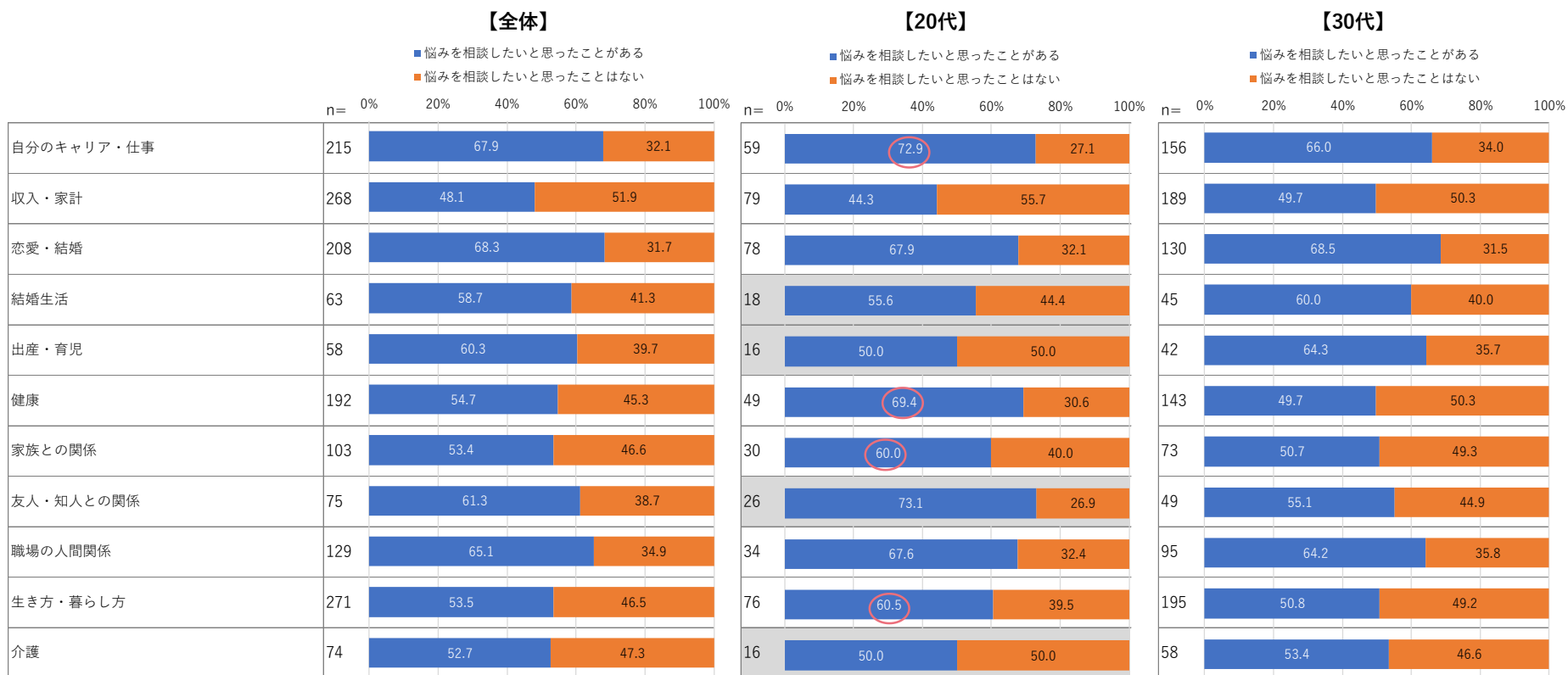
■相談したい悩みは20代で「自分のキャリア・仕事」、30代で「恋愛・結婚」がトップ



悩みを相談したいと思ったことがある項目を比較すると、20代では「自分のキャリア・仕事」が、30代では「恋愛・結婚」がもっとも多かった。全体と比較すると、20代で「健康」が+14.7pt、「生き方・暮らし方」が+7.0pt、「家族との関係」が+6.6pt、「自分のキャリア・仕事」が+5.0pt高くなり、20代では相談したい内容は多岐にわたる様子がみられた。

悩みを相談したいと思ったことがあるか（単一回答）

※回答ベース：各項目について現在悩みがあると答えた人、※n=30未満は参考値とする

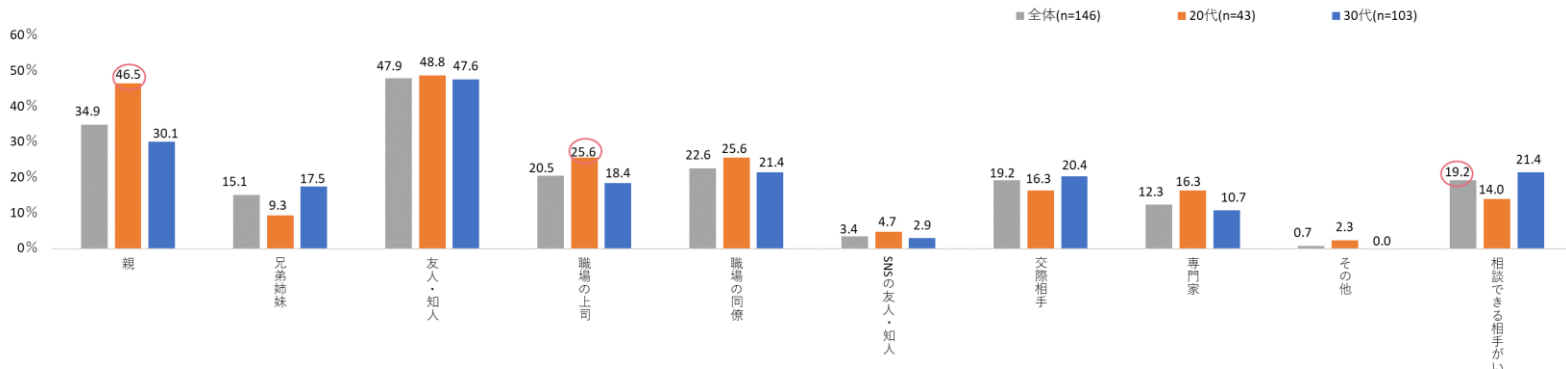


■ 「キャリア・仕事」「恋愛・結婚」の悩みを相談したいが、相談相手がない人は2割

前項で相談したい悩みの上位に挙がった【キャリア・仕事（19.2%）】【恋愛・結婚（24.6%）】に関して2割程度が相談相手がおらず、30代の【恋愛・結婚（27.0%）】では3割が相談相手がないことがわかった。相談相手としては【キャリア・仕事】【恋愛・結婚】いずれにおいても20代・30代ともに「友人・知人」がもっとも多く、次いで「親」となった。全体と比較すると、【キャリア・仕事】に関しては20代で「親」が+11.6pt、「職場の上司」が+5.1pt、【恋愛・結婚】に関しては20代で「親」が+6.7pt高かった。悩みを抱えている人が相談できる環境を政府や企業が整えていくことも求められると考えられる。

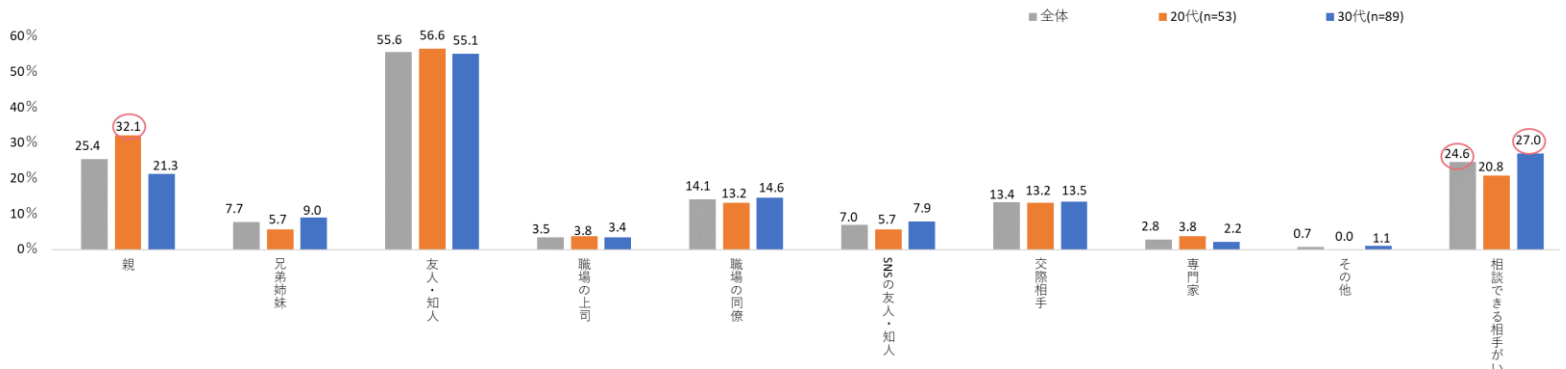
【自分のキャリア・仕事に関して】相談できる相手がいるか（複数回答）

※回答ベース：自分のキャリア・仕事に関して「悩みを相談したいと思ったことがある」と答えた人



【自分の恋愛・結婚に関して】相談できる相手がいるか（複数回答）

※回答ベース：恋愛・結婚に関して「悩みを相談したいと思ったことがある」と答えた人



【現在の悩み】

◎現在の悩みは「生き方・暮らし方」「収入・家計」「自分のキャリア・仕事」「恋愛・結婚」に関する悩みが上位となったが、年代・収入・役職・希望するライフコースごとに異なることがわかった

【仕事・キャリアについての悩み】

◎20代・30代ともに「給与が低い・上がらない」がもっとも多く、4人に1人以上が給与面での悩みを持っている

◎20代や管理職に就いている人、高年収の人ほど「出産後にこれまで同様に仕事を続けていけるか」が多い

◎高年収の人ほど悩みが多岐にわたり「今後どのようなキャリアを築いていくか」「周りにロールモデルがない」「出産後にこれまで同様に仕事を続けていけるか」などが多くなった

◎20代や結婚するが子どもを希望しない人で「悩みを相談できる相手や機会がない」が多い

【恋愛・結婚についての悩み】

◎全年代で「適当な相手にめぐり合わない（実際相手がいない）」がもっとも多く、4人に1人以上がパートナー選びについて悩みを持っている

◎高年収の人ほど悩みが多岐にわたり「仕事が忙しすぎて出会いがない」「悩みを相談できる相手や機会がない」「年々結婚相手に求める基準が高くなる」などが高くなった

◎30代前半や管理職に就いている人、高年収の人ほど「悩みを相談できる相手や機会がない」が多い

【悩みの相談について】

◎相談したい悩みは20代で「自分のキャリア・仕事」、30代で「恋愛・結婚」がトップ

◎「キャリア・仕事」「恋愛・結婚」の悩みを相談したいが、相談相手がいない人は2割



働く未婚女性の悩みは年代・年収・役職有無・希望するライフコースによって異なっており、自分の理想とするライフキャリアに対する現状とのギャップから未来への不安を感じることで、悩みが生じていると考えられる。また、悩みを相談できる相手や機会がないことや、その状況に悩んでいる人も多いことから、悩みを解決するためのヒントとして、悩みを相談できる環境を政府や企業が整えていくことが求められると考える。

働く未婚女性の理想のライフキャリアと悩みを調査した結果から
明らかになったこと

第1章・第2章の調査結果から、将来的に結婚・出産を希望する未婚女性が多く、20代や管理職・高年収の人ほど子どもを持ちながら働き続けられるか悩みを抱えている人が多いことがわかった。次章では子どもがいる既婚女性がどのように仕事と育児を両立しているかについてのデータを示しながら、女性がキャリアを諦めることなく子どもを持ちながら働き続けるために必要なことについて探っていきたい。

第3章

先輩女性は どう乗り越えてきたのか ～仕事と育児の両立をするためには～

この章では、既婚で子どもを持ちながら働く25-49歳女性を対象にした「子どもがいる働く既婚女性の仕事と育児の両立に関する調査」を元に、仕事も充実させるためのポイントを探っていく。

※回答対象：子どもがいる既婚女性（大卒・大学院卒で正社員として働き配偶者が正社員である25-49歳の既婚かつ子どもがいる女性）

【この章で取り上げること】

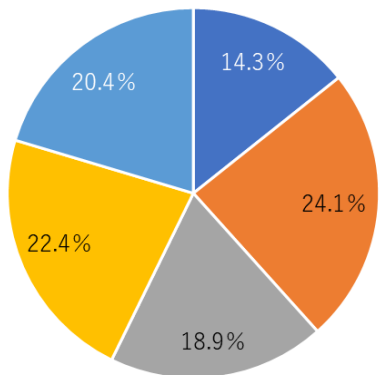
- ・ライフキャリアなどに関する満足度
- ・仕事と育児の両立のために家庭で行ったこと
- ・仕事と育児の両立を行うためのアイデア
- ・結婚前・出産前のキャリアプランやライフプランの有無
- ・理想のキャリアプランを実現するための仕事での取り組み
- ・結婚相手に求めた条件
- ・キャリアプランやライフプランを考慮したパートナーや仕事選び
- ・パートナーと結婚を決めた理由
- ・パートナーとして選ばれるためにしていたこと
- ・出産前に結婚相手と共有・話し合ったこと、定期的に話し合っていること
- ・キャリアプランやライフプランについて結婚相手との共有の程度
- ・出産後の家事・育児の分担、実施割合
- ・仕事と子育て両立のための制度・環境
- ・女性が管理職として活躍するために必要だと思うこと
- ・管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア
- ・これから育児を迎える人へ贈りたい言葉やアドバイス

回答者属性 (回答数：742)



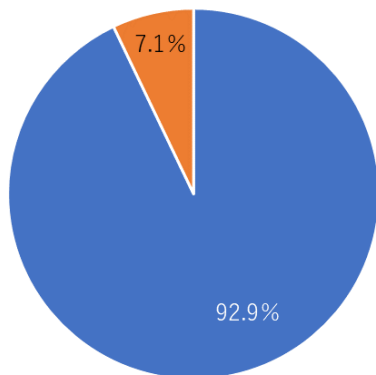
年齢

- 25歳～29歳 ■ 30歳～34歳 ■ 35歳～39歳
- 40歳～44歳 ■ 45歳～49歳



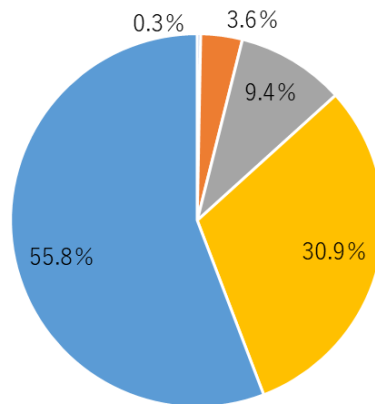
学歴

- 大学 ■ 大学院



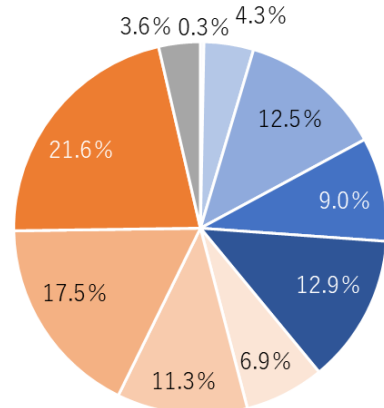
役職

- 役員クラス
- 部長クラス
- 課長クラス
- 係長・主任・職長クラス
- 役職には就いていない



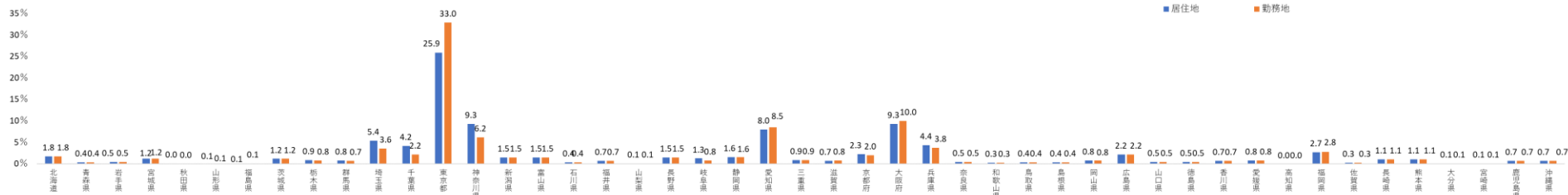
従業員規模

- 2名以下
- 11～50名
- 101～300名
- 501～1,000名
- 5,001名以上
- 3～10名
- 51～100名
- 301～500名
- 1,001～5,000名
- わからない・答えたくない



※「役職には就いていない」は非管理職、「それ以外」は管理職とする

居住地・勤務地

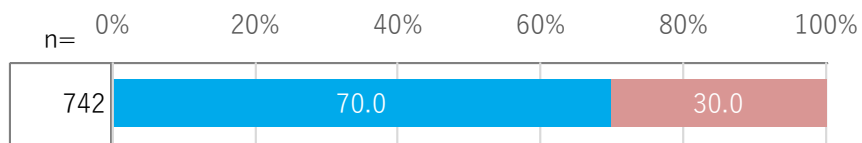


■子どもを持ちながら働く既婚女性の7割が仕事・キャリアに満足

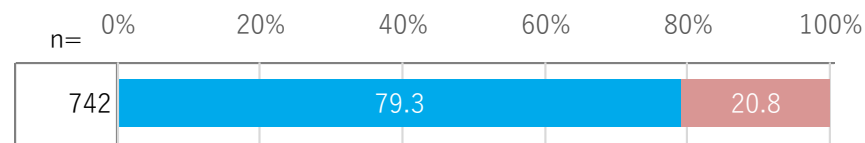
子どもがいる既婚女性に現在の様々な満足度を聞いたところ、【現在の仕事・キャリアに関して】は70.0%、【現在の日常生活全般に関して】は79.3%、【現在の収入に関して】は54.5%、【現在の社会・地域との繋がりに関して】は75.4%となり、日常生活全般と社会・地域との繋がりに関しては満足度が高めとなったが、収入と仕事・キャリアの満足度は低めで、特に収入は約5割と低さが目立つ。

各種の満足度（単一回答）

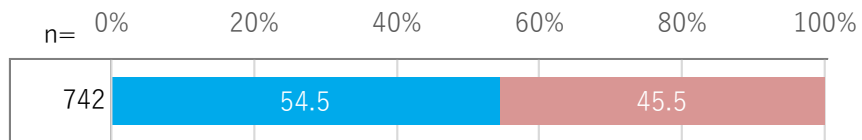
【仕事・キャリアに関する満足度】



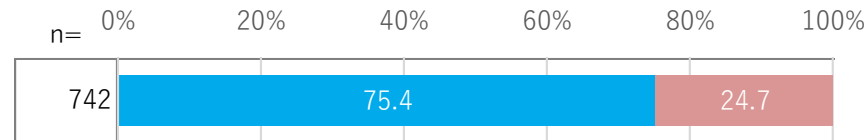
【日常生活全般に関する満足度】



【収入に関する満足度】



【社会・地域との繋がりに関する満足度】



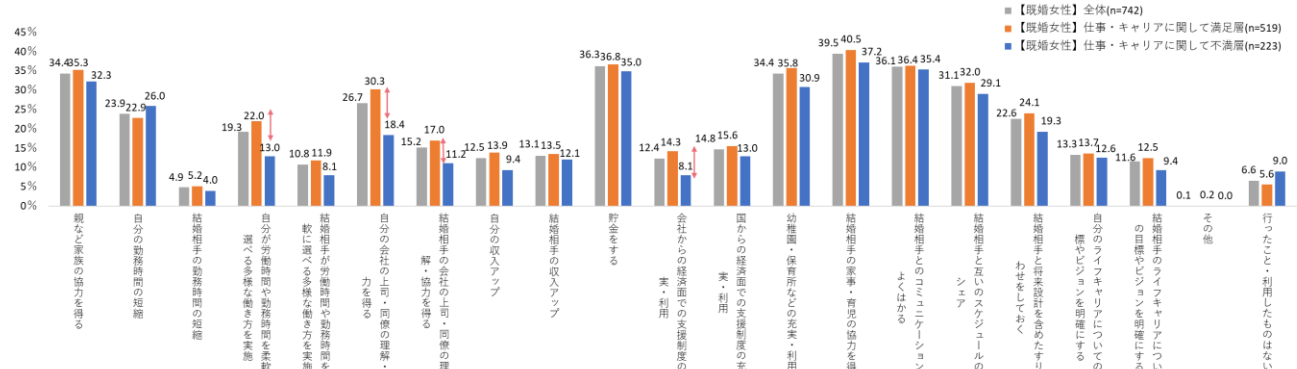
■ 満足 (計)

■ 不満 (計)

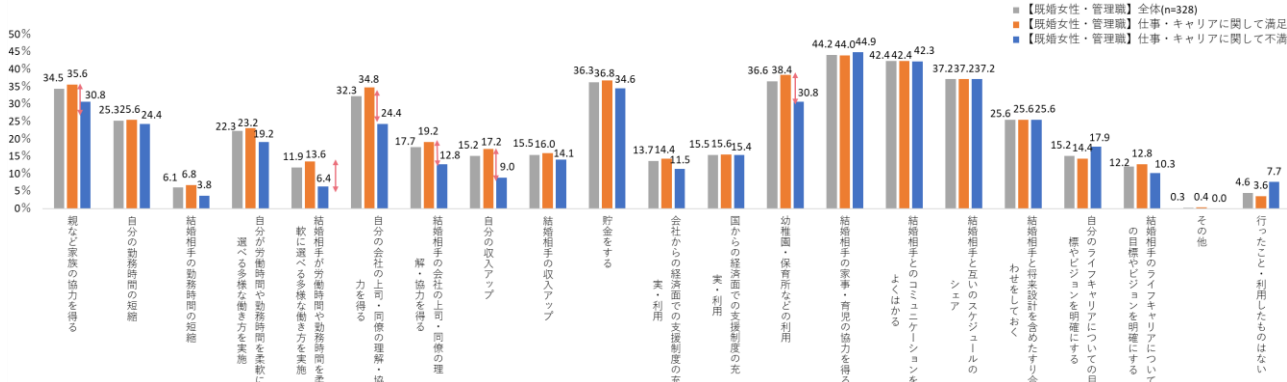
■仕事・キャリアの満足度が高い人は、仕事と育児の両立を行うために家庭で「結婚相手の家事・育児の協力」を得ていた割合が高い

仕事・キャリアの満足度が高い人が仕事と育児の両立を行うために家庭で行ったことは「結婚相手の家事・育児の協力を得る」が最も多く、不満層よりも3.3pt高かった。また、子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、仕事と育児の両立を行うために家庭で行ったことに関する項目を比較した。満足層は不満層より「自分の会社の上司・同僚の理解・協力を得る」「自分が労働時間や勤務時間を柔軟に選べる多様な働き方を実施」「会社からの経済面での支援制度の充実・利用」「結婚相手の会社の上司・同僚の理解・協力を得る」が5pt以上高くなった。また、管理職の満足層は同不満層より、「自分の会社の上司・同僚の理解・協力を得る」「自分の収入アップ」「幼稚園・保育所などの充実・利用」「結婚相手が労働時間や勤務時間を柔軟に選べる多様な働き方を実施」「結婚相手の会社の上司・同僚の理解・協力を得る」が5pt以上高かった。女性が子どもを持ちながら仕事を続けるためには結婚相手の家事・育児の協力に加えて、夫婦双方が柔軟に働ける職場環境であることや上司・同僚の理解・協力が重要だと考えられる。

【全体】仕事と育児の両立を行うために家庭で行ったこと（複数回答）



【管理職】仕事と育児の両立を行うために家庭で行ったこと（複数回答）※回答ベース：管理職



■仕事と育児の両立を行うためのアイデア①

子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデアとしては、「行政による保育支援」「働く環境の整備」「職場での制度の改革」「結婚相手の働き方や意識」「経済的な支援」「社会的な意識改革」など多様なコメントが挙がった。

仕事と育児の両立を行うためのアイデア（自由回答）

行政による保育支援について

年齢	役職有無	出産後も子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデア
27歳	非管理職	保育料の無償化、病児保育の充実(少し熱が出たくらいで中々仕事を休んでばかりいられない)
29歳	非管理職	延長保育の無償化。通勤時、乳幼児連れ専用車両など。
32歳	非管理職	私立、公立、全国どここの保育園、こども園も早朝や延長保育を実施すること。今現在も、娘が通っている公立こども園に早朝延長保育が無いため、本当は働きたいが育休を取得している。
32歳	非管理職	保育所の数、定員を増やすこと。就労を要件とせず、年の途中でも何歳からでもいつでも入れるようにして欲しい。小学校1、2年生の頃の保育の受け皿を拡充して欲しい。
35歳	非管理職	放課後や夏休みなどで子どもを預かってもらえるところの充実
40歳	非管理職	学童保育でも給食が出て、昼食の用意をしなくてよくなる
45歳	非管理職	預けれる所や話を聞いてくれる人とのコミュニケーションを大事にする。人とのつながりをもてる機会をつくる
47歳	非管理職	子どもが病気になったときにどうしても仕事を休まなければならなかった。そのためあつという間に有休がなくなってしまった。子どもが病気になったときに代わりに面倒を見てもらえる病児保育の充実が必要だと思う。
33歳	管理職	児童手当のアップ・物価価格や光熱水費等の安定・転職後すぐ有給や時間休が使えるようになる
35歳	管理職	働きたい人が安心して預けられる保育園が増えること。その保育園が保育士さんが心身ともに健やかに働ける環境(給与・労働時間)になること。
45歳	管理職	保育園は充実してきているが小学校低学年が朝・夕方が大変なため、制度および会社の支援が必要
47歳	管理職	私用やリフレッシュのためでもすぐに子どもを預けられる施設を増やすこと。自治体でもあるにはあるが、事前登録や3日前からの予約や枠の少なさ、1時間900円から2時間以上だと高額、日曜休みなどなかなか使えない。

働く環境について

年齢	役職有無	出産後も子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデア
28歳	非管理職	子どもが病気になっても休みやすい環境づくり
28歳	非管理職	すぐに短期で働ける人を補充できる環境
33歳	非管理職	育児により急な欠勤や早退が増える為、育児中の女性社員に対しては、それでも支障をきたさないような業務を割り振ったり、そのような社員を集めた部署を設置し、気兼ねなく休めたりしながら働き続けられるような環境を整備すること。
40歳	非管理職	本人のモチベーションが大事だと思うので、様々なロールモデルの事例をシェアしてほしい
31歳	管理職	女性の管理職を増やして女性の気持ちに寄り添える人を上に置く
32歳	管理職	どうしても子どもの体調不良で急な欠勤があるので、欠勤時に仕事をフォローしてくれる人が必ず必要。
42歳	管理職	産休育休中や時短勤務に伴う人的不足を補う補助があれば、取りやすい
46歳	管理職	職場の同僚上司の意識を変える取り組みが必要
46歳	非管理職	子持ち既婚のグループで仕事を組む。独身と既婚が混ざるから理解が進まないし、急な休みも独身者への負担が多くなりがちだから。子持ち既婚同士なら持ちつ持たれつが成り立ちそう。
46歳	非管理職	自分が担当している仕事を他の人もできるようになっていると、柔軟な働き方ができるので、急に休むことになっても、助かると思う。出産時は、会計事務所に働いていたので、自分しかわからないことが多くあり、とても大変だったため。

仕事と育児の両立を行うためのアイデア②

職場での制度について

年齢	役職有無	出産後も子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデア
28歳	非管理職	子連れ出勤を認めてほしい
28歳	非管理職	時間に融通効く雇用形態。3歳まで10-13時など選べたら働きやすくなるし、職場を離れる人が少なくなると思う。
29歳	非管理職	リモートワーク推進。育児だけではなく介護などの都合で働けない人のフォローも含めて対応することで、急な休みを取りやすくする
31歳	非管理職	育休を3歳になるまで、時短制度を小6までにする
35歳	非管理職	家事代行サポートを福利厚生として企業が手配する。フレックス勤務の確立、時短勤務の減給分を会社が負担して給料満額支給
35歳	非管理職	子どもの学校の役員とか当たった場合に休みがとりやすくなり、子どもの行事の際に休みをとれるようにしてほしい。子どもの習い事を習わしやすいうように週3日や週4日で働けるようにしてほしい。
36歳	非管理職	社内に子どもを預けることができる託児所その費用は福利厚生として会社が全額または半額程度負担をするという託児所
37歳	非管理職	フレキシブルな勤務体制を前提としたワークライフインテグレーションの実現。育児のコアタイムである17:00-21:00後、あるいは早朝に働ける環境と周囲の理解(その時間は応答不可)が必要。
45歳	非管理職	時短勤務を小学校三年生くらいまでできるように急に休むことがあったら、自身の評価が下がるのではなく、周りの評価が上がるシステム
46歳	非管理職	キャリアを中断しても数年以内なら同じ会社に再雇用可能など戻りやすい環境を作る。一旦出産退職するとパートでしか働けない事が多いのは問題だと思う。
29歳	管理職	子育てに専念する期間を自由に選ぶことができるように育児休業を延長できる制度や、在宅勤務や時短勤務などの多様な働き方の浸透。
30歳	管理職	在宅勤務をフルでできるとよい。また、平日発熱等で休んだ場合、土日に働くことで有給を減らないようできるとよい
35歳	管理職	子持ち女性を追い詰めないようにフォローする人への金銭的支援と理解。育児休業給付金の算定を健康に勤務できてた期間で計算する。
42歳	管理職	時間に拘束のない評価制度
49歳	管理職	希望すればいつでも戻れる仕事環境があること。もちろん時短や配置変えはあるかもしれないが、本人が希望して能力を証明すれば出産前のキャリアを続けられるチャンスを会社が用意する事

結婚相手について

年齢	役職有無	出産後も子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデア
31歳	非管理職	男性も時短勤務ができたり、コミュニケーションとしての会食を減らして、帰宅する時間をはやめること
38歳	非管理職	配偶者が積極的に家事・育児に参加できるように性別問わず時短勤務を認めて評価が下がるといけないこと
39歳	非管理職	結婚相手の予定を把握しておくこと。子どもの病変があったときにどう対応するかすぐに方針が決められて良い。
39歳	非管理職	旦那に何でも言える関係性を出産前から築いておく。
40歳	非管理職	女性だけでなく男性の育休取得と家事育児スキルの向上週休3日制や時短勤務など、柔軟な働き方の拡充
40歳	非管理職	結婚相手が家庭生活に協力的になれるような環境を社会が作る努力をする(男性の育休、有給とりやすい、学校行事への参加を促す、定時で帰る風習の浸透)
33歳	管理職	夫の職場の子育てについての理解。

経済的な支援について

年齢	役職有無	出産後も子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデア
29歳	非管理職	2世帯住宅を建てる際に補助金を増やす
32歳	非管理職	疲れた時に家事育児を気軽に外注できる程度の給与水準が必要だと思います。
33歳	非管理職	非課税所得だけではなく課税所得にももっと支援が欲しい
38歳	非管理職	育児休業給付金の額を増やしてほしい、初回受取日をもっと早く設定してほしい。
45歳	非管理職	教育費が膨れ上がる小学校高学年以降の行政からの経済的なフォロー
27歳	管理職	育児手当金の全額支給など金銭面での援助や会社の近くに保育園を設置すること。また時短勤務を選択しても給料の補填ができるような仕組み。時短になるとどうしても給料が減り保育園のために働いているように感じてしまう。
34歳	管理職	子育て世代の税制緩和
40歳	管理職	出産費用、妊婦健診などの補助。産める産院がない、受け入れてもらえない事があるため、産院の充実。

社会的な意識について

年齢	役職有無	出産後も子どもを持ちながら仕事を続けていく女性を増やすためのアイデア
36歳	非管理職	地域で女性にだけ行事ごとに参加させるのではなくしていくように考えていくことが大切だと感じます
40歳	非管理職	日本社会全体の子育てに関する価値観(急に休んでも文句を言われなかったり、妊娠中に体調を考えて業務を変えるなどが当たり前になる)が変わらないと不可能だと思う。
46歳	非管理職	育児を国や地域でもっと分担する。近所に関わりたいたい人がいるはず。
48歳	非管理職	こどもを育てるということは、急病やトラブルなど、予想外のことがいつでも起こりうるもので、それが当たり前であるという認識をみんなで作ることができるように、男女ともにそのような教育を受けること。
35歳	管理職	社会全体の子育て層に対する理解促進。SNSなどで炎上しやすいのは子育て世代の投稿だが、社会全体の理解促進が進んでないと思われる。若者だけでなく、全世代で理解が進んでない。メディアやSNSの力をもっと使い、育児に対する番組や広告などをしていく必要がある
45歳	管理職	男性自身が、家事や育児の主体者という(手伝う意識ではなく)意識をもつこと(仕事そのものではなく、自宅での家事育児負担が、仕事を続けられるかに影響する)
49歳	管理職	子育ては個人的なものではなく社会的なものだ、という認識を皆が持つこと。

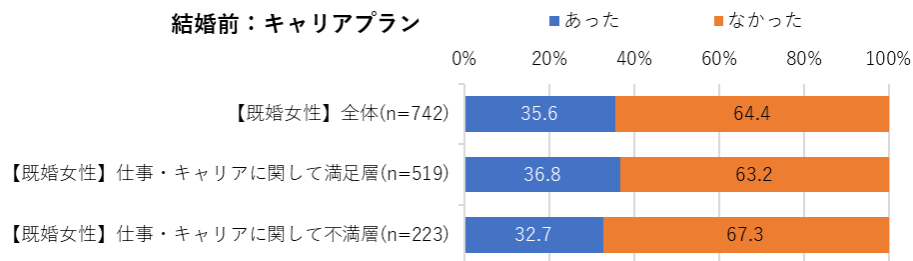
■仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚前・出産前にキャリアプランやライフプランについて明確な目標やビジョンがあった割合が高い



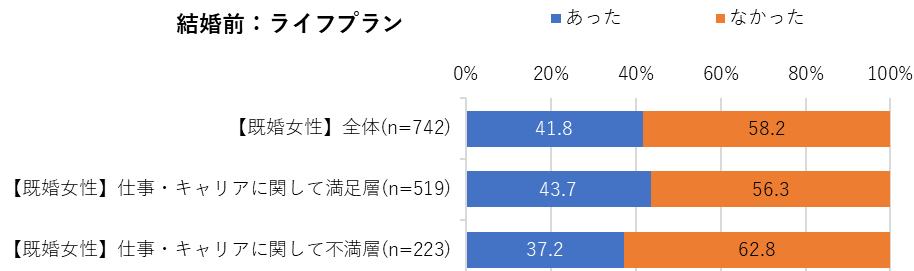
子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、キャリアプランやライフプランについて明確な目標やビジョンがある割合を比較した。満足層は不満層より【結婚前のキャリアプランに関して】は+4.1pt、【出産前のキャリアプランに関して】は+8.6pt、【結婚前のライフプランに関して】は+6.5pt、【出産前のライフプランに関して】は+7.8pt高くなり、仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚前・出産前にキャリアプランやライフプランについて明確な目標やビジョンがある割合が高かった。結婚前や出産前に自身のキャリアプランやライフプランについて目標やビジョンを持つことは仕事・キャリアの満足度を高めるうえで重要と考えられる。

結婚前・出産前にキャリアプラン・ライフプランについて明確な目標やビジョンがあったか (単一回答)

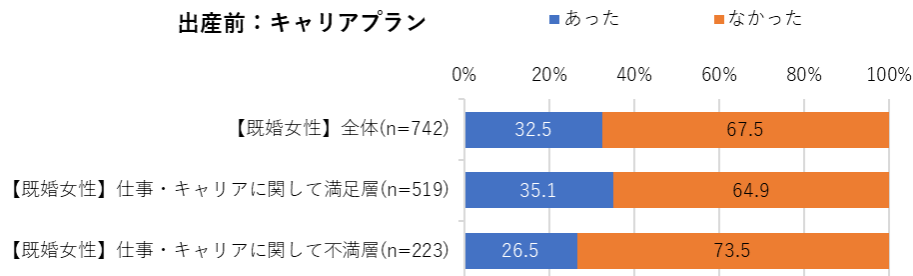
結婚前：キャリアプラン



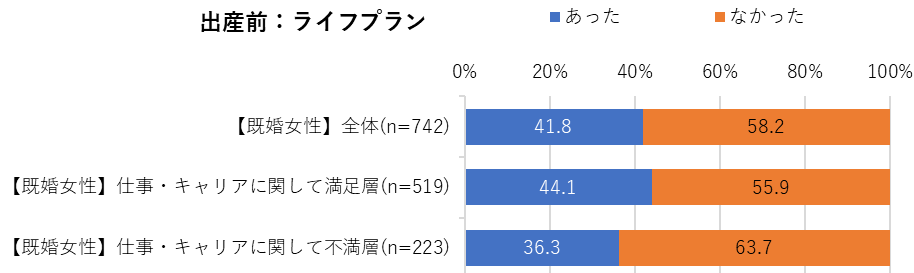
結婚前：ライフプラン



出産前：キャリアプラン



出産前：ライフプラン



■理想のキャリアプランを実現するための仕事での取り組み①

子どもがいる既婚女性で仕事の満足度が高い人に理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事を行う上で取り組んだことや意識したことを聞いたところ、「昇進・昇格」「理想のキャリアプランの明確化」「上司や会社に対してキャリアプランや目標の相談・共有」「資格取得などの自己研鑽」などが多出した。女性が子どもを持ちながら仕事を続けるためには明確な目標やビジョンを持つことや、実現に向けて職場の上司などに自分のビジョンを共有すること、自己啓発を行うことなどが重要だと考えられる。

理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事を行う上で取り組んだことや意識していたこと (自由回答) ※回答ベース：仕事・キャリアに関する満足度が高い人

昇進・昇格

年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
28歳	非管理職	昇進のための実績を積むこと
30歳	管理職	できるだけいい評価がもらえるようにして、昇進を早くできるようにする
33歳	管理職	目標は出産前に中間管理職につくことだった。子育てをしながら働くことができるよう、ある程度自分で仕事を管理できる立ち位置にすることが、理想だった。そのため、職場で昇進するために必要な研修を、予定を立てて受けていた。また、自分自身のアピールになるような、公募型のプロジェクト等に進んで参加した。
34歳	管理職	昇進のための勉強
34歳	管理職	30代前半までに2階級昇格することを目標にしていた。
35歳	管理職	結婚するまでに役職に着いておきたかったので、誰よりも仕事を引き受け、結果を出し続けた。結婚、出産を経ても働き続けられる女性社員のモデルケースにもなれるよう、後輩にも長期でキャリアプランを築く重要性を説いた
37歳	管理職	今の職場で必要な人材になるために、あらゆる仕事を率先して行った。知識や経験を蓄え、管理職に近付けるようにした。
48歳	管理職	結婚当時の年齢で課長レベルのキャリアまで行きたかったためそれに向けて行動した

業務上での工夫

年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
31歳	非管理職	責任ある仕事を振られるよう、全体の指揮をとることを率先した
34歳	非管理職	積極的に他業務も行ってた
40歳	非管理職	自分に任されたことは全力で取り組む、社内に味方をたくさん作る
47歳	非管理職	出産でプランクがあっても文句を言わせない実力をつける
40歳	管理職	期待以上の成果をあげられるように意識していた
40歳	管理職	営業で実績を上げ、内部の仕事も任せられるスキルを身につけ、自分の意見にまわりが耳を傾けてくれる立ち位置を得てから出産に臨んだ
41歳	管理職	年間の仕事の流れを計画して、実行できるようにした
41歳	管理職	身軽なうちに可能な限りの経験を積み、自分を売り込んでおく
47歳	管理職	周りに目を配り、自分以外の人の仕事にも興味を持つ

理想のキャリアプランを明確化

年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
29歳	非管理職	希望部署に異動できるよう会社内で有名になろうとして社内コンテストに参加した
32歳	非管理職	何年後にはどうしていきたいのか想像しながら業務を遂行してた
36歳	非管理職	何年後にどうなりたいかから逆算し、資格取得等を行った
29歳	管理職	徹底して定時で帰ること。仕事に効率を求めることで、業務のこなし方を学んだ。また結婚前の働き方から「この働き方であれば働き続けることができるか」を意識していた。
38歳	管理職	自分の理想の働き方を考えたり出来るような働き方を実施した

■理想のキャリアプランを実現するための仕事での取り組み②

理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事を行う上で取り組んだことや意識していたこと (自由回答) ※回答ベース：仕事・キャリアに関する満足度が高い人

上司や会社に対してキャリアプランや目標の相談・共有

年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
29歳	非管理職	上司にライフプランを伝えた上で、いつ昇格したいか伝えた。そのために努力して、結果を残すことで結婚後も理解を得られた。
42歳	非管理職	上司へ相談し、自分に出来る事、必要な事は何かを明確にし、それに向けてビジョンを立てた
48歳	非管理職	働き方については都度上司に相談している
31歳	管理職	自分のプランを定期的に上司に話す
31歳	管理職	上司に対して自分のキャリアプランについて詳細に目標として伝える
32歳	管理職	キャリアプランを周りに公言し、そのために行動していた
33歳	管理職	人事考課面談でキャリアプランを伝えた
35歳	管理職	社内人脈をつくる、やりたいことは公言する、結果を出すまで文句を言わない
36歳	管理職	目標に向けた自己研鑽、及び上司への相談
37歳	管理職	目標を会社に掲げていた
49歳	管理職	同僚と上司全ての理解を得る様に日常的に話をしておいたこと

収入アップ

年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
30歳	非管理職	まずは社内で様々なことに挑戦したり、目標を達成することで地位や年収の向上。そこをベースにして、他企業への転職で更なる年収UP
39歳	非管理職	目標の収入までたどり着けるよう努力した

仕事選び

年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
33歳	非管理職	仕事選びには慎重になった。会社次第の部分が大きいと思ったので。
33歳	管理職	ライブイベントとの両立のため、制度や風土のある企業に転職した
46歳	管理職	適正な時期の転職
47歳	管理職	転職がなく女性総合職の採用が多い会社を選んだ。

自己研鑽

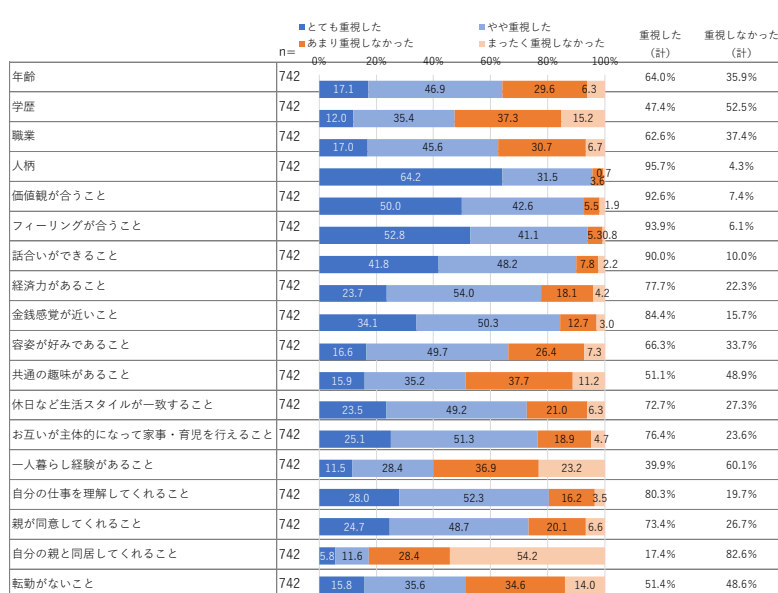
年齢	役職有無	理想のキャリアプランを実現するために結婚前に仕事上で取り組んだこと・意識していたこと
27歳	非管理職	積極的に講習を受け資格にチャレンジした
29歳	非管理職	仕事以外にもやりたいことがあったので、それに向けて資格の取得を目指し、勉強していた
30歳	非管理職	新しい仕事を自ら覚えにいたり、資格を取ろうとしたりした
31歳	非管理職	本業でやっていることを副業につなげるために勉強した
31歳	非管理職	異動を通して、学び直しをした
32歳	非管理職	国家資格を取得して、日々の業務で少しでも身につけられるように意識して取り組んだ
36歳	非管理職	スキルアップを目指して資格の取得をして仕事に活かす
37歳	非管理職	研修や交流の場には積極的に参加した。
40歳	非管理職	業務上必要と思われる研修には職場内外問わず参加した。
30歳	管理職	子供が小学生くらいになる頃に転職をしたかったので、資格取得と転職後のキャリアに生きるような仕事を、積極的に請け負った
33歳	管理職	時間がある時に資格取得に取り組んだ
39歳	管理職	社内資格の取得
44歳	管理職	専門分野以外の自己学習
44歳	管理職	資格の取得

■仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚相手に求めた条件は「自分の親と同居してくれる」「転勤がないこと」が高い

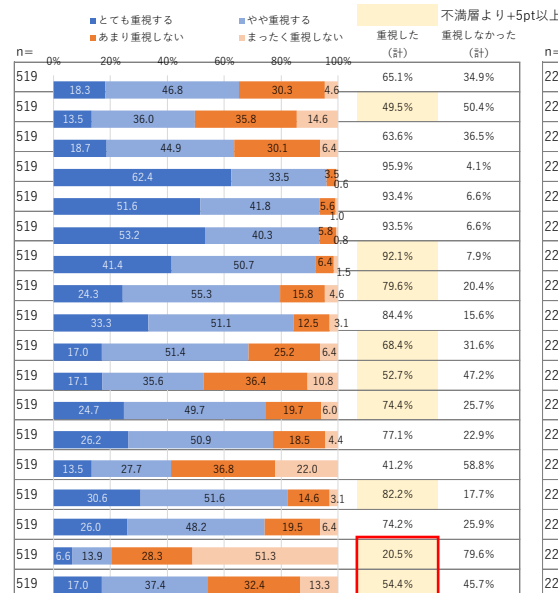
子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、結婚相手に求めた条件に関する項目を比較した。満足層は不満層より「自分の親と同居してくれること」が+10.2pt、「転勤がないこと」が+10.0pt高くなった。女性がキャリアを諦めることなく仕事と子育てを両立するためには、結婚相手だけでなく親など周囲の協力を得ることや結婚相手の転勤を理由とした不本意な退職や転職をなくすることが重要となっているとみられる。

結婚相手に求めた条件（単一回答） ※「とても重視した」+「やや重視した」の合計で比較

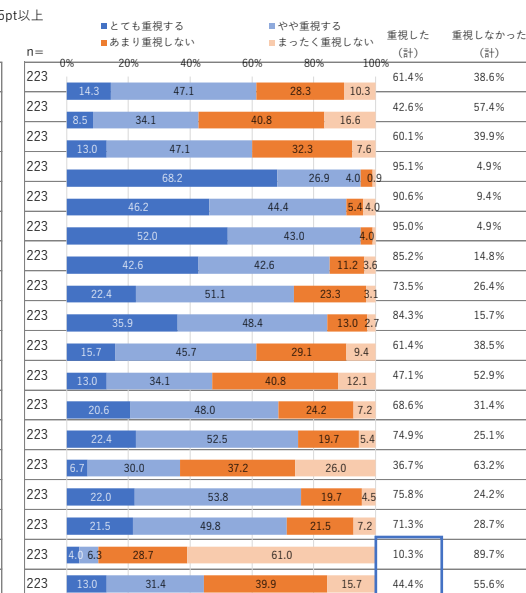
【既婚女性】全体



【既婚女性】仕事・キャリアに関して満足層



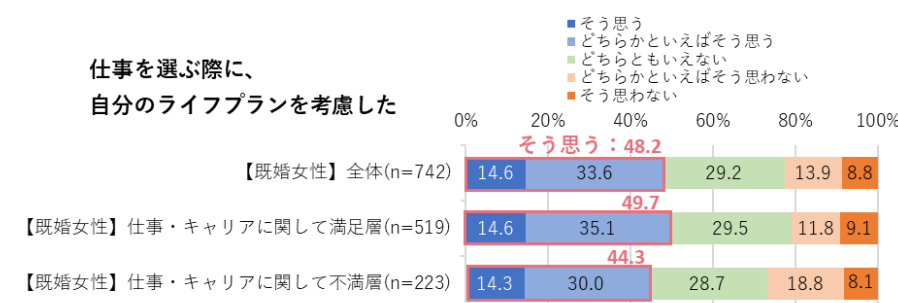
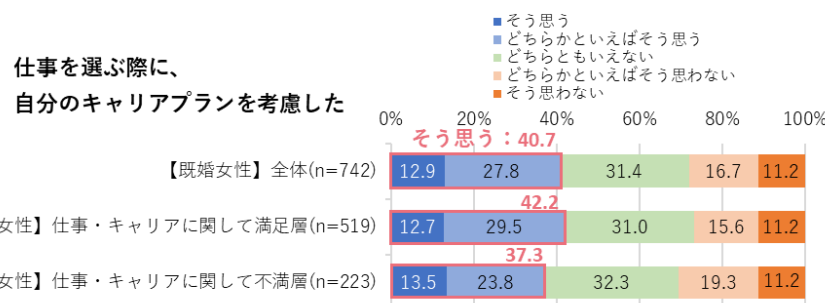
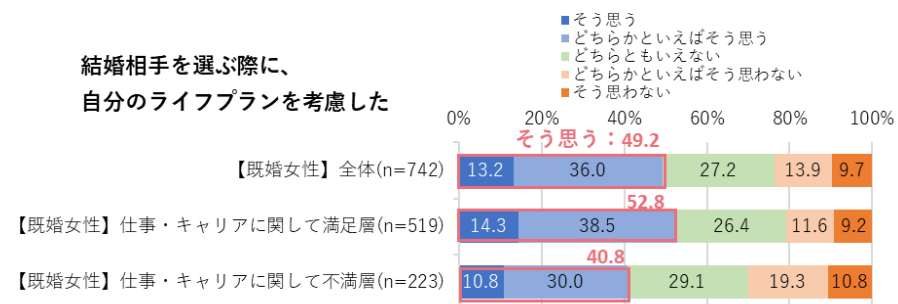
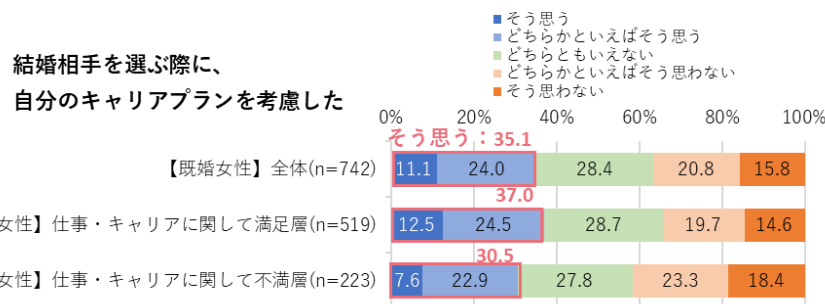
【既婚女性】仕事・キャリアに関して不満層



■仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚相手を選ぶ際に自分のライフプランやキャリアプランを考慮した割合が高い

子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、結婚相手・仕事選びの際のキャリアプランとライフプランの考慮について比較した。仕事・キャリアの満足度が高い人の5割は結婚相手や仕事を選ぶ際にライフプランを考慮したことがわかった。また、満足層は不満層より【結婚相手を選ぶ際にライフプランを考慮した割合】が+12.0pt、【結婚相手を選ぶ際にキャリアプランを考慮した割合】が+6.5pt、【仕事を選ぶ際にライフプランを考慮した割合】が+5.4pt、【仕事を選ぶ際にキャリアプランを考慮した割合】が+4.9pt高いことから、特に結婚相手を選ぶ際に自分のライフプランやキャリアプランを考慮することが、仕事やキャリアの満足度を高めるうえで重要だと考えられる。

結婚相手・仕事選びの際にキャリアプラン・ライフプランを考慮したか（単一回答）



結婚相手を決めた理由①

子どもがいる既婚女性で仕事・キャリアの満足度が高い人に結婚相手と結婚を決めた理由について詳細を聞いたところ、「自分の仕事が続けられる・仕事に理解がある」「家事・育児を協力して行える」「自分のライフプランを実現できそう」「話し合いができた・できる」などのコメントが多出した。

結婚相手と結婚を決めた理由（自由回答） ※回答ベース：仕事・キャリアの満足度が高い人

一緒にいたいから

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
27歳	非管理職	学生時代からずっと付き合っていた相手なのでこの人しかいないとお互いに思っていた。大学卒業後2,3年で結婚し、20代半ばに1人目を出産、30歳までには産み終えるという具体的な計画を決めており、相手と共有していた。
27歳	非管理職	自分のキャリアや時間以上に主人の成功や二人で過ごす時間に価値を感じると思えたから。
29歳	非管理職	好きで定期的に会うのでは物足りない、毎日一緒にいたいと思ったから。
29歳	非管理職	逆にこの人のためなら、自分が思い描いていた夢やライフプランを変えても良いと思えたので結婚した。実際客室乗務員という仕事がすべてだったが、結婚、妊娠した時には60歳でも現役と決めていたが、出産後、辞めてもいいと思っている。
27歳	管理職	自分の仕事が相手の住んでいる地域に転勤可能なので遠距離でも特に弊害はない仕事も続けることができると感じていてとくに結婚を決めた理由は、一緒にいたいからというだけで他にない。

価値観の一致

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
27歳	非管理職	価値観が合ったので、生活リズム、生活費や娯楽費などの費用面、自分の時間の持ち方など、どちらかが一方に気を使うなどがなさそうと思った。
28歳	非管理職	子どもの有無、マイホーム、お金の管理などの価値観が一致していたから
29歳	非管理職	スケジュールは合わないことが多いが、価値観や感覚が合うため
31歳	非管理職	価値観も似ている子どもも好きだったので家族が増えても一緒に楽しく過ごせそうだったから
32歳	非管理職	相手の仕事安定した企業だったこと。世間一般の常識を持っていたこと。同棲してみて、自分と価値観が合っていたと感じたから。
30歳	管理職	子供への教育の価値観が一致していたため結婚した

気心を許せる

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
28歳	非管理職	一緒にいて気を使わないから
31歳	非管理職	穏やかに過ごせそうだと感じた
31歳	非管理職	思いやれて一緒にいて心地良い
31歳	管理職	一緒にいて無理なく自分らしく過ごせる相手だったので、経済面などは考えず決めた

趣味が合う

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
28歳	非管理職	趣味が合い、休日を楽しんで過ごせそうと思ったから

話し合いができた・できる

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
28歳	非管理職	経済的に回るか考えたのと転勤などで一緒に住めなくなった際にどうゆう生活を送る予定か話し合った
32歳	非管理職	お金や仕事に対する考え方が非常に近い(ほぼ同じ)と感じたから。交際を進める中で、具体的にそれについて話をすることもあれば、相手の行動を観察して、それらについて私が安心出来る思考回路を持つ人だと思ったから。同じように考えることの出来る、または話し合いで方向性を決めていける相手だったので、将来このひとと一緒にいれば安心した暮らしをしていけるのを想像できた。
28歳	管理職	コミュニケーションが取れる、女性だから当たり前という押し付けがない
29歳	管理職	結婚したら、子どもを産んだら、というライフスタイルの変化があっても、私を大切にしてくれるかどうかを確認した。同じように結婚しても、子どもができて、相手を大切にできるかどうかも考えた。何事もふたりで力を合わせていくことが結婚だと思っていたので、外れていない。
33歳	管理職	性格が合うのと、金銭感覚や話し合いを持てるところがよかったから
37歳	管理職	金銭面、親、生活面などあらゆる価値観が近く、対話と譲歩ができる人かどうか、自分が大事にしたものを一緒に大事してくれる人かどうか、よく会話して判断した。付き合っている時点でそれができなければ、結婚してからもできないと思ったので。

結婚相手を決めた理由②

結婚相手と結婚を決めた理由（自由回答）

※回答ベース：仕事・キャリアの満足度が高い人



人柄

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
28歳	非管理職	性格が温厚なこと、経済的に不安がないこと。
29歳	管理職	相手の人柄で結婚しても大丈夫だと思った

経済的な不安がない

年齢	年齢	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
30歳	非管理職	金銭面で苦労をしたくなかったので仕事を辞めそうになく、円滑な生活を進めるために私の人格をいい方に変えてくれる人。
31歳	非管理職	相手の目指す職業から、おそらく将来お金の心配をすることはないだろうと思った。転職もないので、馴染みのある土地でゆったり暮らすイメージがあった。

自分の仕事が続けられる・仕事に理解がある

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
29歳	非管理職	結婚相手に転職がないので、いまの職場で細く長く働ければいいなと考えていた。
29歳	非管理職	いずれキャリアを保ったまま移住を考えているため、それに同意を得られるかを考えた
32歳	非管理職	子育てしながら働きたいという私を応援してくれる人だと感じたから。
36歳	非管理職	同じ会社の人なのでお互いの仕事や生活リズムを理解できると思ったから
40歳	非管理職	結婚しても仕事は続けたかったので、それについて理解を得た。一方、出張や転職については相手の希望を聞いた
29歳	管理職	夫婦共に全国転動のない仕事のため転居を伴わずに生活できる。
31歳	管理職	自分のキャリアを最優先に考えてくれること
39歳	管理職	同じ業界なので仕事のストレスなどがわかちあえる
39歳	管理職	同じ会社だったので、スケジュール感が把握できやすかった。
49歳	管理職	仕事を続け、自分らしく生きていくことが実現できる相手を選んだ。

家事・育児を協力して行える

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
29歳	非管理職	共働き・家事育児をできる範囲で分担する考え方が一致していたので結婚を決めた
30歳	非管理職	夫婦でありながら親友/戦友/パートナーのように、協力しながら楽しみながら育児ができるとおもった。また家族というワンチームで色々なことを共に経験できるとおもった
30歳	管理職	お互い仕事をしっかりしようという意識があるから足の引っ張り合いにはならないと思った
32歳	管理職	休日が同じなので家事や育児と一緒に出来そう
36歳	管理職	同じ会社なので、仕事の都合などを理解してもらえるため。子供を生んでも協力しながら、変わらずに働ける家庭環境作りができるとおもった
36歳	管理職	価値観の一致、結婚後も働くことに対して理解が得られた相手のため
40歳	管理職	家事が一通りできる人を選ぶことで、お互いの負担を軽減することができるとおもった

お互い自立して過ごせる

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
30歳	管理職	お互い自立して過ごしていけること
35歳	管理職	お互い干渉しすぎないこと
48歳	管理職	お互いに手を取り協力して前に進むことが理想で、それが出来そうな相手だと感じたことが決め手です。

暮らす場所

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
32歳	非管理職	地元で子育てできると思った
34歳	管理職	お互いの勤務先が同じエリアなので住居決めやすいと思った
34歳	管理職	お互いの勤務時間が同じくらいなことや土日休み、転居を伴う転動がないことなどは重視しました。
35歳	管理職	自分の仕事を、配偶者の都合で辞めたくないだったので、全国転動のない人を結婚相手に選んだ。一生同じ土地で住める安心感は、未だにあるので選択肢に入れておいてよかったとおもう。
49歳	管理職	地元が同じで、お互い転動もなく、ずっと地元で暮らせると考えていた

家族を大切にしているか

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
33歳	管理職	自分のことを理解し愛してくれているか、お互いの家族を大切にしてくれているかを重視した。
39歳	管理職	相手が自分の家族をどう大切にしているかをみて、自分や自分の家族への態度がイメージできて結婚したいと思えた

自分のライフプランを実現できそう

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
34歳	非管理職	転勤の可能性があるためライフプランが立てにくかったが、ライフプランについての考え方が大体一致していたため、結婚しようと思いました。
46歳	非管理職	自分のライフプランに対して賛成してくれたこと。
48歳	非管理職	自分のライフスタイルに合わせてくれたから。親との同居。仕事も今まで通り働くことができた。
43歳	管理職	自分と相手の求めていたビジョンが似通っていたので

共通点があり理解し合えると思った

年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
28歳	非管理職	同じ会社なので理解ができ、スムーズにお互いを知れた
40歳	非管理職	生きていた境遇に共通することが多いので、一緒に生きていく上で理解しあえる部分が多い

自分を尊重してくれる

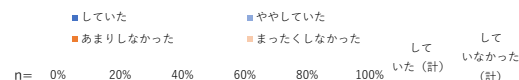
年齢	役職有無	現在の結婚相手と結婚を決めた理由
40歳	管理職	自分のライフプランやキャリアプランがどのようなものであれ、尊重してくれる相手だと感じた。海外志向の強い私と国内志向の強い彼ではあったが、それぞれの良さを客観的に見ることが出来、同じ目線でこれからの将来を考えることが出来ると感じた。
42歳	管理職	自分の趣味を続けられそうだったから。結婚後も趣味の旅行を続けていくつもりだった。
46歳	非管理職	自分の意見も尊重してくれるところ。一方的な押し付けがないところ。

■ 仕事・キャリアの満足度が高い人が、パートナーとして選ばれるためにしたことは「家事スキルを磨く」「趣味を広げる」「経済力をつける」が高い

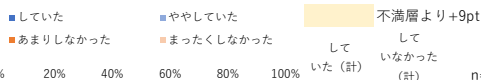
子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、パートナーとして選ばれるためにしていたことについてを比較した。仕事・キャリアの満足度が高い人では「相手の仕事を理解すること」が79.7%と最も高くなり、不満層と比べても7.5pt高かった。また、満足層は不満層より「家事スキルを磨く」が+15.6pt、「趣味を広げる」が+14.0pt、「経済力をつける」が+9.5pt高くなった。前述した結婚相手に求める条件で満足層の8割が「自分の仕事を理解してくれること」「経済力があること」「お互いが主体的になって家事・育児を行えること」を重視していたことから、結婚相手に求める内容と同様の項目を自身でも取り組んでいた様子がみられた。

パートナーとして選ばれるためにしていたこと（単一回答） ※「していた」+「ややしていた」の合計で比較

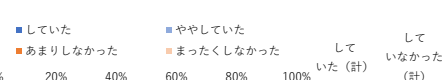
【既婚女性】全体



【既婚女性】仕事・キャリアに関して満足層



【既婚女性】仕事・キャリアに関して不満層



項目	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	していた (計)	して いなかった (計)
経済力をつける	742	10.5	31.1	45.1	13.2	41.6%	58.3%		
容姿を磨く	742	21.2	46.9	26.4	5.5	68.1%	31.9%		
趣味を広げる	742	10.0	32.1	42.9	15.1	42.1%	58.0%		
一人暮らし経験をする	742	21.6	27.9	22.8	27.8	49.5%	50.6%		
休日など生活スタイルが一致する仕事に就く	742	15.8	34.0	30.5	19.8	49.8%	50.3%		
家事スキルを磨く	742	15.1	41.1	30.5	13.3	56.2%	43.8%		
相手の仕事を理解すること	742	22.0	55.5	16.8	5.7	77.5%	22.5%		
転職がない仕事に就く	742	16.0	34.2	32.1	17.7	50.2%	49.8%		

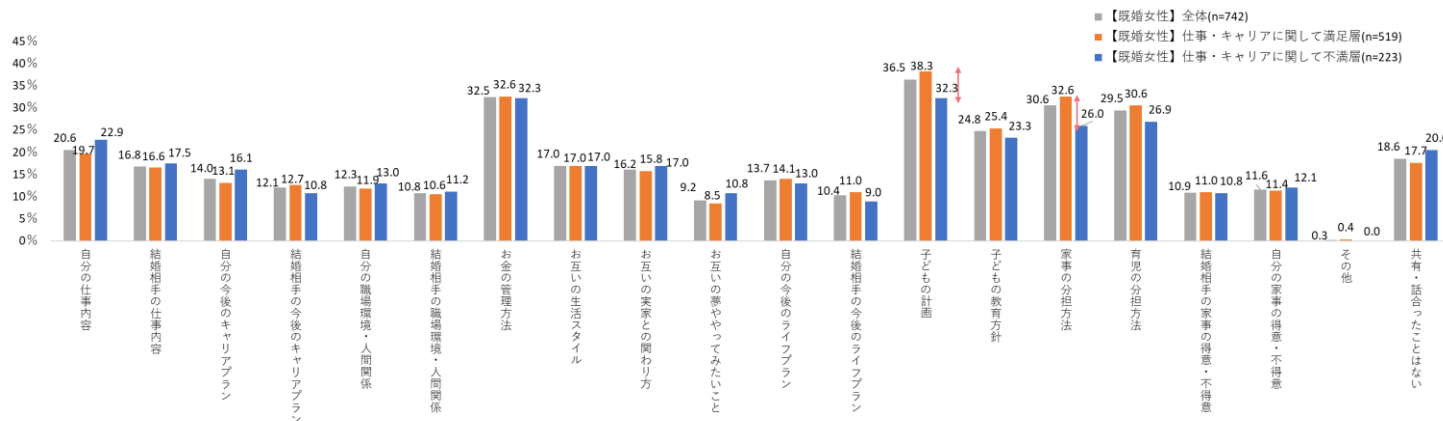
項目	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	していた (計)	して いなかった (計)
経済力をつける	519	11.6	32.9	44.1	11.4	44.5%	55.5%		
容姿を磨く	519	22.4	47.4	25.4	4.8	69.8%	30.2%		
趣味を広げる	519	10.8	35.5	38.5	15.2	46.3%	53.7%		
一人暮らし経験をする	519	22.0	28.9	21.4	27.7	50.9%	49.1%		
休日など生活スタイルが一致する仕事に就く	519	16.2	35.6	29.3	18.9	51.8%	48.2%		
家事スキルを磨く	519	16.6	44.3	26.0	13.1	60.9%	39.1%		
相手の仕事を理解すること	519	22.7	57.0	15.4	4.8	79.7%	20.2%		
転職がない仕事に就く	519	16.0	36.2	30.4	17.3	52.2%	47.7%		

項目	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	していた (計)	して いなかった (計)
経済力をつける	223	8.1	26.9	47.5	17.5	35.0%	65.0%		
容姿を磨く	223	18.4	45.7	28.7	7.2	64.1%	35.9%		
趣味を広げる	223	8.1	24.2	52.9	14.8	32.3%	67.7%		
一人暮らし経験をする	223	20.6	25.6	26.0	27.8	46.2%	53.8%		
休日など生活スタイルが一致する仕事に就く	223	14.8	30.0	33.2	22.0	44.8%	55.2%		
家事スキルを磨く	223	11.7	33.6	40.8	13.9	45.3%	54.7%		
相手の仕事を理解すること	223	20.2	52.0	20.2	7.6	72.2%	27.8%		
転職がない仕事に就く	223	16.1	29.6	35.9	18.4	45.7%	54.3%		

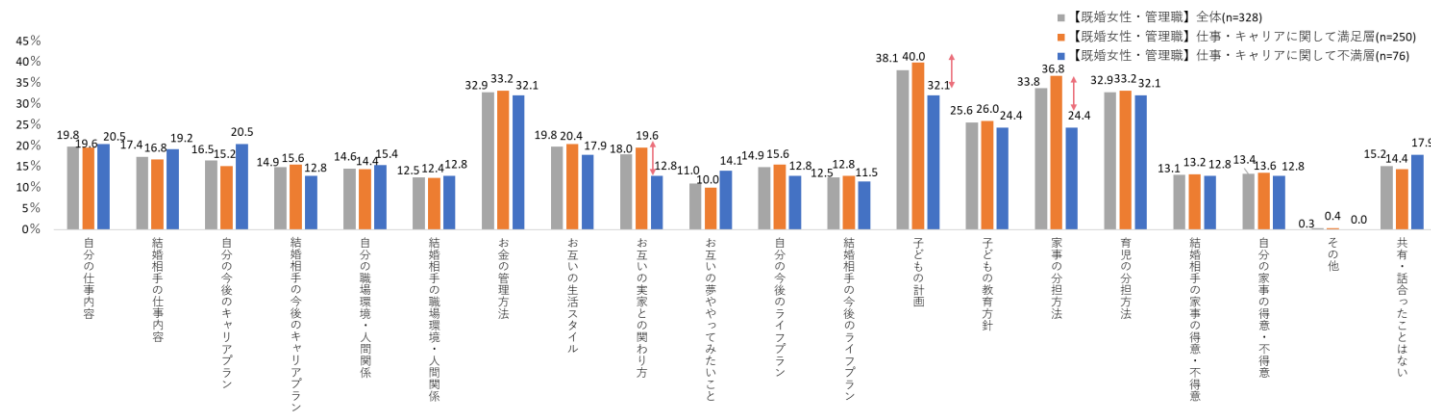
■仕事・キャリアの満足度が高い人は、出産前に「家事の分担方法」「子どもの計画」をパートナーと共有・話し合っていた割合が高い

子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、結婚相手との共有・話し合いに関する項目を比較した。出産前に結婚相手と共有・話し合ったことは、満足層は不満層より「家事の分担方法」が+6.6pt、「子どもの計画」が+6.0pt高くなった。さらに、管理職の満足層は同不満層より「家事の分担方法」が+12.4pt、「子どもの計画」が+7.9pt高く、既婚女性全体での満足層と不満層の差より大きかったことから、管理職では特に「家事の分担方法」「子どもの計画」について出産前にパートナーと共有・話し合うことが重要であるとみられる。

【全体】 出産前に結婚相手と共有・話し合ったこと（複数回答）



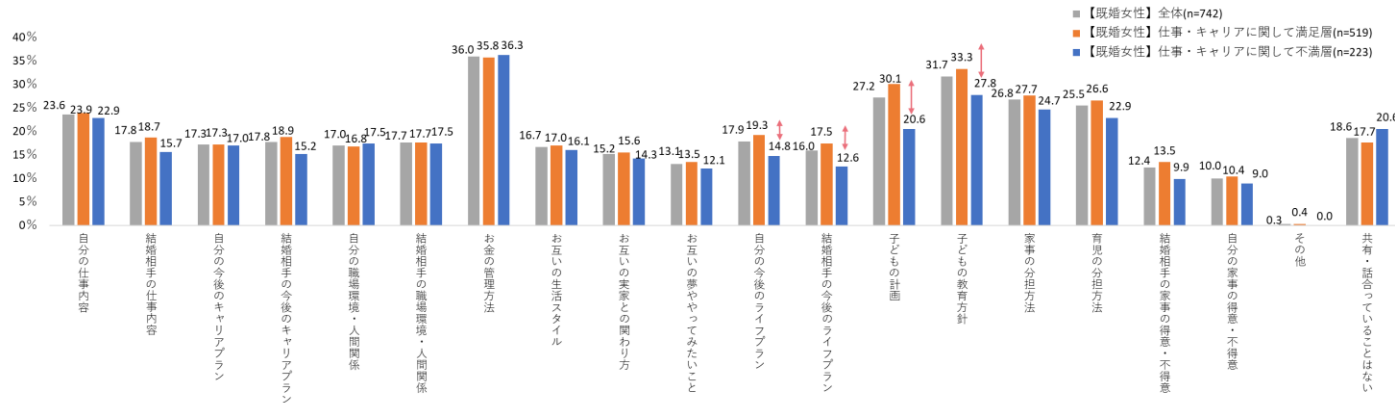
【管理職】 出産前に結婚相手と共有・話し合ったこと（複数回答）※回答ベース：管理者



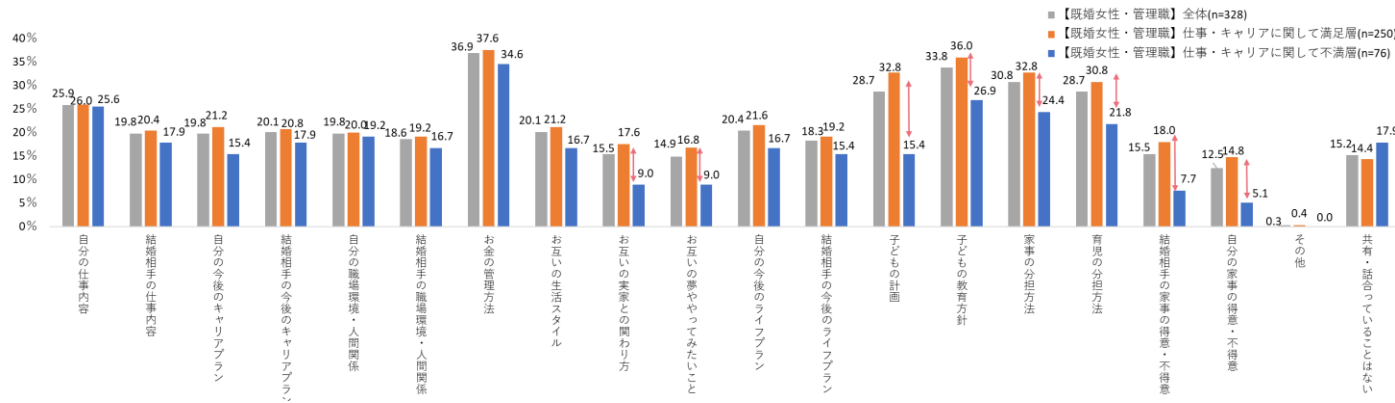
■ 仕事・キャリアの満足度が高い管理職は、定期的にパートナーと共有・話し合っていることが多岐にわたる

子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、結婚相手と共有・話し合いに関する項目を比較した。定期的に結婚相手と共有・話し合っていることは、満足層は不満層より「子どもの計画」が+9.5pt、「子どもの教育方針」が+5.5pt、「結婚相手の今後のライフプラン」が+4.9pt、「自分の今後のライフプラン」が+4.5pt高くなった。さらに、管理職の満足層は同不満層より「子どもの計画」「結婚相手の家事の得意・不得意」「自分の家事の得意・不得意」「子どもの教育方針」「育児の分担方法」「お互いの実家との関わり方」「家事の分担方法」「お互いの夢ややってみたいこと」が5pt以上高くなった。特に管理職では多岐にわたりパートナーと共有・話し合っている様子がみられたことから、パートナーと話し合いながら、双方の置かれている状況や環境の変化にあわせて協力し合うことが重要だと考えられる。

【全体】定期的に結婚相手と共有・話し合っていること（複数回答）



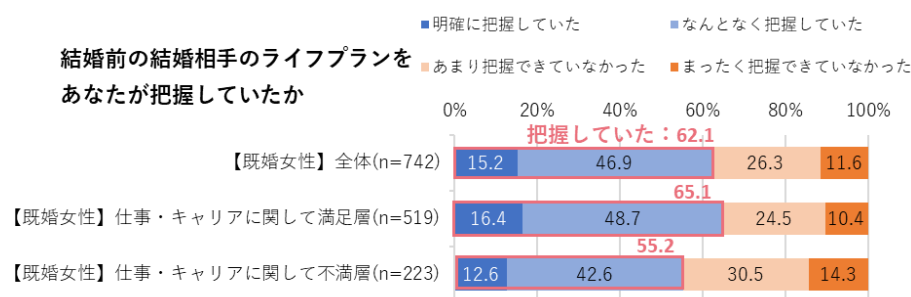
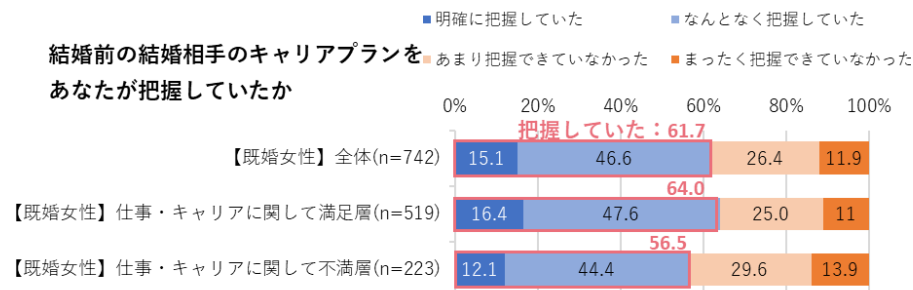
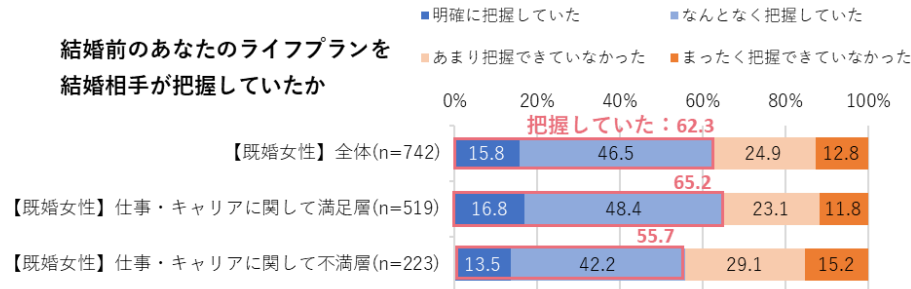
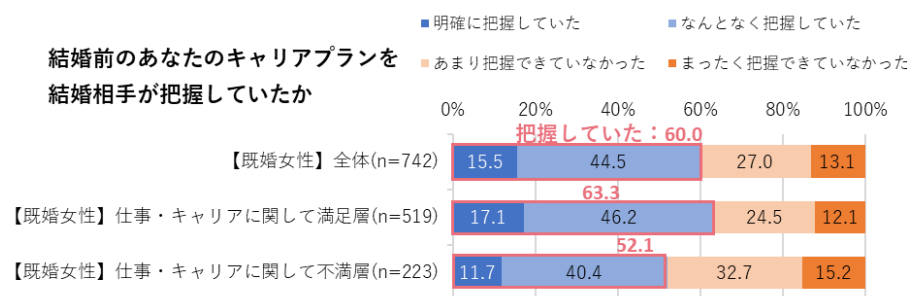
【管理職】定期的に結婚相手と共有・話し合っていること（複数回答）※回答ベース：管理者



■仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚前にパートナーと互いのライフプランやキャリアプランを共有していた割合が高い

子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、結婚前の結婚相手とのキャリアプランやライフプランの共有程度に関して比較した。満足層は不満層より【結婚相手が結婚前のあなたのキャリアプランを把握している割合】は+11.2pt、【結婚相手が結婚前のあなたのライフプランを把握している割合】は+9.5pt高くなった一方で、【あなたが結婚前の結婚相手のキャリアプランを把握している割合】は+7.5pt、【あなたが結婚前の結婚相手のライフプランを把握している割合】は+9.9pt高くなった。仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚前に結婚相手と自分のキャリアプランやライフプランを共有し合っており、女性がパートナー選びを行う上でも事前にパートナーのキャリアプランやライフプランを把握することは重要であると考えられる。

【結婚前】のキャリアプランやライフプランについて、結婚相手との共有程度（単一回答）

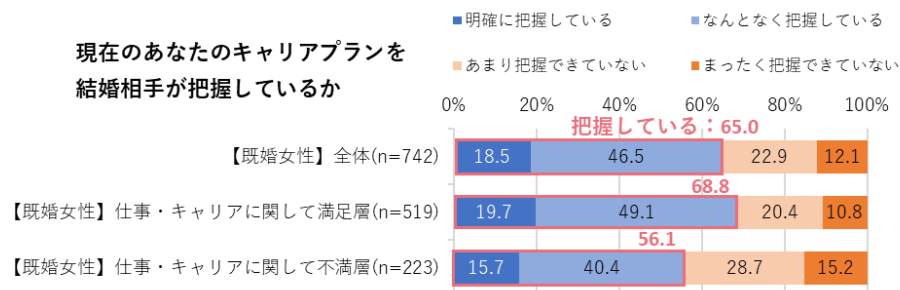


■仕事・キャリアの満足度が高い人は、パートナーと現在の互いのライフプランやキャリアプランを共有している割合が高い

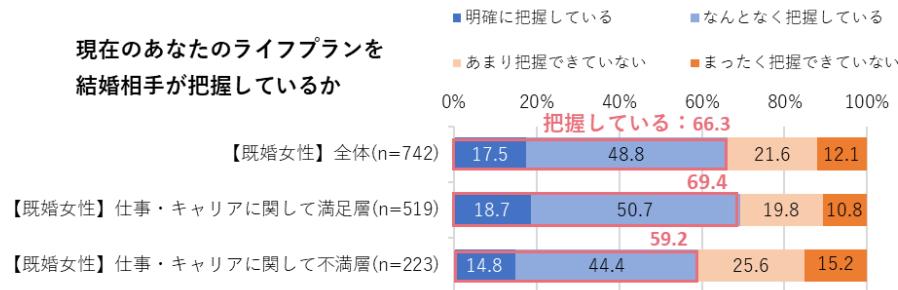
子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、現在の結婚相手とのキャリアプランやライフプランの共有有無に関して比較した。満足層は不満層より【結婚相手が現在のあなたのキャリアプランを把握している割合】は+12.7pt、【結婚相手が現在のあなたのライフプランを把握している割合】は+10.2pt高くなった一方で、【あなたが現在の結婚相手のキャリアプランを把握している割合】は+7.3pt、【あなたが現在の結婚相手のライフプランを把握している割合】は+9.5pt高くなった。仕事・キャリアの満足度が高い人は、現在の結婚相手と自分のキャリアプランやライフプランを共有し合っていることがわかった。互いの置かれる仕事の状況や生活環境の変化に合わせて、定期的にパートナーとキャリアプランやライフプランを共有することは重要であると考えられる。

【現在】のキャリアプランやライフプランについて、結婚相手との共有程度（単一回答）

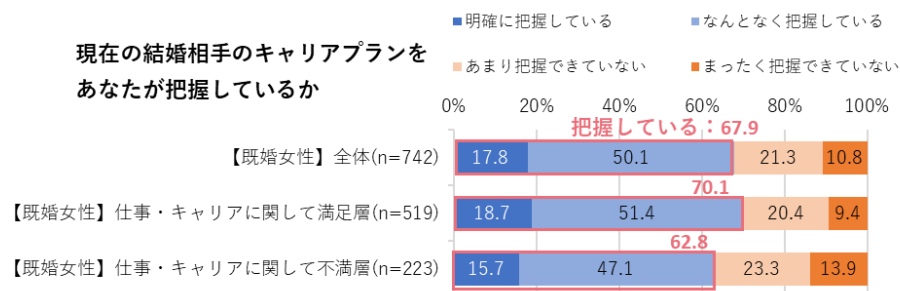
現在のあなたのキャリアプランを結婚相手が把握しているか



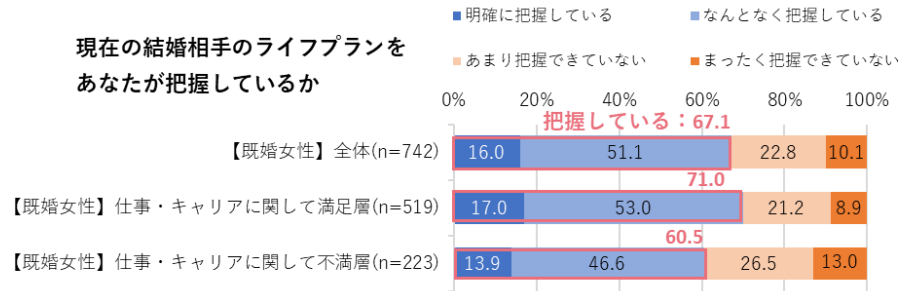
現在のあなたのライフプランを結婚相手が把握しているか



現在の結婚相手のキャリアプランをあなたが把握しているか



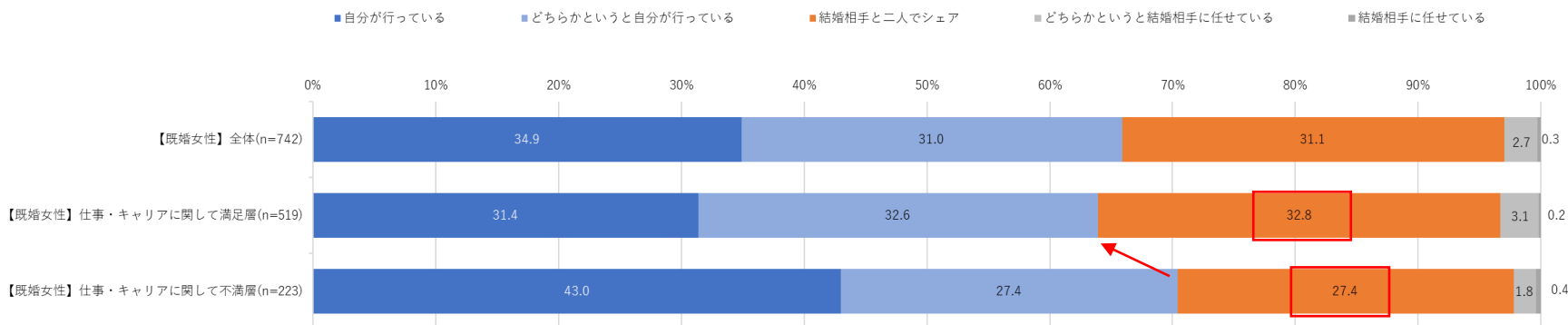
現在の結婚相手のライフプランをあなたが把握しているか



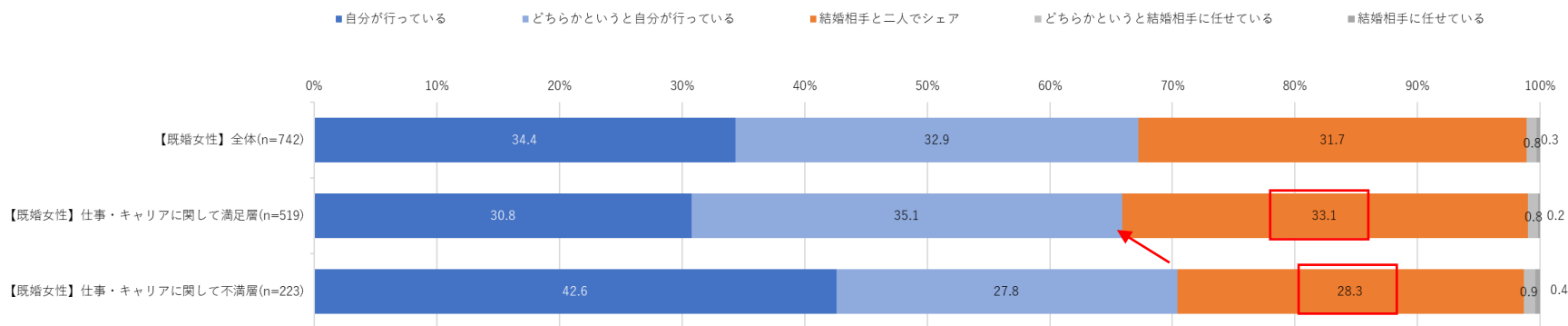
■仕事・キャリアの満足度が高い人は、出産後のパートナーとの家事・育児分担は二人でシェアしている割合が高い

子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、出産後の家事・育児の分担に関する項目を比較した。満足層は不満層より【出産後の家事の分担】で「結婚相手と二人でシェア」が+5.4pt、【出産後の育児の分担】で「結婚相手と二人でシェア」が+4.8pt高くなった。仕事・キャリアの満足度が高い人は、家事・育児について結婚相手と二人で協力して行っている様子がみてとれる。家事・育児を協力して行える人をパートナーとして選ぶことや、結婚相手が家事・育児を協力して行うことは女性がキャリアや仕事の満足度を高めていく上で重要であると考えられる。

出産後の家事の分担（単一回答）



出産後の育児の分担（単一回答）



■仕事・キャリアの満足度が高い人は、出産後の家事・育児の実施割合で「妻5割夫5割」が高い



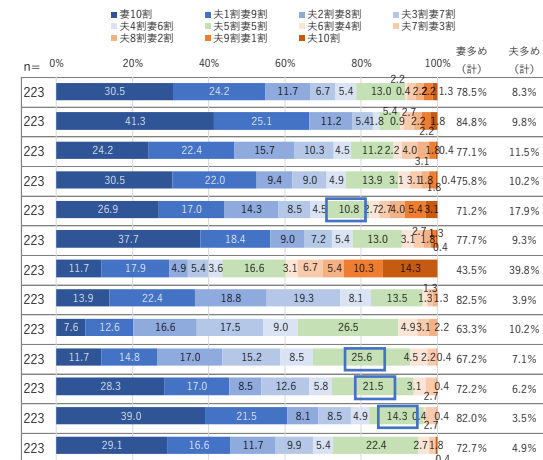
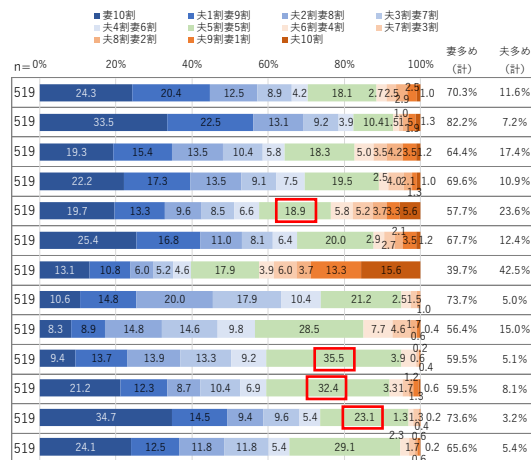
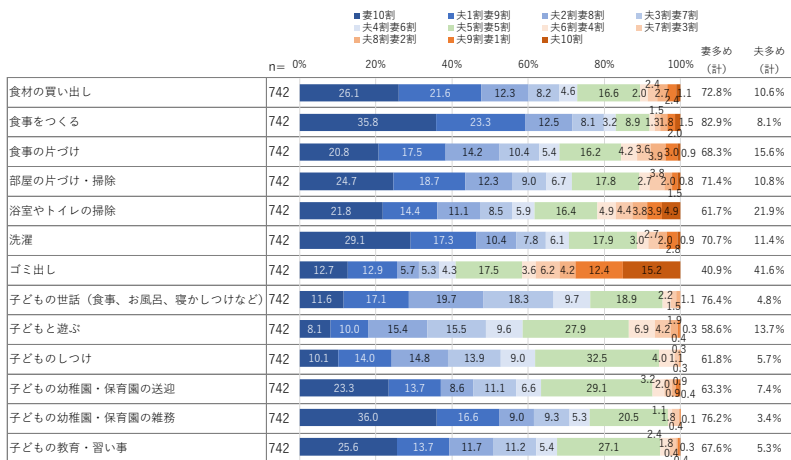
子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、出産後の家事・育児の実施割合に関する項目を比較した。満足層は不満層より全項目で「妻5割夫5割」が高く、もっとも高かった項目は【子どもの幼稚園・保育園の送迎】で+10.9pt、次いで【子どものしつけ】で+9.9pt、【子どもの幼稚園・保育園の雑務】で8.8pt、【浴室やトイレの掃除】で+8.1ptとなった。仕事・キャリアの満足度が高い人は、家事・育児を結婚相手と二人で協力して行っている様子がみられた一方で、【ゴミ出し】を除く全項目で妻多めの割合が6割となっており、共働きの夫婦間でも家事・育児の負荷が妻に偏っており、今後夫婦間での負担の偏りを改善することが求められると考えられる。

家事・育児の実施割合内容（単一回答）

【既婚女性】全体

【既婚女性】仕事・キャリアに関して満足層

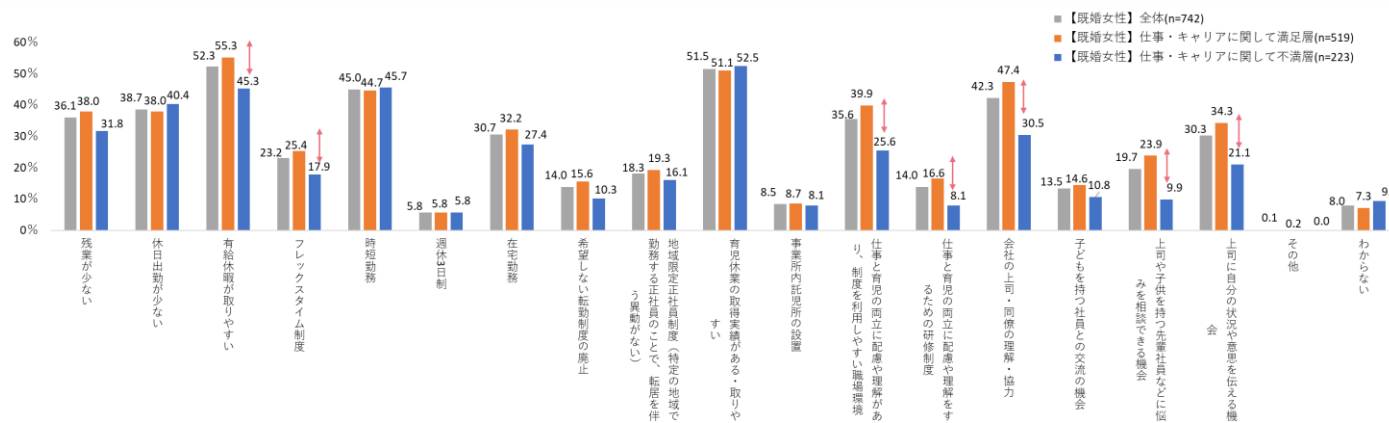
【既婚女性】仕事・キャリアに関して不満層



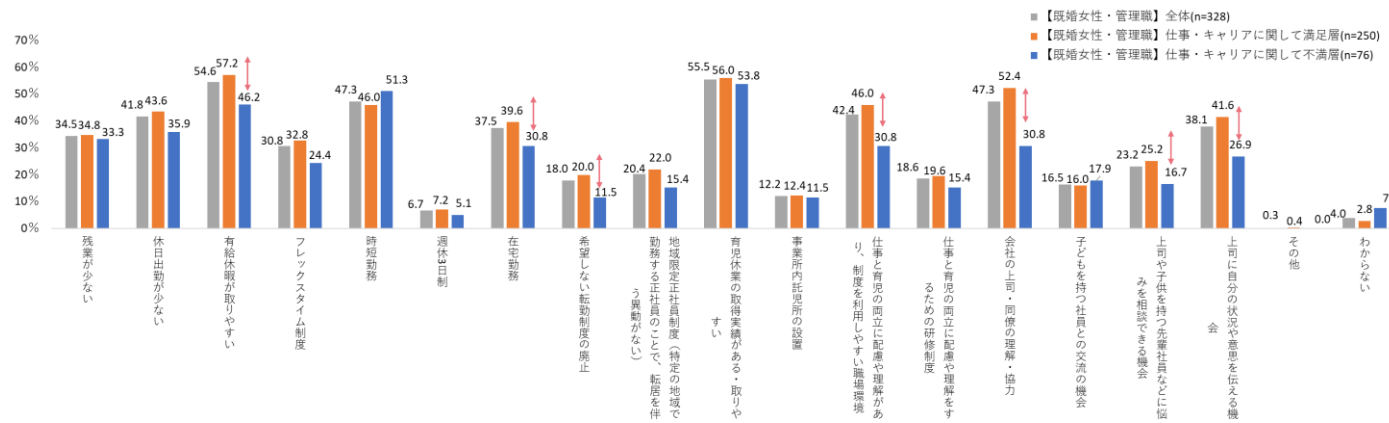
■仕事・キャリアの満足度が高い人は、会社での制度・環境として「周囲の理解・協力」「上司や先輩社員とのコミュニケーションを取る機会」がある割合が高い

子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、仕事と子育ての両立のための制度・環境に関する項目を比較した。既婚女性の会社の制度・環境としては、満足層は不満層より「会社の上司・同僚の理解・協力」「仕事と育児の両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい職場環境」「上司や子どもを持つ先輩社員などに悩みを相談できる機会」「上司に自分の状況や意思を伝える機会」「有給休暇が取りやすい」「仕事と育児の両立に配慮や理解をするための研修制度」「フレックスタイム制度」が7pt以上高くなった。また、管理職の満足層は同不満層より既婚女性全体で7pt以上上回った項目に加えて「在宅勤務」「希望しない転勤制度の廃止」が7pt以上高くなった。

【全体】既婚女性の会社における仕事と子育て両立のための制度・環境について（複数回答）



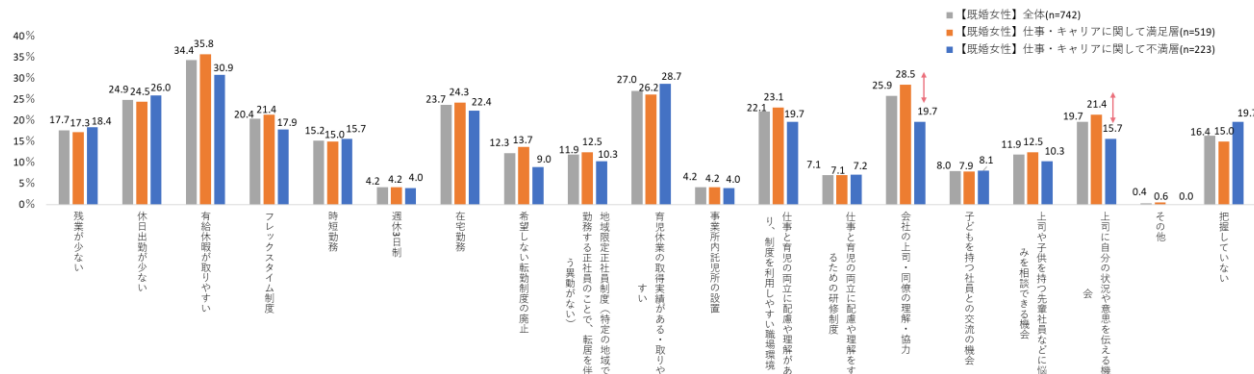
【管理職】既婚女性の会社における仕事と子育て両立のための制度・環境について（複数回答）



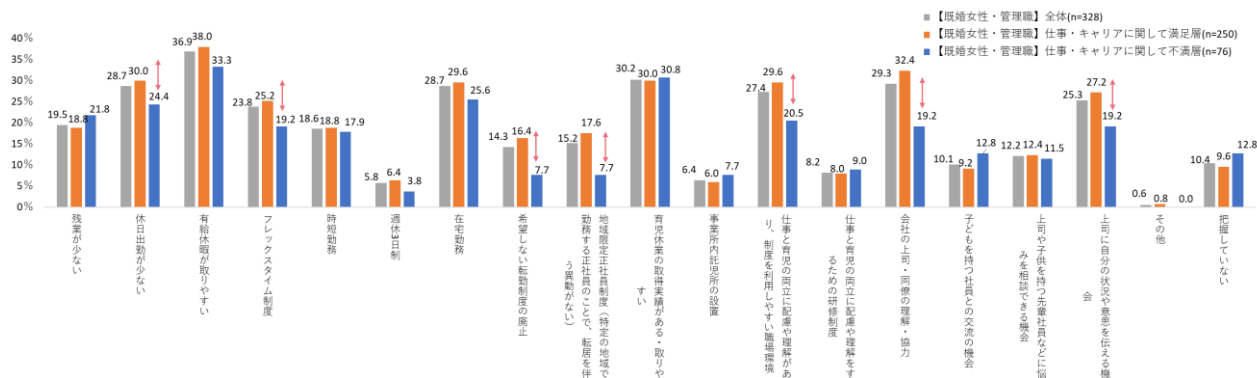
■仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚相手の会社の制度・環境として「周囲の理解・協力やコミュニケーションを取る機会」「転勤制度の廃止」がある割合が高い

前頁では既婚女性の自社における仕事と子育て両立のための制度・環境について尋ねたが、ここでは結婚相手の会社の制度・環境について尋ねた。子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、結婚相手の会社の制度・環境をみると、満足層は不満層より「会社の上司・同僚の理解・協力」「上司に自分の状況や意思を伝える機会」が5pt以上高くなった。管理職の満足層は同不満層より既婚女性全体で5pt以上上回った項目に加えて「地域限定正社員制度（特定の地域で勤務する正社員のこと、転居を伴う異動がない）」「仕事と育児の両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい職場環境」「希望しない転勤制度の廃止」「フレックスタイム制度」「休日出勤が少ない」が5pt以上高くなった。女性が働く職場の制度や環境だけでなく、結婚相手の会社においても仕事と子育ての両立のために、周囲の理解・協力や上司や先輩社員とのコミュニケーションを取る機会があることが重要となっているようだ。また制度面ではフレックスタイム制度・地域限定正社員制度や希望しない転勤制度の廃止などといった柔軟に働ける職場環境の整備が必要と考えられる。

【全体】結婚相手の会社における仕事と子育て両立のための制度・環境について（複数回答）



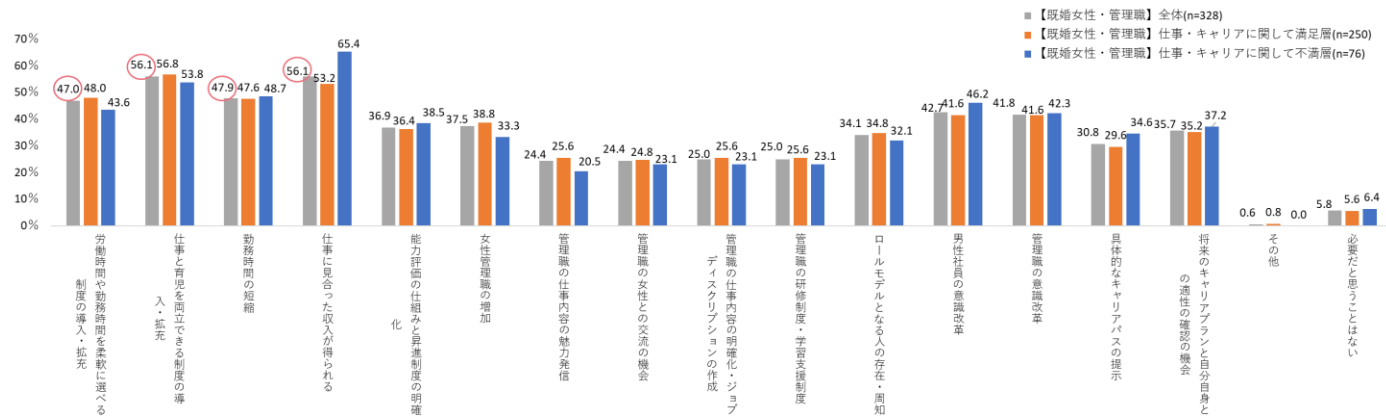
【管理職】結婚相手の会社における仕事と子育て両立のための制度・環境について（複数回答）



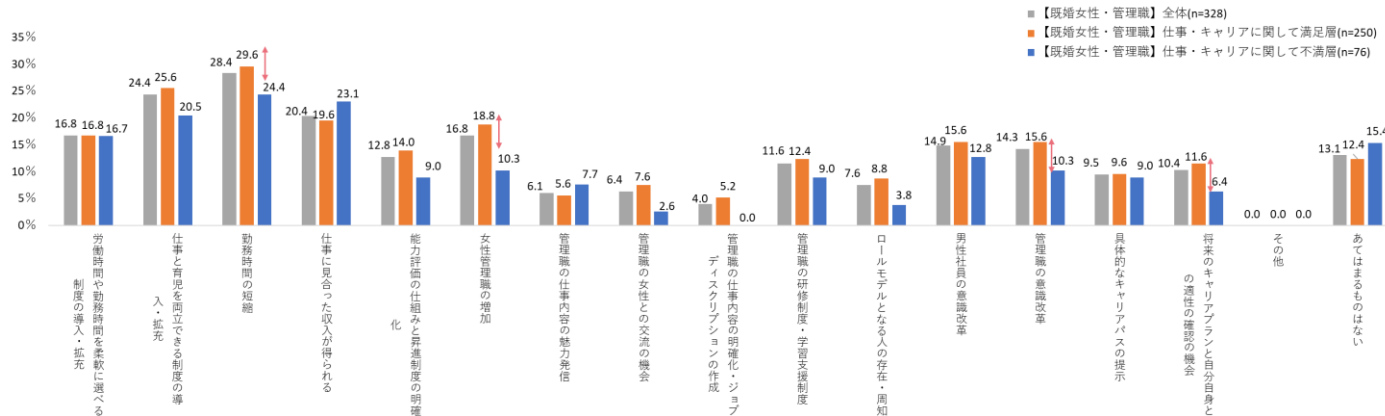
■管理職で仕事・キャリアの満足度が高い人は、会社が「女性管理職の増加」「管理職の意識改革」に取り組んでいる割合が高い

現在管理職で子どもがいる既婚女性に、女性が管理職として活躍するために必要なことを聞いたところ、「仕事と育児を両立できる制度の導入・拡充」「仕事に見合った収入が得られる」が56.1%ともっとも高く、次いで「勤務時間の短縮」が47.9%、「労働時間や勤務時間を柔軟に選べる制度の導入・拡充」が47.0%となった。同様に子どもがいる既婚女性を仕事・キャリアに対して「満足」層と「不満」層にわけて、会社の取り組み状況としてあてはまる項目を比較した。満足層は不満層より「女性管理職の増加」が+8.5pt、「管理職の意識改革」が+5.3pt、「勤務時間の短縮」が+5.2pt、「将来のキャリアプランと自分自身との適性の確認の機会」が+5.2pt高くなり、会社としても女性を積極的に活用する姿勢がみられた。

女性が管理職として活躍するために、必要だと思うこと（複数回答）※回答ベース：管理職



あなたの会社の取り組み状況としてあてはまるもの（複数回答）※回答ベース：管理職



■管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア

現在管理職で子どもがいる既婚女性に管理職として活躍する女性を増やすためのアイデアを聞いたところ、「キャリアアップについて、会社側からも積極的な働きかけがあることやどんなパフォーマンスをすれば昇進できるかについてアドバイスをする」「実際に管理職の女性の生活スケジュールや仕事の魅力を知る機会を作る」といった、会社や上司と女性がコミュニケーションを取る機会を設ける案が多出した。管理職としての仕事のイメージを持ってもらうことで、管理職としてどのようなライフキャリアを歩んでいけるのかというイメージを持つきっかけづくりは今後企業が取り組む施策の一つとして有効となり得ると考えられる。

管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア（自由回答）※回答ベース：管理職

女性が働きやすい職場環境づくり

年齢	管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア
26歳	人間関係や頼みやすい雰囲気など女性が働きやすい環境をつくる管理職を複数名にして、補い合う
29歳	子育てしながらでも働き続けやすい環境づくり
30歳	育児・産休後の復職がしやすいこと
30歳	優秀な部下を増やすことで管理職になろうと思える女性が増えると思う。今時分が時短勤務で手のかかる新人がついていて、指導しきれない部分が多いため、管理職になるには優秀な部下が多数必要になると思う
31歳	育児復帰後も変わらないポジションでの復帰
32歳	なりたい人がなりやすくなる雰囲気が必要だと思う。逆に、希望していない女性も多いと思うので、無理強いしないことも同じくらい重要だと思う。
34歳	子育てを体験し、理解ある女性が管理職を行う。
34歳	重要な会議などで女性の発言の機会をもっと設ける。
47歳	育児休業などの子育てにまつわる制度の導入や整備
47歳	夜間や休日まで身を粉にして働かないと追いつかない業務量を減らすこと。

柔軟な働き方

年齢	管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア
25歳	育児・産休で長期間のブランクができることがよくないと思うので、子連れ出勤など、保育園に預けずとも出社できるようになればいいと思う。
27歳	管理職はどうしても残業がおおく有給が好きに取れないイメージが強い。ある程度融通がきき、在宅も可能であれば増えると思う。
31歳	子供の世話で早退も多いので、もっとジョブローテーションやAI化を進めるべき
39歳	子供の為に休みを取りやすい環境、働く時間を選べたり、在宅勤務ができるとやりやすい

評価制度

年齢	管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア
29歳	在宅勤務や時短勤務など多様な働き方ができる制度の充実と浸透。長時間働くほど評価される風土の撤廃
29歳	育児や時短でも昇格しやすい制度
40歳	飲み会、ゴルフ、タバコなどの付き合いに偏った人脈形成からの脱却。生産性や効率重視、マルチタスク評価など、納得度の高い能力評価になればいいと思う。

意識改革

年齢	管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア
29歳	女性自身が子育てしながら働くことへの抵抗をなくしていくこと。この時代、何も女性が特別ではない。
36歳	現在の管理職の性別バイアスをなくす
36歳	男性の意識を変える
41歳	女性自身がこれまでの慣例などから「私なんて無理」という思い込みを捨てることがまず必要
42歳	男性との意見交換会
43歳	会社の環境改革女性が管理者になることへの偏見の払拭
43歳	育児中の家庭の男性側の育児のサポートが必須だと思う。

対話の機会を設ける

年齢	管理職として活躍する女性を増やすためのアイデア
30歳	キャリアアップについて、会社側からも積極的な働きかけがあることやどんなパフォーマンスをすれば昇進できるかについてアドバイスがあること。
31歳	女性管理職のセミナー開催
31歳	女性管理職のメリットを広める
33歳	実際に管理職の女性の生活スケジュールなどを知る機会を作る
35歳	管理職になる魅力を知れるきっかけ作り。
35歳	管理職というと仕事やストレスが多いイメージがあり、自由に自分らしく働きたいと思う人からは嫌煙されるため、管理職の魅力やメリットをどんどん伝えていくべきだと思う。
35歳	ロールモデルの増加、成功例の紹介、個人の壁になっていることのヒアリング
36歳	実際にキャリアアップのプランを提示してあげてそれに飛びつくcareerウーマンを育てるべきだと思う
38歳	女性管理職が増え、そのキャリアについて知る講習会などが定期的であればよい。
41歳	全ての人がなりたいとは限らないことを理解してもらうこと。そしてその希望が変化することもあることをいつも聞き取りをすべし。
43歳	管理職に魅力がないから成り手が少ないんだと思います。モデルとなる人がいたり、話す機会があればだいぶ違うと思います。
46歳	どんなやりがいがあるのか示すとともにどんな大変さがあるのかをどうすれば改善できるのか積極的に話し合う
46歳	本人の希望と会社側の期待とのすり合わせ

■これから育児を迎える人に贈りたい言葉やアドバイス

子どもがいる既婚女性にこれから育児を迎える人に贈りたい言葉やアドバイスを聞いたところ、「自分の周囲の人に自分の状況や気持ちを伝えて頼ったり、協力するのが大切」「パートナーとのコミュニケーション、協力体制が必要」「全てを完璧にこなすことは手放し、優先順位を決めること」「ときには子どもを預けて自分のことも大切にしたい」などのコメントが挙げられた。

これから育児を迎える人に贈りたい言葉やアドバイス（自由回答）

※回答ベース：仕事・キャリアで満足度が高い人

年齢	これから育児を迎える人に贈りたい言葉やアドバイス
29歳	家族や職場の人など、自分の周囲の人に自分の状況や気持ちを伝えて分かってもらうことが大切。そのうえで協力をおおぐと、理解を示してくれる人は意外と多い。
29歳	子どもは最低限の生活環境さえあれば放っておいても育ちます。頼れるところは存分に頼って、感謝して、自分の人生を楽しんでください！
29歳	妊婦さんが10人いたら10通りの妊娠、出産があると思っています。赤ちゃんが産まれてからも同じで、赤ちゃん和妈妈、パパ、家族がベストだと思える選択をしていけば、きっとそれが育児なのだと思います。ママやパパのことが赤ちゃんは大好きです。尊い時間を過ごすこれからの楽しんでください。私ももっともっと楽しみたいと思います。
29歳	頼れるものは頼り、使える制度やサービスは使う。思った以上に体力勝負
31歳	大変なことや心配なこと仕事、収入などありますがとにかく子供は可愛くて、後悔などひとつもありません。最高です。ただ、仕事は辞めずになんとか続けていくべき！
32歳	お母さんはみんな戦友、みんな頑張ってる悩みが尽きないのは頑張ってるから(難しいかもしれないけど)肩肘張らずにのんびりいきましょう
32歳	社内に味方になってくれる人を1人でも見つけておいて欲しい。
32歳	赤ちゃんが生まれた瞬間、長い長い育児が始まります。いきなり完璧な母親になてなれるわけ無いので、赤ちゃんと一緒にゆっくり成長しながら、育児を楽しんで下さい！子供を抱っこできる時期は、思ったよりも短いですよ。
32歳	同じ育児をしている立場でもそれぞれ状況は違うので、自分が困っていること・助けてほしいことは口にしないと伝わらない。
33歳	パートナーとのコミュニケーション、協力体制が何より大切。つらいことやストレスがあっても夫婦仲良く、コミュニケーションを大事にすればどんなときでも笑い合えるし絆も深まる
33歳	子供を産んでも働きたい女性は、事前にそのような職場環境であるか、また配偶者の協力も併せて得られそうか、自身の体力や気力も持ちそうか、を可能な限りリサーチしておいた方がよい。その結果難しそうであれば、無理に子どもを持つ必要は無いと思う。
34歳	溜め込まず不安や不満は箇条書きに書き出して一回落ち着く時間を定期的に持った方がよい日中子どもと一緒にだて大人と話す機会がなくどんどん自分の中で漠然と不安だと思ってしまうので吐き出す必要がある

年齢	これから育児を迎える人に贈りたい言葉やアドバイス
34歳	子育てばかりに集中して疲れてしまわないようにたまには旦那さんに子供を預けて自分のことも大切にしたい。
35歳	育児には思った以上に時間と体力を取られるので、休める時は全力で休んでください。会社やパートナーなど、周囲の協力が必須になると思いますが、今の状況や自分が何をしたいと思っているかなど、話せるといいと思います。
36歳	なるようにしかならないので悩んでいる時間をもったいない。行動を起こすために普段から情報を仕入れたり、お金をかけるときに困らないように貯金すべき。
36歳	育児は一人で抱え込まず、パートナーはもちろんのこと、お互いの両親や公共機関、職場など、頼れるところは全て頼った方が自分のため、パートナーのためにもよしいかと思えます。
38歳	キャリアを諦めず、どうすれば子育てと仕事の両立が可能か、同僚や上司だけでなく、外部の関係機関にも相談してほしい。
38歳	全てを完璧にこなすことは手放し、優先順位を決めること。自分が大事にしたい優先事項3つを常に優先し守ることで、あれもこれもできていないから解放されると思う。
41歳	迷ったら相談。自分で決める。希望は変わっても良いのだよ。
41歳	いろんな人に話を聞いて、育児本からは得られない経験談を事前に知識とひて入れておくこと。想定外、が減らせるので精神的な負担を減らせると思う
44歳	子を授かることによりとにかく幸せな時間が増え、沢山の新しい発見や楽しみを見出せると思いますので、前向きに良い時間を過ごして欲しいです。
44歳	睡眠時間をいかに確保するかが最重要
45歳	無理しない寝るレトルト、冷食なんでも使えるものは使う
46歳	子育てはだんだん楽になってくるので、今しか体験できないことだと思って、乗り切って欲しいです。大変だと思うこともあるけれども、とても可愛いですよ。
47歳	どうしても女性の方が家事育児が細部まで見えてやることが、多く大変になりがちなので男性も母乳以外は全て一人でできるように赤ちゃん時代から寝かしつけなど育児を主体的に男性もすること。料理が一番休めない家事なので作れない等と言わず練習すれば誰でもできるのでやること。
48歳	自分で考えて自分の思う育児をすればいいと思う。自分が親であり自信を持って子育てすること。
49歳	子育ては自分育てと言われて出産前はピンと来なかったが、今は本当にそう思う。子育てで非常に成長できた。

■第3章 「先輩女性はどのように乗り越えてきたのか～仕事と育児の両立をするためには～」のまとめ

【仕事・キャリアに関する満足度】

◎子どもを持ちながら働いている既婚女性の7割は、現在の仕事・キャリアに満足している。

【仕事・キャリアの満足度が高い人の結婚について】

- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人が、結婚相手に求めた条件は「自分の親と同居してくれる」「転勤がないこと」が高い
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚相手を選ぶ際に自分のライフプランやキャリアプランを考慮した割合が高い
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人が、結婚相手と結婚を決めた理由は「自分の仕事が続けられる・仕事に理解がある」「家事・育児を協力して行える」「自分のライフプランを実現できそう」「話し合いができた・できる」が多出
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人が、パートナーとして選ばれるためにしていたことは「家事スキルを磨く」「趣味を広げる」「経済力をつける」が高い

【仕事・キャリアの満足度が高い人の家事・育児について】

- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、仕事と育児の両立を行うために家庭で「結婚相手の家事・育児の協力」を得ていた割合が高い
- ◎仕事・キャリア満足度が高い人は、出産後のパートナーとの家事・育児分担は二人でシェアしている割合が高い
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、出産前に「家事の分担方法」「子どもの計画」をパートナーと共有・話し合っていた割合が高い

【仕事・キャリアの満足度が高い人の仕事・キャリアについて】

- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚前・出産前にライフキャリアプランについて明確な目標やビジョンがあった割合が高い
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、理想のキャリアプランを実現するために結婚前に「昇進・昇格」「理想のキャリアプランの明確化」「上司や会社に対してキャリアプランや目標の相談・共有」「資格取得などの自己研鑽」などを実施していた
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚前にパートナーと互いのライフキャリアプランを共有していた割合が高い
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、会社における仕事と子育て両立のための制度・環境として「周囲の理解・協力」「上司や先輩社員とのコミュニケーションを取る機会」がある割合が高い
- ◎仕事・キャリアの満足度が高い人は、結婚相手の会社における仕事と子育て両立のための制度・環境として「周囲の理解・協力やコミュニケーションを取る機会」「希望しない転勤制度の廃止」がある割合が高い
- ◎管理職で仕事・キャリアの満足度が高い人は、会社が「女性管理職の増加」「管理職の意識改革」に取り組んでいる割合が高い

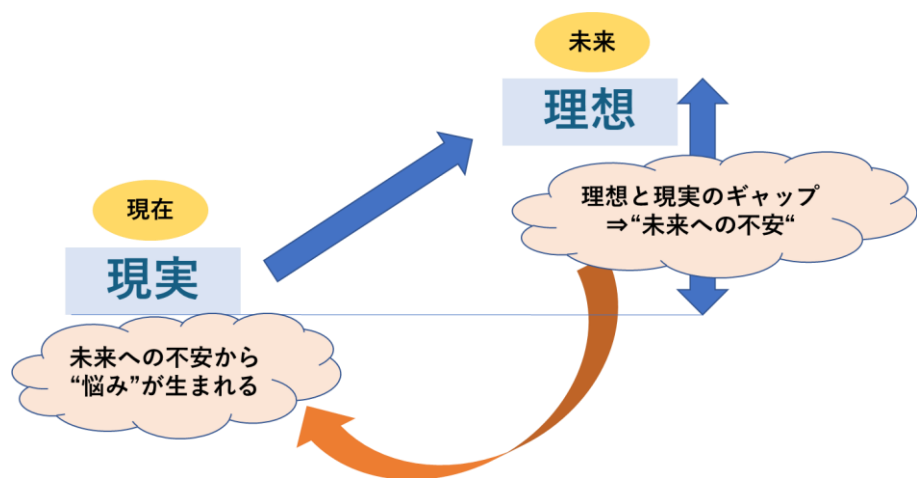
「仕事・キャリア」の満足度が高く、子どもを持ちながら働く既婚女性の特徴まとめ

- ・自分の理想のライフキャリアプランが明確にあり、それを上司やパートナーに相談・共有している
- ・お互いが主体的に家事・育児を行えるパートナーを選んでいる
- ・パートナーに女性の仕事への理解がある
- ・自分の価値を高めていくために自己啓発や早めに昇進するなどキャリア形成に取り組んでいた
- ・女性の会社とパートナーの会社ともに周囲の理解・協力やコミュニケーションを取る機会、多様で柔軟な働き方がある

女性が子どもを持ちながら仕事を充実させるポイント

- ・多様なライフキャリアがあるため、自分の理想を明確にする
- ・自分の価値を高めていく（結婚前・出産前の昇進や自己啓発など）
- ・お互いが主体的に家事・育児を行えるパートナーを選ぶ
- ・家事・育児についてパートナーと協力する
- ・出産前後で自分の理想のライフキャリアプランをパートナーや上司に相談・共有する
- ・女性の会社だけでなくパートナーである男性の会社の制度でも柔軟な働き方を可能にしていく（時短勤務やフレックス制度、在宅勤務、希望しない転勤制度の廃止など）
- ・女性の会社だけでなくパートナーである男性の会社でも仕事と育児の両立に対して上司・同僚の理解・協力が得られるような意識付けや職場環境の整備を行う
- ・女性の会社だけでなくパートナーである男性の会社でも仕事と育児の両立に対して上司に自分の状況や意思を伝える機会をつくる
- ・仕事やキャリア、出産や育児などの悩みを相談できる環境や機会をつくる

今回の調査結果から、働く未婚女性に悩みが生じているのは、自分の理想に対する現実とのギャップ（差）を感じる必要があると考えられる。例えば、未婚女性の7割が結婚願望があり結婚する未来を理想としているが、適当な相手にめぐり合わない（交際相手がない）といった現実があることから「理想」と「現実」のギャップを感じ、それは「未来への不安」となっている。この未来への不安が現在の悩みを生んでいるとみられる。そのため、悩みや不安を解決するためには、理想と現実のギャップを埋めて理想に近づくことやそのためにどのような行動が取れるかを知ることが必要だと考えられる。



しかし、女性の仕事やキャリアは結婚や出産、育児などのライフイベントに左右されやすく、さらに変化の激しい時代では予測しにくいことも多い。多様な選択肢がある中で自分の理想を明確にすることは大事だが、その時々の変化や出会いに合わせて柔軟に対応していくことも必要であると考えられるため、「綿密すぎるプランは、必ずしも必要ない」ことは理解する必要があるだろう。実際、子どもがいる既婚女性で仕事・キャリアの満足度が高い人のうち、希望していたキャリアを歩んでいる割合は63.6%にとどまることから、自分の思い描いたキャリアプラン通りに進まなかったとしても、現在の仕事・キャリアの満足度は高い人がいることがわかる。【図1】しかし、調査結果では、理想のライフキャリアのプランを明確に持っており、それをパートナーや上司に共有・相談していた人の方が仕事・キャリアの満足度は高かった。このことから、理想は状況により変わるものではあるが、理想とするビジョンや目標はある程度明確である方が、それを目指すための行動や選択を取ることができるため、一旦自分の中で明確化することが重要であると考えられる。そのため、もし理想が漠然としており、明確に定まっていなかったり、イメージがはっきり湧いていない場合は、周囲の人に相談したり、事例を集めてみたりすることが大切であり、この相談相手やロールモデルとの交流の機会を政府や企業はより整えていく必要があるだろう。そうすることで、理想の実現のための手法や悩みを解決するヒントを女性が受け取ることができるのではないだろうか。また、価値観が多様化していることから、女性が子どもを持ちながら仕事を続けていくためには、パートナーと協力して、互いの理想とするキャリアやライフプランを共有して互いに諦めることなく、実現できる方法を探ることが求められる。男女ともにお互いの立場や考えを尊重し合うと同時に、理想とする未来に向かって、時に相手に歩み寄り、時に相手の手を引くことがいきいきと働き続けることに繋がるだろう。

【図1】希望していたキャリアを歩んでいるか（単一回答）
※既婚女性で仕事・キャリアの満足度が高い人、※回答数：519

